

食物栄養学科 教育課程表 —2019年度入学生—

《教養教育科目》

授業科目	担当 教員	頁	必 選	単 位	1年次		2年次		授 業 形 態	免許・資格関連			備 考	
					前 期	後 期	前 期	後 期		栄 養 士	フ ード ス ペ シ ャ リ ス ト	フ ード コ ー デ ィ ネ ター		
教養教育科目														
基礎教育科目	大学入門	学科教員	K-01	必	1	1				演習				
	キャリアデザイン	学科教員	K-02	必	1		1			演習				
	人の心の理解	中山	K-03	選	2	2				講義				
	子どもの成長と発達 (主に食物栄養学科対象)	保育教員	K-04	選	2		2			講義				
	日本国憲法	藪本	K-05	選	2		2			講義				
	福祉社会	近藤	K-06	選	2		2			講義				
	ボランティア論	伊藤	K-07	選	2	2				講義				
	日本語表現法	河村	K-08	選	2	2				講義				
	食生活と健康 (主に保育学科対象)	末吉	K-09	選	2	2				講義				
	生命の科学	星野	K-10	選	2	2				講義				
	生活と情報	門間	K-11	選	2				2	講義				
	情報機器の操作 (主に保育学科対象)	門間	K-12	選	2	2				講義				
	体育講義	弘中	K-13	選	1	1				講義				
	健康スポーツⅠ	弘中	K-14	選	1	1				実技				
	健康スポーツⅡ	弘中	K-15	選	1	1				実技				学外集中
	国際現地研修	内海	K-16	選	2		2			実習				※研修留学 をした場合に 単位認定
	国際交流プランニング	内海	K-17	選	2		2			講義				
外国語 科目	スタンダード英語	竹山	K-18	選	1	1				演習				
	編入対策英語	内海	K-19	選	1	1	1			演習				
	オーラル英語	針間	K-20	選	1		1			演習				
				合計 単位	32	18	13	0	2					

《専門教育科目》

	授業科目	担当教員	頁	必 選	単 位	1年次		2年次		授業 形態	免許・資格関連			備 考	
						前期	後期	前期	後期		栄 養 士	フー ド ス ペ シ ヤ リ ス ト	フー ド コ ー デ ィ ネ ー ター		
栄 養 士	公衆衛生学	城野	S-01	必	2			2		講義	◎		◎		
	社会福祉論	近藤	S-02	必	2				2	講義	◎				
	解剖生理学	岡野	S-03	選	2		2			講義	◎				
	運動生理学	塩田	S-04	選	2			2		講義	◎				
	生理学実験	城野・石丸・幸	S-05	選	1				1	実験	◎	◎			
	生化学	長坂	S-06	必	2	2				講義	◎	○			
	栄養生化学	長坂	S-07	選	2		2			講義	◎				
	生化学実験	石丸・幸	S-08	選	1				1	実験	◎				
	病理学	藤宮	S-09	選	2				2	講義	◎				
	食 品 と 衛 生	食品学総論	石丸	S-10	必	2	2				講義	◎	◎		
		食品学各論	石丸	S-11	選	2		2			講義	◎	◎	◎	
		食品学実験	石丸・幸	S-12	選	1		1			実験	◎	◎		
		食品衛生学	石丸	S-13	必	2			2		講義	◎	◎	◎	
		食品衛生学実験	石丸・幸	S-14	選	1				1	実験	◎	◎		
	栄 養 と 健 康	栄養学総論	城野	S-15	必	2	2				講義	◎	◎	◎	
		栄養学各論	城野	S-16	選	2		2			講義	◎	○	◎	
		栄養学実習	城野・山下	S-17	選	1		1			実習	◎			
		臨床栄養学	綿田	S-18	選	2		2			講義	◎			
		実践臨床栄養学	有富	S-19	選	2			2		講義	◎			
		臨床栄養学実習	櫻井・大久保	S-20	選	1				1	実習	◎			
	栄 養 の 指 導	栄養指導論Ⅰ	末吉	S-21	選	2	2				講義	◎	○		
		栄養指導論Ⅱ	末吉	S-22	選	2		2			講義	◎			
		栄養指導実習Ⅰ	末吉・山下	S-23	選	1			1		実習	◎			
		栄養指導実習Ⅱ	末吉・大久保	S-24	選	1				1	実習	◎			
		公衆栄養学	末吉	S-25	選	2				2	講義	◎			
	給 食 の 運 営	調理学	櫻井	S-26	必	2	2				講義	◎	◎	◎	
		調理学実習Ⅰ	櫻井・眞田・大久保	S-27	必	1		1			実習	◎	◎	◎	
		調理学実習Ⅱ	櫻井・山下	S-28	必	1			1		実習	◎		◎	
		調理学実習Ⅲ	櫻井・眞田・山下	S-29	選	1				1	実習	◎			
		給食管理学	平岡	S-30	選	2	2				講義	◎			
		給食管理学実習	平岡・山下・大久保	S-31	選	1		1			実習	◎			
		給食実務実習	平岡・大久保	S-32	選	1				1	実習	◎			
		給食管理学校外実習	学科長・平岡・大久保	S-33	選	1				1	実習	◎			学外集中
フ ー ド ス ペ シ ヤ リ ス ト	食品鑑別論	幸	S-34	選	2			2		講義		◎	◎		
	食品流通論	種市	S-35	必	2				2	講義		◎	◎		
	フードスペシャリスト論	幸	S-36	選	2				2	講義		◎			
フ ー ド コ ー デ ィ ネ ー ター	食文化論	櫻井	S-37	選	2		2			講義			◎		
	基礎調理学実習	櫻井・城野・大久保	S-38	必	1	1				実習		◎	◎		
	フードコーディネート論	平岡	S-39	選	2			2		講義		◎	◎		
	フードコーディネート演習	平岡	S-40	選	1				1	演習			◎		

授業科目	担当教員	頁	必 選	単 位	1年次		2年次		授 業 形 態	免許・資格関連			備 考	
					前 期	後 期	前 期	後 期		栄 養 士	フ ード ス ペ シ ャ リス ト	フ ード コ ー デ ィ ネ ター		
その 他 の 専 門 科 目	製菓演習Ⅰ	坂田・山下	S-41	選	1	1				演習				
	製菓演習Ⅱ	坂田・猪熊・山下	S-42	選	1				1	演習				
	生活化学	石丸・幸	S-43	必	1	1				演習				
	栄養情報処理	門間	S-44	選	1	1				演習				
	パソコン演習Ⅰ	門間	S-45	選	1		1			演習				
	パソコン演習Ⅱ	門間	S-46	選	1			1		演習				
	インターンシップ	学科長・担当教員	S-47	選	1		1			実習				学外集中
	食物栄養ゼミ	食栄教員	S-48	必	2			2		演習				
	総合演習	食栄教員	S-49	選	1				1	演習				
				合計 単位	74	16	20	20	15					
								3						

免許・資格関連…◎必修、○選択科目

食物栄養学科 カリキュラムマップ

食物栄養学科	1年		2年	
	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
教養知識を身につける	大学入門 人の心の理解 生命の科学 ボランティア論 日本語表現法 食生活と健康 情報機器の操作 体育講義 健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ スタンダード英語 編入対策英語	キャリアデザイン 福祉社会 生活と芸術 子どもの成長と発達 日本国憲法 オーラル英語 編入対策英語 国際現地研修 国際交流プランニング		生活と情報
栄養士としての基礎知識を身につける	生化学 生活化学 食品学総論 栄養学総論 調理学 基礎調理学実習	解剖生理学 栄養生化学 食品学各論 食品学実験 栄養学各論 栄養学実習 調理学実習Ⅰ 臨床栄養学	公衆衛生学 運動生理学 生化学実験 病理学 食品衛生学 調理学実習Ⅱ 実践臨床栄養学 臨床栄養学実習	社会福祉論 生理学実験 食品衛生学実験 調理学実習Ⅲ
栄養士としての実践能力を身につける	栄養指導論Ⅰ 給食管理学	栄養指導論Ⅱ 給食管理学実習	栄養指導実習Ⅰ 給食実務実習	栄養指導実習Ⅱ 公衆栄養学
フードスペシャリスト・フードコーディネーターの専門知識を身につける		食文化論	食品鑑別論 フードコーディネイト論	食品流通論 フードスペシャリスト論 フードコーディネイト演習
その他の専門知識を身につける	製菓演習Ⅰ 栄養情報処理	パソコン演習Ⅰ インターンシップ	パソコン演習Ⅱ	製菓演習Ⅱ
			食物栄養ゼミ	
				総合演習

科目名	大学入門						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1	前期			
担当者名	学科担当教員		関連する資格				
授業概要 大学での学びは、高校までの「生徒」とは異なり、大学生として自ら興味を持ち、積極的に、楽しく学ぶ能動的・主体的な態度で臨むことが求められる。本学の建学の精神を理解し、授業の受け方やノートの取り方、レポートの書き方、情報収集や資料の整理法といった具体的な学びの技法を身につける。また、大学生活を有意義に過ごすために社会人としての基礎知識や常識、マナーについて知ることを目指す。							
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・本学の建学の精神を理解し、述べるができる。 ・授業の受け方やノートの取り方、レポートの書き方、情報収集や資料の整理法といった具体的な学びの技法を習得し、実際の授業で実践する。 ・社会人としての基礎知識や常識、マナーについて知り、大学生活の中で活用する。 			成績評価方法 レポート課題と毎回の授業レポート、及び授業参加度、課題発表を総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			10
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）					アクティブラーニング		
1) 大学入門オリエンテーション							
【予習】シラバスを読む（10分）【復習】授業内容を整理する（10分）							
2) 大学で学ぶこととは？ 「授業の受け方とシラバス活用法」							
【予習】シラバスを読む（10分）【復習】授業内容を整理する（20分）							
3) 大学生の健康管理について							
【予習】テーマについて考える（10分）【復習】授業内容を整理する（20分）							
4) インターネットを安全に利用するために							
【予習】テーマについて考える（10分）【復習】授業内容を整理する（20分）							

5) 消費者教育講座	
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
6) 学長講義	
【予習】大学生活について考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
7) 身近な危険から自分を守る	
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
8) 学びの技法Ⅰ「ノート&レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」	
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
9) 学びの技法Ⅱ「ノート&レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」	
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
10) 学びの技法Ⅲ「ノート&レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」	
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
11) 学びの技法Ⅳ「ノート&レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」	
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
12) 定期試験対策ガイダンス	
【予習】キャンパスライフを読む (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
13) 「人として生きていくためのマナーとは」 ①社会人となるための心構えとマナーについて	グループワーク
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
14) 「人として生きていくためのマナーとは」 ②挨拶や言葉遣い・身だしなみ等について	グループワーク
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
15) 夏休みの過ごし方・後期授業に向けて・学生生活実態調査実施	
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業毎に資料を配布する	キャリアデザイン
課題に対するフィードバック	
コメントを付けて返却する	
備考	
<p>受講の心得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもってグループ討議に参加すること. ・本授業で学んだ学習方法を積極的に授業に取り入れること. ・レポート課題を提出すること. <p>※授業計画は都合により変更する場合があります。</p>	

科目名	キャリアデザイン						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1	後期			
担当者名	学科担当教員	関連する資格					
授業概要 長期的な展望にたって自分自身のキャリアをとらえ、今後の学生生活をどのようにデザインするかを考え、大学卒業後、どのような人生を送るか、学生自身が主体的に決めていかなければならない。自分に必要な仕事や資質にあった進路選択をするための基礎知識を身につけ、自己分析を行い、業種・職種について知る。また、職業意識の形成と実際の就職活動における具体的な活動方法を実践的に学ぶことを目的にする。							
到達目標 ・自分の進路選択を行う。 ・職業意識の形成を行う。 ・進路や就職活動における基本知識や技術を身につける。 ・就職説明会や企業説明会、インターンシップを積極的に行う。			成績評価方法 毎回の授業レポート、授業参加度を総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			10
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) キャリアとは「テキストの活用法及び卒業後の様々な進路と心構え」 【予習】テーマについて考える（10分）【復習】授業内容を整理する（20分）				授業内レポート			
2) 社会が求める社会人基礎力とは 【予習】テーマについて考える（10分）【復習】授業内容を整理する（20分）				授業内レポート			
3) 就職に向けて「着こなせセミナー・化粧の仕方」 【予習】テーマについて考える（10分）【復習】授業内容を整理する（20分）				授業内レポート			
4) 就職に向けて「自己分析」 【予習】テーマについて考える（10分）【復習】授業内容を整理する（20分）				授業内レポート			
5) 就職に向けて「履歴書作成」 【予習】テーマについて考える（10分）【復習】授業内容を整理する（20分）				授業内レポート			

6) 就活マナー講座	授業内レポート
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
7) 生活設計とリスク管理	授業内レポート
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	グループワーク
8) 労働条件セミナー	授業内レポート
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
9) 就職に向けて「面接について」	授業内レポート
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
10) 面接体験講座(1班)・パソコンを活用した情報検索(2班) 就職試験に向けての学力対策(3班)	授業内レポート
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
11) 面接体験講座(3班)・パソコンを活用した情報検索(1班) 就職試験に向けての学力対策(2班)	授業内レポート
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
12) 面接体験講座(2班)・パソコンを活用した情報検索(3班) 就職試験に向けての学力対策(1班)	授業内レポート グループワーク
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
13) 就職活動の進め方	授業内レポート
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
14) 進路調査カードの記入	授業内レポート
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
15) キャリア理論	授業内レポート
【予習】テーマについて考える (10分) 【復習】授業内容を整理する (20分)	
授業外学習	
授業内で自己分析や履歴書・進路登録カードの作成を行いますので、日頃から準備しておいて下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「キャリアプランからはじまる 就職活動 実践！ワークブック」 PHP 研究所	大学入門
課題に対するフィードバック	
授業内でまとめてフィードバックする	
備考	
<p>受講の心得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の将来について真剣に考えること。 ・社会人としての心得やルールを身につけること。 ・希望進路を決定し、目標に向かって自ら行動を起こすこと。 ・自分の考えをもってグループ討議に参加すること。 <p>※授業計画は都合により変更する場合があります。</p>	

科目名	人の心の理解						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	中山 浩行	関連する資格					
授業概要 人の心を理解する方法の一つとして心理学がある。その心理学の中でも主に臨床心理学を取り上げ、自分を知るということを考える。その方法として心理検査の体験、エンカウンターグループの体験、夢の分析などを取り上げる。							
到達目標 ①悩んだり困ったりした時の自分の反応（性格）を知る。 ②心の病、いじめ、不登校等の背景を知り、今後の自分の生活に役立てる。			成績評価方法 出席、定期試験による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		20
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○	○		5
演習			○		○		5
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 心理学の概要とオリエンテーション							
【復習】臨床心理士の仕事についての理解（20分）							
2) 夢の分析（自分の見た夢の自己分析）				自分の夢を記述して、その夢を分析する。			
【復習】自分の見た夢の分析（20分）							
3) エンカウンターグループの体験（集団の中での自分）				グループワーク体験を通して集団への関わり方を知る			
【復習】グループワークの中での自分の振り返り（10分）							
4) ストレスチェックリストによる自己分析、簡単な心理検査の体験				ストレスチェックリスト等心理検査から自分を知る			
【復習】自分の心理検査結果の振り返り（15分）							
5) 心理検査『エゴグラム』の体験				交流分析による心理検査を体験し、自己分析をする			
【復習】自分のエゴグラムの自分なりの分析をしておく（10分）							
6) 交流分析の理論（3つの私による分析）				自分の性格傾向と心の病との関連性を考えてみる			
【復習】構造分析による自分の振り返り（20分）							

7) 交流分析の理論 (基本的態度、自分を変える方法)	交流分析によって自分を変える方法を学ぶ
【復習】 講義内容による自分のエゴグラムの分析 (15分)	
8) 交流分析の理論 (エゴグラムのパターン分析による自己理解)	エゴグラムのパターン分析から見た自分を知る
【復習】 自分のエゴグラムのパターンからの自分の振り返り (10分)	
9) 交流分析の理論 (幼少期の親子関係と 12 の禁止令)	幼少期の親と自分の関係を振り返り、禁止令を考える
【復習】 幼少期の親子関係を振り返り、禁止令を分析 (20分)	
10) 心の病の概要 (カウンセリング的関わりから見る心の病)	周囲に心の病の人が居る場合の対応を学ぶ
【復習】 講義内容の確認 (15分)	
11) 心の病の概要 (心の病を持つ人への接し方、関わり方)	周囲に心の病の人が居る場合の接し方を学ぶ
【復習】 自分の人間関係のあり方の振り返り (15分)	
12) 子どもの問題 (いじめ)	ワークシートを活用し、自分のいじめの捉え方を知る
【復習】 自分の周辺で生じる『いじめ』への対応を考える (10分)	
13) 子どもの問題 (虐待)	ワークシートを活用し、自分の不登校の捉え方を知る
【復習】 自分の周辺で生じる『虐待』への対応を考える (20分)	
14) 子どもの問題 (不登校)	ワークシートを活用し、自分の不登校の捉え方を知る
【復習】 母子関係の問題を理解する (20分)	
15) 子どもの問題 (発達障害)	発達障害について知っていることを記述した後、解説
【復習】 発達障害の子どもたちをきちんと理解する (20分)	
授業外学習	
心理学は、日常生活の中にあると考えるので、講義を通して、自分自身のことや、自分と周囲の人との関係性を、日常的に振り返ることが授業外の学習と考えたい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「エゴグラム・パターン—TEG 東大式エゴグラムによる性格分析—」東京大学医学部心療内科編	
課題に対するフィードバック	
出席カードを活用。出席カードに、考えたことや感想、質問等を記入し、次週の講義で取り上げる	
備考	
私語を慎む	

科目名	子どもの成長と発達						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	保育学科教員	関連する資格					
授業概要 人間の生涯の発達の中で、著しい成長・発達を遂げる新生児期から幼児期までの子どもに視点をおき、子どもの身体の仕組みや心身の発達、生活習慣等について理解する。さらに、現在の子どもを取り巻く子育てや保育事情を理解し、子どもが心身ともに豊かな成長・発達を遂げていくための環境について学ぶ。また、子どもの成長・発達と遊びの重要性を理解し、具体的な子どもの遊びを実践的に学ぶことを目的とする。							
到達目標 ・乳幼児期の子どもの成長・発達について説明できる。 ・子どもの成長・発達を促す環境整備について説明できる。 ・乳幼児期の遊びの意義を理解し、専門教育の中で具体的な遊びを実践できる。 ・子どもを取り巻く子育てや保育事情を理解し、専門教育の学びに活かすことができる。			成績評価方法 授業態度及び授業参加度、レポート課題等によって総合評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		10
プレゼンテーション				○	○		10
グループワーク			○		○		10
演習	○	○	○				10
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 子供の成長と発達について オリエンテーション				グループワーク(一部)			
【復習】授業の振り返りを行い、15回の授業を見据えた学びへの意気込みについて学習カードに書いてくる。(15分)							
2) 人間と生涯発達について 乳幼児期の子どもの発達について（新生児期～幼児期）							
3) 人間と生涯発達について 児童期以降の人間の生涯にわたる発達について（児童期～老人期）							

4) 乳児期の精神（こころ）の発達 I	
5) 乳児期の精神（こころ）の発達 II	
6) 子どもの育つ環境について 保育所・幼稚園の機能	
7) 乳幼児期の生活習慣について 保育所見学	演習
8) 子どもの育つ環境について 付属幼稚園見学	演習
9) 子どもの健康と食生活	
10) 子どもの育つ環境について 家庭・地域の役割と連携	演習
11) 子どもの発達と運動遊びの意義及び実践	演習
12) 子どもの発達と表現遊び（製作）の意義と実践	演習
13) 現在の子どもを取り巻く子育て・保育事情の現状と課題 I	
14) 現在の子どもを取り巻く子育て・保育事情の現状と課題 II	
15) 子どもの成長・発達について まとめ（グループ討議） 【復習】15回の授業を通して、学んだことや新たな課題として捉えたことについて、まとめてくる。（15分）	グループワーク
授業外学習	
乳幼児期の子どもに関心を持つ	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じて、資料を配布する	栄養学各論
課題に対するフィードバック	
オムニバス形式の授業のため、必要に応じて振り返り等の学習カードにコメントをつけて返す。	
備考	
配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること	

科目名	日本国憲法						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	藪本 知二		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修			
授業概要 判例の展開に留意しながら、日本国憲法の基本原理ならびに基本的人権および統治機構について理解する。							
到達目標 日本国憲法の基本原理、基本的人権および統治機構に関する基礎的な知識を身につけるとともに、日本国憲法が私たちの生活の中でどのように現実化しているかについて理解する。			成績評価方法 小テスト（3回目以降毎回実施）と授業態度・授業参加度とを総合評価（41点）、 定期テスト（59点）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					59
小テスト、授業内レポート	○	○					26
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		15
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 憲法とは何か・立憲主義の意味							
【予習】憲法という言葉を手掛かりにして憲法の意味を考える（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）							
2) 人権の意義、享有主体							
【予習】テキスト Theme1 および 2 を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）							
3) 人身の自由				小テスト			
【予習】テキスト Theme13 を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）							
4) 裁判所（1）（刑事裁判）				小テスト			
【予習】テキスト Theme19 を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）							
5) 裁判所（2）（司法審査制）				小テスト			
【予習】テキスト Theme20 および 22 を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）							

6) 精神的自由権 (1) (内心の自由・信教の自由)	
【予習】テキスト Theme7 を事前に読んでおく (30分) 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる (60分)	小テスト
7) 精神的自由権 (2) (表現の自由)	
【予習】テキスト Theme8 および 9 を事前に読んでおく (30分) 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる (60分)	小テスト
8) 経済的自由権	
【予習】テキスト Theme10 を事前に読んでおく (30分) 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる (60分)	小テスト
9) 社会権 (1) (生活権)	
【予習】テキスト Theme11 を事前に読んでおく (30分) 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる (60分)	小テスト
10) 社会権 (2) (教育権)	
【予習】テキスト Theme12 を事前に読んでおく (30分) 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる (60分)	小テスト
11) 包括的基本権 (プライバシー権・自己決定権)	
【予習】テキスト Theme3 および 4 を事前に読んでおく (30分) 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる (60分)	小テスト
12) 法の下での平等 (1)	
【予習】テキスト Theme5 を事前に読んでおく (30分) 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる (60分)	小テスト
13) 法の下での平等 (2)	
【予習】テキスト Theme6 を事前に読んでおく (30分) 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる (60分)	小テスト
14) 参政权と統治機構 (国会・内閣)	
【予習】テキスト Theme16、17 および 18 を事前に読んでおく (30分) 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる (60分)	小テスト
15) 平和主義	
【予習】テキスト Theme15 を事前に読んでおく (30分) 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる (60分)	小テスト
授業外学習	
<p><予習>授業計画に沿って、テキスト・配付資料の該当箇所を熟読してきてください。分からない言葉等があれば必ず調べてきてください。</p> <p><復習>授業開始時または終了時に毎回、小テストを行いますので、テキスト・配布資料および図書館等にある文献等を利用して復習してください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「いちばんやさしい憲法入門〔第5版〕」初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行 (有斐閣、第5版2017年)。 必要に応じて資料を配布します。	
課題に対するフィードバック	
小テストの解答は、当日または次回に解説する。	
備考	
予習復習を忘れずに。授業では質問を行うので、答えられるように準備をしておいてください。 【オフィスアワー】授業の前後で対応します。	

科目名	福祉社会						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	近藤 鉄浩	関連する資格					
授業概要 ハンディのある人もない人も、その人らしく生活していくことができる社会（福祉社会）を実現していく上で基本となるポイントを、「隔離」「共生」といったキーワードをもとに考えていく。 病気や障害を持つ人々に対する排除の歴史と現状を取り上げ、そこから見えてくる問題点をふまえて「共に生きる社会」づくりへの道筋について考える。							
到達目標 1. 私たちの社会はどのようにして病気や障害を持つ人々に偏見を抱き排除するようになるのか説明できる。 2. ハンディのある人とない人が共に生きる社会をつくるために大切な事柄を説明できる。			成績評価方法 レポート、小テストによる評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○						15
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション 神奈川県相模原市の障害者施設でおこったこと				小テスト			
【予習】平成28年に起こった「相模原事件」について調べる（90分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（90分）							
2) ハンセン病について① ハンセン病のことを知っていますか？				小テスト			
【予習】ハンセン病とはどういう病気か調べる（90分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（90分）							
3) ハンセン病について② ハンセン病の歴史をたどる				小テスト			
【予習】ハンセン病の歴史を調べる（90分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（90分）							
4) ハンセン病について③ ハンセン病回復者と高校生とのかかわりから				小テスト			
【予習】ハンセン病について学習したことを整理する（90分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（90分）							

5) 信頼関係をはぐくむための他者とのコミュニケーション 【予習】自分のことを他者にどう伝えるか考える (90分) 【復習】演習を振り返り他者との関係づくりについて考える (90分)	小テスト グループワーク
6) 発達障害について 見えにくい障害① 【予習】発達障害とは何か調べる (90分) 【復習】授業プリントを読み直し整理する (90分)	小テスト
7) 精神障害について 見えにくい障害② 【予習】精神障害とは何か調べる (90分) 【復習】授業プリントを読み直し整理する (90分)	小テスト
8) 福祉施設が街にやってくる 施設建設反対運動について 【予習】社会福祉施設について調べる (90分) 【復習】授業プリントを読み直し整理する (90分)	小テスト
9) 補助犬をこばまないで 【予習】身体障害者補助犬法について調べる (90分) 【復習】授業プリントを読み直し整理する (90分)	小テスト
10) バリアフリーについて 【予習】バリアフリーとは何か調べる (90分) 【復習】授業プリントを読み直し整理する (90分)	小テスト
11) 高齢社会と私たち① 高齢者の暮らしと問題点 【予習】高齢者の心身の特徴や生活上の課題について調べる (90分) 【復習】授業プリントを読み直し整理する (90分)	小テスト
12) 高齢社会と私たち② 人を寝たきりに向かわせるもの 【予習】「生活不活発病」について調べる (90分) 【復習】授業プリントを読み直し整理する (90分)	小テスト
13) 高齢社会と私たち③ 認知症のお年寄りの思い 【予習】認知症について調べる (90分) 【復習】授業プリントを読み直し整理する (90分)	小テスト
14) 排除しないで共に生きるためには 【予習】「共生社会」をつくるための取り組みを調べる (90分) 【復習】授業プリントを読み直し整理する (90分)	小テスト グループワーク
15) まとめ 【予習】これまで学習した内容を振り返る (90分) 【復習】授業プリントを読み直し整理する (90分)	レポート
授業外学習	
毎回の授業内容を復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回レジュメを配布する。	社会福祉、社会福祉論
課題に対するフィードバック	
小テストは採点の上、翌週の授業時に返却する。また必要に応じコメントを付す。	
備考	
【オフィスアワー】近藤鉄浩 kondo@ube-c.ac.jp	

科目名	ボランティア論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	伊藤 一統	関連する資格					
授業概要 ボランティアの意義と実情について学び、現代社会におけるボランティア・セクターの重要性について理解する。							
到達目標 ・ボランティアの思想や歴史的経緯、様々な活動の実態など基礎的な知識を修得する。 ・現代社会におけるボランティア・セクターの重要性と状況について理解する。 ・ボランティア・セクターの活動への関心をもつ。			成績評価方法 課題提出（学外への調査課題を含む） 50%、試験 50%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○		○				25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○		○	○	25
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション 講義概要、日程、方針等を説明する 【予習・復習】シラバスを確認し、ノートの作成等、受講に必要と思われる準備を行う。講義での通知事項について再認識しておくこと。							
2) ボランティアとは何か① 概念と歴史 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。							
3) ボランティアとは何か② ボランティアの現状と課題 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。							

<p>4) ボランティア・セクターの役割と構造① 市民社会と新しい公共</p> <p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。</p>	
<p>5) ボランティア・セクターの役割と構造② コミュニティ、市民活動、中間支援</p> <p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。</p>	
<p>6) NPO とボランティア① 非営利組織のいろいろ</p> <p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。</p>	
<p>7) NPO とボランティア② 特定非営利活動促進法と NPO の活躍する社会</p> <p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。</p>	
<p>8) 市民活動における中間支援① 中間支援とは何か～その意義と重要性</p> <p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。</p>	
<p>9) 市民活動における中間支援② どんなどころか</p> <p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。</p>	フィールドワーク（4時間）
<p>10) NPO のマネジメント① NPO のつくりかた</p> <p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。</p>	

11) NPO のマネージメント② 非営利組織論の視点から	
【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
12) NPO のマネージメント③ 事業性とソーシャル・ビジネス	
【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
13) ボランタリー・セクターの諸側面① 公共の担い手としての NPO	
【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
14) ボランタリー・セクターの諸側面② 協働の在り方	
【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
15) まとめ 大学生とボランティア活動	
【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	視聴覚教材視聴
16) 試験	
【予習・復習】これまでの講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。試験内容について振り返ってみること。	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・非営利セクターに関する情報について関心をもって見聞すること（10 時間程度） ・学内外の実際の非営利活動に参画することが望ましい（18 時間程度）。 ・テキストを通読すること（12 時間程度） ・講義内容について振り返って学習し、わからない用語や事項等があれば、理解しておくこと（20 時間） 	

テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト></p> <p>「テキスト市民活動論ーボランティア・NPO の実践から学ぶー」(大阪ボランティア協会)</p> <p><参考文献></p> <p>ボランティア、NPO 等に関する書誌全般</p> <p>*推薦する参考文献は講義で適宜紹介する。</p>	
課題に対するフィードバック	
講義中にコメントする	
備考	
<p>受講の心得>「ボランティア」の意味についての理解を受講姿勢にも反映されたい。</p> <p>【オフィスアワー】「オフィスアワー一覧」に掲載。まとまった質疑、相談等については、事前アポイントをとること。</p>	

科目名	日本語表現法						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	河村 靖彦	関連する資格					
授業概要							
基礎的・実践的な課題や演習に取り組むことにより、日常生活や就職、レポート作成に際して必要な日本語表現を習得する。							
到達目標				成績評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用文からレポートに至るまでの文章表現ができる。 ・ レポートや会話、電子メール等の表現など、目的に応じた日本語表現が適切にできる。 				レポート（毎時間提出）・定期試験・授業への意欲・態度による総合的な評価			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○		○			60
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度		○	○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 日本語表現法のオリエンテーション・・・日本語表現の学び方				レポート			
復習：日本語表現の特徴についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）							
2) 「書く」ために必要な知識①・・・アカデミックワードと日常語				個人ワーク レポート			
復習：アカデミックワードについてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）							
3) 「書く」ために必要な知識②・・・語彙を増やす				個人ワーク レポート			
復習：他のことばで言い換える練習(リフレーミング)（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）							
4) 「書く」ために必要な知識③・・・表記と敬語についての理解				個人ワーク レポート			
復習：敬語についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）							
5) 「書く」ために必要な知識④				個人ワーク レポート			
<ul style="list-style-type: none"> ・・・目的に応じた表現方法の実践（手紙・Eメール） 復習：手紙文の全体構成についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）							

6) 「わかりやすく正しい」日本語表現の実践①...実際の文章の修正演習	
復習：分かりやすい語順のドリル (15分) 予習：漢字小テストのための予習 (15分)	個人ワーク ドリル
7) 「わかりやすく正しい」日本語表現の実践② ・・・文章作成上の問題点 (事実と意見)	
復習：事実と意見についてまとめる (15分) 予習：漢字小テストのための予習 (15分)	個人ワーク レポート
8) 文章を書くための準備 ・・・要点のまとめ方と構成	
復習：要点のまとめ方のポイントについてまとめる (15分) 予習：漢字小テストのための予習 (15分)	個人ワーク レポート
9) 「レポート」を書くために必要な知識・・・レポートの形式と表現	
復習：レポートの構成等についてまとめる (15分) 予習：漢字小テストのための予習 (15分)	個人ワーク レポート
10) レポート作成法・・・レポート作成の準備と演習	
復習：注や参考文献についてまとめる (15分) 予習：漢字小テストのための予習 (15分)	個人ワーク レポート
11) 論文の書き方・・・論文の形式と表現	
復習：論文の基本的構成及び作成の手順についてまとめる (15分) 予習：漢字小テストのための予習 (15分)	個人ワーク レポート
12) 論文の実際・・・実際の論文で形式等についての理解	
復習：参考文献の書き方・引用の仕方についてのドリル (15分) 予習：漢字小テストのための予習 (15分)	個人ワーク ドリル
13) KJ法を用いた整理法・・・わかりやすい表現の工夫	
復習：KJ法についてまとめる (15分) 予習：漢字小テストのための予習 (15分)	グループワーク レポート
14) 効果的な文書作成①・・・エントリーシートの書き方	
復習：エントリーシートについてまとめる (10分) 予習：漢字大テストのための予習 (20分)	演習 レポート
15) 効果的な文書作成②・・・願書、履歴書の書き方	
復習：履歴書の書き方についてまとめ及び振り返り (15分)	演習 レポート(振り返り)
授業外学習	
授業計画・授業予告に沿って、テキストの該当単元を熟読しておくこと。 毎時間、授業内レポートを提出。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：プリント (毎時間配布) 参考書：「日本語表現法」沖森卓也・半沢幹一 (三省堂) 「大学生のための日本語表現トレーニング」安部朋世他 (三省堂)	
課題に対するフィードバック	
翌週にコメントをつけて返す。	
備考	
宇部フロンティア大学短期大学部の学生として、自覚を持ち、主体的・意欲的に受講すること。 【オフィスアワー】授業の前後で対応	

科目名	食生活と健康						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	末吉 奈保美	関連する資格					
授業概要							
<p>保育士をめざす学生にとって、望ましい食生活と健康についての考え方、知識等について知り、健康的な食生活のあり方と実践方法を学ぶ。グループ学習を通して、健康づくりに必要な知識を身につけることを目的とする。</p>							
到達目標				成績評価方法			
健康的な食生活について、理解し実践方法を学ぶ。				受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○		○		10
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 健康について考える【予習】健康のイメージを調査する（30分）				グループワーク			
【復習】他のメンバー、グループのイメージ及びノート整理（60分）							
2) 自分の食生活について考える【予習】食事の記録（30分）				グループワーク			
【復習】追加記録、修正（60分）							
3) 食事のバランスについて考える【予習】食事のバランスのとり方を調べる（60分）				グループワーク			
【復習】バランスのとり方を確認する（30分）							
4) 野菜摂取について考える【予習】食事記録から現状を把握する（30分）				グループワーク			
【復習】意義と摂取方法について整理し、実践につなげる（60分）							
5) 朝食について考える【予習】食事記録から現状を把握する（30分）				グループワーク			
【復習】意義と摂取方法について整理し、実践につなげる（60分）							
6) 間食について考える【予習】食事記録から現状を把握する（30分）				グループワーク			
【復習】摂取について整理する（60分）							

7) 外食・中食について考える【予習】語句の意味を調べる (30分) 【予習】意味と摂取方法について整理し、実践につなげる (60分)	グループワーク
8) 偏食について考える【予習】語句の意味を調べる (30分) 【復習】意味について整理し、バランスのとれた食事の実践を確認する (60分)	グループワーク
9) 食事と身体の関係について考える【予習】生活習慣病を予防する食事を調べる (60分)【復習】ノート整理 (30分)	
10) 塩分摂取について考える【予習】どのような食品から塩分を摂取しているか調べる (60分)【復習】現状や摂取方法について整理し、実践につなげる (60分)	グループワーク
11) あなたに必要なエネルギーについて考える【予習】摂取エネルギーを理解する (60分)【復習】エネルギー出納整理、適性体重目標化 (30分)	グループワーク
12) あなたの骨は大丈夫ですか～ダイエットの落とし穴～ 【予習】骨を丈夫にする生活習慣を調べる (60分)【復習】学びを整理し、実践につなげる (30分)	
13) あなたの腸は快調ですか 【予習】腸を快調にする生活習慣を調べる (60分)【復習】学びを整理し、実践につなげる (30分)	
14) 食事のマナーについて考える 【予習】和食のマナーを調べる (60分)【復習】学びを整理し、実践につなげる (30分)	
15) 食事が変われば人生が変わる 【予習】学んだことから目標を考える (30分)【復習】実践につなげる具体的行動目標化	
授業外学習	
健康のこと、食事のことに興味を持つ。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じて資料を配布する。	子どもの食と栄養 体育講義 健康スポーツ
課題に対するフィードバック	
食事記録、朝ごはんチェック、食事バランス等については、後日にデータ・グラフ化し解説する。	
備考	
授業中は私語をせず、携帯電話の電源はオフにすること。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 【オフィスアワー】決定後別途掲示 末吉奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp	

科目名	生命の科学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	星野 晋	関連する資格					
授業概要 生命科学（ライフ・サイエンス）は、人間をはじめとする生き物の仕組みと「生」のいとなみ、すなわち生命現象を科学的に探求する学問である。また同時に、生命をめぐるさまざまな技術、その社会的活用の可能性と問題点を検討する総合的・学際的研究分野でもある。本講義では、生命のみならず人生、生活をも意味する「ライフ」という言葉をキーワードに、生命科学を通して、私たちの「生」とどのように向き合っていけばいいのか、また生命・ライフを扱う上でどのような課題があるのかを考える。							
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・生命科学（ライフ・サイエンス）がどのような分野であるかを理解する。 ・不妊治療や臓器移植など、今日話題になっている生物学的技術について理解する。 ・生物学にもとづく新技術が、近年どのような社会問題を引き起こしているかを理解する。 ・生命科学上の課題に対して、どのように解決したらいいか、自分の意見を持ち、他者に表明できるようになる。 ・私たちのLife（生命、いのち、暮らし、人生）の現在と将来について、自分なりの考えをもつ。 				成績評価方法 出席（欠格条件） 受講態度（10%） コメントシート（10%） グループワーク（10%） 定期試験（70%）			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					70
小テスト、授業内レポート		○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク					○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習時間（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：Life とは何か	
【復習】レジュメやノートを読み返し、ライフサイエンス（生命科学）とはどのような分野で、今日これを学ぶことにどのような意義があるかについて理解・確認しておく（40分）	コメントシート
2) 不妊症と生殖補助医療	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
3) 生殖補助医療の課題1：親子	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
4) 生殖補助医療の課題2：どこから人とみなすか	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
5) 臓器移植をめぐる問題：グループ・ワーク	
【予習】臓器を提供すること提供されることについて、自分ならばどのように考えるかとその根拠を考えてくる（40分）	グループ・ディスカッション
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
6) 臓器移植をめぐる問題：臓器移植法の現在	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
7) 患者の自己決定権とインフォームド・コンセント	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
8) 輸血をめぐる文化摩擦	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート

9) 人体解剖にみる西洋医学の考え方	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する (40分)	コメントシート
10) 国際医療協力と文化摩擦	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する (40分)	コメントシート
11) 病気とは何か：文化と医療	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する (40分)	コメントシート
12) 病むことの物語	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する (40分)	コメントシート
13) 超高齢社会を生きるために	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する (40分)	コメントシート
14) 作られた健康、創り出す健康	
【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する (40分)	コメントシート
15) 総括・振り返り	
【予習】これまでのレジュメやノートを読み返し、わからないこと等を質問できるようにしておく (60分)	振り返りシート
【復習】授業全体を振り返り、内容理解を確認するとともに、トピックごとに自分の意見をまとめておく (60分)	
授業外学習	
テレビ、新聞、ウェブ等で、あらゆるジャンルのニュースに触れ、考え、自分の意見をもつようにしてください。	

テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは用いない。参考書は随時提示する。	
課題に対するフィードバック	
コメントシートに書かれた質問等に対する回答を次回授業でシェアする	
備考	
自分の頭で考え、意見を持ち、他者と意見交換や議論ができるようになることを目指して受講すること 【オフィスアワー】授業の前後で対応する。	

科目名	生活と情報						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2	後期			
担当者名	門間 政亮	関連する資格					
授業概要 現在、多くの情報が電子情報として利用されており、インターネットを通じて触れる機会が多々あります。本講義では、情報とはそもそも何か、どのような仕組みで利用しているのか、またどうやって守られているかを学ぶとともに、どうやって扱えばよいのかを理解して、社会における一利用者としての必要な情報倫理を身につけます。							
到達目標 ・情報の定義、インターネットの仕組み、情報セキュリティについて理解し、説明することができる。 ・情報社会で必要な情報倫理について理解し、説明することができる。			成績評価方法 期末定期試験、プレゼンテーションの成果・発表、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○	○			50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○	○	10
プレゼンテーション	○	○	○	○			40
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) ガイダンス、情報とは1							
【予習】シラバスを読む（5分）【復習】発表用の情報検索（10分）							
2) 情報とは2				個人ワーク			
【予習】発表用の情報検索（10分）【復習】発表練習（10分）				小レポート			
3) 情報とは3				プレゼンテーション			
【予習】発表練習（10分）【復習】発表内容の整理（10分）							
4) 情報とインターネット1							
【予習】トピックの情報検索（10分）【復習】発表用の情報検索（10分）							
5) 情報とインターネット2				個人ワーク			
【予習】発表用の情報検索（10分）【復習】発表練習（10分）				小レポート			

6) 情報とインターネット 3		プレゼンテーション
【予習】発表練習 (10分) 【復習】発表内容の整理 (10分)		
7) 情報セキュリティ 1		
【予習】トピックの情報検索 (10分) 【復習】発表用の情報検索 (10分)		
8) 情報セキュリティ 2		個人ワーク
【予習】発表用の情報検索 (10分) 【復習】発表練習 (10分)		小レポート
9) 情報セキュリティ 3		プレゼンテーション
【予習】発表練習 (10分) 【復習】発表内容の整理 (10分)		
10) 個人情報保護 1		
【予習】トピックの情報検索 (10分) 【復習】発表用の情報検索 (10分)		
11) 個人情報保護 2		個人ワーク
【予習】発表用の情報検索 (10分) 【復習】発表練習 (10分)		小レポート
12) 個人情報保護 3		プレゼンテーション
【予習】発表練習 (10分) 【復習】発表内容の整理 (10分)		
13) 著作権 1		
【予習】トピックの情報検索 (10分) 【復習】発表用の情報検索 (10分)		
14) 著作権 2		個人ワーク
【予習】発表用の情報検索 (10分) 【復習】発表練習 (10分)		小レポート
15) 著作権 3、総括		プレゼンテーション
【予習】発表練習 (10分) 【復習】発表内容の整理 (10分)		
授業外学習		
授業で扱ったトピックについて、授業外でも関心を持ち情報検索を行ってください。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
プリントを適宜配布します。	保育学科：情報機器の操作 食物栄養学科：栄養情報処理、パソコン演習Ⅰ、 パソコン演習Ⅱ	
課題に対するフィードバック		
授業内で解説を行います。		
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業は講義形式ですが、それぞれのトピックで情報検索を行い、検索した内容についてのスライドを作成して発表していただきます。必ず毎回出席するようにしてください。 ・ 授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。 		
【オフィスアワー】 門間政亮 monma@st.ube-c.jp		

科目名	情報機器の操作						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	門間 政亮	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修				
授業概要							
情報処理能力を養うため、コンピュータに関する基礎的知識と、基本的なパソコン活用方法の習得を目指します。							
到達目標				成績評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・本学の共通端末を起動し、Windows の基本操作ができる。 ・メール操作(作成、送受信)ができる。 ・インターネットを使用して目的の情報が収集できる。 ・情報社会の中でのルールやマナーについて理解している。 ・Word を使用して文章や園だよりの作成ができる。 ・Excel を使用してデータの整理やグラフ作成ができる。 ・PowerPoint を使用してプレゼンテーション用のスライド作成ができる。 				期末定期試験、レポート、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○	○	10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○				30
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容 (時間)				アクティブラーニング			
1) ガイダンス、メールの設定・操作 -メールの作成、送受信-				個人ワーク			
【予習】 シラバスを読む (5分) 【復習】 メール操作の確認 (20分)				小レポート			
2) Windows の基本操作				個人ワーク			
- Windows の仕組み、ファイル操作、タッチタイピング-				小レポート			
【予習】 教科書を読む (10分) 【復習】 タッチタイピング (20分)							
3) インターネットの利用 -情報検索、情報社会のルールとマナー-				個人ワーク			
【予習】 ファイル操作の確認 (10分) 【復習】 情報検索 (20分)				小レポート			
4) 文章作成 1 -Word の基礎、文章の作成、保存-				個人ワーク			
【予習】 教科書を読む (10分) 【復習】 Word 操作の確認 (20分)				小レポート			

5) 文章作成 2 -書式設定、図表の挿入-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】 Word 操作の確認 (20分)	小レポート
6) 文章作成 3 -総合的な資料の作成-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】 Word 操作の確認 (20分)	小レポート
7) 表計算 1 -Excel の基礎、表の作成、保存-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】 Excel 操作の確認 (20分)	小レポート
8) 表計算 2 -データ整理、計算-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】 Excel 操作の確認 (20分)	小レポート
9) 表計算 3 -グラフの作成、編集-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】 Excel 操作の確認 (20分)	小レポート
10) プレゼンテーション 1 -PowerPoint の基礎、スライドの作成、保存-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】 PowerPoint 操作の確認 (20分)	小レポート
11) プレゼンテーション 2 -レイアウト、アニメーション-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】 製作内容の検討 (20分)	小レポート
12) プレゼンテーション 3 -デジタル絵本(紙芝居)の作成-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】 製作物の確認 (10分)	小レポート
13) プログラミング体験 -Scratch 入門-	個人ワーク
【予習】情報検索 (10分) 【復習】 操作の確認 (20分)	個人ワーク
14) 園だよりの作成 1 -イラスト・文章の用意-	個人ワーク
【予習】教科書のおさらい (10分) 【復習】 製作内容の検討 (20分)	個人ワーク
15) 園だよりの作成 2 -レイアウト-	個人ワーク
【予習】情報検索 (10分) 【復習】 製作物の確認 (20分)	小レポート
授業外学習	
コンピュータは使えば使うほど上達します。授業で覚えた事を授業外でも繰り返し練習してください。特にタイピング練習は重要です。空いた時間で構わないので、積極的に行ってください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
イチからしっかり学ぶ！ Office 基礎と情報モラル Office2016 対応 (noa 出版)	
課題に対するフィードバック	
次回の講義冒頭で解説を行います。	
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・この「情報機器の操作」は、保育学科を対象に開講しています。 ・本学への入学までに学んだ情報リテラシーを活用し、総合的な情報通信技術を活用する力を高めます。必ず毎回出席するようにしてください。 ・授業時間数の 3 分の 1 を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。 	
【オフィスアワー】 門間政亮 monma@st.ube-c.jp	

科目名	体育講義						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	1	前期			
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修 障がい者スポーツ指導員資格（初級） 必修				
授業概要 病気がなく、心とからだが健やかな状態であることを健康という。まさに、健康は人間誰しもが望むところである。健康な心とからだを維持し、生き生きとした生活を送るためには未然に疾病等を予防することが大切と言われている。そのひとつとして、適度な運動を続けることが挙げられている。本講義では、身体活動・運動の視点から、自分自身の健康のあり方を歩数や体脂肪率、筋肉量等の測定値を通して見つめ直し、生涯にわたる健康的なライフスタイルを確立するための実践方法を修得できることを目的とする。							
到達目標			成績評価方法				
<ul style="list-style-type: none"> 現在の自分の健康に関する課題に気づき、将来の自分の姿を想定し、今後の健康でいきいきとした豊かな生活のための健康づくりプランを考えることができる。 日常生活における身体活動・運動を通じた自分の健康観を説明できる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 授業内レポート (毎授業のふりかえりシート) 授業外レポート (1週間活動記録表) 授業態度・授業参加度 (パラスポーツクリエーション参加態度) 				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		10
宿題、授業外レポート	○	○	○				30
授業態度・授業参加度				○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容 (時間)				アクティブラーニング			
1) 健康とは 自分の健康観について考える・歩数の計測について							
【予習・復習】活動目標を考える・現在の自分の身体活動・運動について記録する (60分)							
2) わが国の健康事情 認知症予防から学ぶ(DVD)							
【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する (60分)							

3) 身体活動・運動と健康 運動不足による疾病のリスクについて(DVD) 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する (60分)	
4) 身体活動量を高める方法について 前半の自分の身体活動について見つめる 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する (60分)	グループワーク
5) 生涯におけるスポーツ活動について① (障がい者スポーツの意義) 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する (60分)	
6) 生涯におけるスポーツ活動について② (障がい者スポーツの実際・安全管理) 【予習・復習】活動目標を考える・パラスポーツのふりかえりを記入する (60分)	(障がい者スポーツに参加)
7) 健康づくりプランを考える 健康的なライフスタイルのために 【復習】自分に合った健康づくりプランを考える (60分)	グループワーク
8) 授業のまとめ	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
自分の普段の生活をみつめ、身体活動量を知りましょう。そして、身体活動量を高める自分なりの方法を探しましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜、資料を配付する	健康スポーツ I・II
課題に対するフィードバック	
翌週にコメントをつけて返す	
備考	
【オフィスアワー】 弘中陽子 hironaka@ube-c.ac.jp	

科目名	健康スポーツ I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実技	選択	1	1	前期			
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 保育士資格 健康スポーツ I・II のいずれか 1 単位以上必修				
授業概要 スポーツは私たち人間にとって、肉体的にも精神的にもさらに、人との繋がり、仲間づくりといったコミュニケーションの促進にも有益であると言われている。本講義では、「だれもが、いつでも、どこでも、気軽に参加できる」スポーツをテーマに、今まで経験したことのある身近で、親しみのあるスポーツ活動を仲間と共に楽しみながら主体的に取り組むことを目的とする。							
到達目標 ・準備から後片付けに至るまで、何事にも主体的に取り組むことができる。 ・他の受講生にも、積極的に関わりをもち、からだを動かす楽しさや心地よさを仲間と共に共有することができる。 ・健康で、豊かな生活が送れるよう、生涯を通じて楽しく、心地よくスポーツ活動を実践するための方法を見つける。			成績評価方法 ・授業態度・参加度 ・授業外レポート ・プレゼンテーション (スポーツ大会グループごとに企画)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				30
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		50
プレゼンテーション		○	○	○	○		20
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容 (時間)				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション (受講上の注意・評価方法など)							
【予習】 インディアカのルールを調べる (30分)							
2) ソフトバレーボール① (インディアカ)							
【復習】 ふりかえりシートを記入する							
【予習】 ソフトバレーボールについて調べる (30分)							
3) ソフトバレーボール②							
【復習】 ふりかえりシートを記入する							
【予習】 バスケットボールについて調べる (30分)							
4) バスケットボール①							
【復習】 ふりかえりシートを記入する							

5) バスケットボール②	
【復習】 ふりかえりシートを記入する 【予習】 障がい者スポーツイベントでの心構えを考える (30分)	
6) バドミントン①	
【復習】 ふりかえりシートを記入する	
7) バドミントン②	
【復習】 ふりかえりシートを記入する 【予習】 サッカーについて調べる (30分)	
8) サッカー	
【復習】 ふりかえりシートを記入する 【予習】 ペタンク・卓球バレー・風船バレーについて調べる (30分)	
9) ペタンク・卓球バレー・風船バレー	
【復習】 ふりかえりシートを記入する 【予習】 障がい者スポーツイベントでの心構えを考える (30分)	
10) 障がい者スポーツイベントへ参加	
【復習】 ふりかえりシートを記入する	
11) 障がい者スポーツイベントへ参加	
【復習】 ふりかえりシートを記入する	
12) スポーツ大会① スポーツ大会の方法について説明する・チーム、実行委員の決定 (障がい者スポーツイベントのふりかえり)	プレゼンテーション
【復習】 ふりかえりシートを記入する 【予習】 プレゼンテーションを考える (30分)	
13) スポーツ大会② グループごとにプレゼンテーション・企画の決定 実行委員により、大会の具体的な内容を決める	グループ活動
【復習】 ふりかえりシートを記入する 【予習】 チームで勝つための練習を考える (30分)	
14) スポーツ大会③ チームごとに練習を行う 授業評価アンケート・レポートについて説明する	グループ活動
【復習】 ふりかえりシートを記入する 【予習】 チームで一致団結する方法を考える (30分)	
15) スポーツ大会④・授業のまとめ	
授業外学習	
<p>普段の生活の中でからだを動かすこと（スポーツ活動・身体活動）を取り入れてみましょう。 自分の住んでいる地域等で開催されているスポーツイベント（するスポーツ・みるスポーツ）に参加して みましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
なし	健康スポーツⅡ
課題に対するフィードバック	
翌週にコメントをつけて返却する	
備考	
担当教員：弘中陽子 hironaka@ube-c.ac.jp	

科目名	健康スポーツⅡ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実技	選択	1	1	前期集中			
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許状 保育士資格 健康スポーツⅠ・Ⅱのいずれか 1単位以上必修				
授業概要 本講義は、宿泊を伴う野外活動（キャンプ）を通して、野外活動の基礎的な知識や技術（テント設営・撤収方法、火の起こし方、なた等の道具の使い方、片付け方等）を習得するとともに、フィールドとなる自然の美しさや魅力を守る環境保護、及び自然災害等の危険回避方法についても理解し、自然環境の中で安全に、楽しく、心地よく活動ができるための方法を体験的に学ぶ。							
到達目標 ・野外活動（キャンプ）の基礎的知識・技術 （テント設営・撤収方法、火の起こし方、なた等の道具の使い方、自然への配慮や気候の変化への対応等）を身につける。 ・自然の中で活動する場合のルールやマナーを守り、安全に、楽しく活動するとともに、秋吉台の自然の美しさや素晴らしさを発見できる。 ・仲間との集団生活を通して、協調性や社会性を身につける。			成績評価方法 ・キャンプ活動中の取り組み ・事前・事後学習におけるレポート ・キャンプでのグループワーク ・実習日誌 以上を総合的に評価する				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度		○	○	○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○	○	○	○	20
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	60
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション（授業概要・進め方・評価方法等）【事前学習】 （野外活動の意義・目的） 【予習・復習】シラバスを熟読し、授業概要等を理解する。取り組んでみたい野外活動を考える。				グループ活動			
2) 野外活動の計画と運営方法・安全について【事前学習】 （グループわけ・活動プログラムづくり・しおりづくり等） 【予習・復習】活動プログラムの内容や山口県秋吉台青少年自然の家について理解する。野外での活動の注意点を理解し、準備物を整える。							

3) 4) 5) 6) 野外活動の実際①【1日目】		
<ul style="list-style-type: none"> ・入所式（青少年自然の家オリエンテーション） ・テント設営の方法 ・野外炊事の実践及び片付け ・夜の野外活動（ナイトウォーク） <p>【予習・復習】1日の活動内容（場所、持ち物等）を確認し、機敏に行動する。1日の活動全体をふりかえり、実習日誌を記入する。</p>		フィールドワーク
7) 8) 9) 10) 野外活動の実際②【2日目】		
<ul style="list-style-type: none"> ・朝の自然活動・展望台 ・テント撤収の方法 ・ニュースポーツ活動 ・クラフト活動 ・野外炊事の実践及び片付け ・夜の野外活動（キャンプファイヤー） <p>【予習・復習】1日の活動内容（場所、持ち物等）を確認し、機敏に行動する。1日の活動全体をふりかえり、実習日誌を記入する。</p>		フィールドワーク
11) 12) 13) 14) 野外活動の実際③【3日目】		
<ul style="list-style-type: none"> ・朝の自然活動・展望台 ・清掃・片付け（身辺整理） ・退所式 ・洞窟探検（景清洞） <p>【予習・復習】1日の活動内容（場所、持ち物等）を確認し、機敏に行動する。1日の活動全体をふりかえり、実習日誌を記入する。</p>		フィールドワーク
15) 野外活動の振り返り【事後学習】		
<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにディスカッション、発表 ・授業のまとめ（全体講評） ・ふりかえりシート、実習日誌の提出 <p>【予習】3日間の活動をふりかえり、ふりかえりシート・実習日誌を記入し、持参する。</p>		グループ活動
授業外学習		
野外での活動を行う際の注意事項や留意点等をよく理解し、服装・装備・持ち物等をよく考え、しっかり準備を整えてください。できるだけ荷物は、コンパクトにまとめることも考えましょう。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
<ul style="list-style-type: none"> ・配付資料 ・野外活動（キャンプ）のしおり <p>（事前学習時に配付する）</p>	健康スポーツ I	
課題に対するフィードバック		
事後学習で提出した実習日誌等は、後期に返却する		
備考		
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期日：2019年8月27日（火）～29日（木） 2泊3日（夏季集中講義） ※事後学習は、2019年8月30日（金）9:00～10:30に行う。 ・実施場所：山口県秋吉台青少年自然の家（〒754-0302 山口県美祢市美東町赤 2128-17） ・必要経費：1人1万円程度（費用の支払いについては、後日掲示にて連絡。支払いは、事務室窓口） ・受講定員：受講者数は30人までとし、希望者が多い場合は抽選とする。尚、希望者が少ない場合は、掲示にて再度募集を行う。 		

科目名	国際現地研修						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	2	1	後期			
担当者名	内海 俊祐	関連する資格					
授業概要 本学と学術協定を結んでいる海外の大学への研修あるいは交換留学などのプログラムに参加した者に対して単位を授ける。この単位に関しては、30日以内のプログラムが対象となる。単位認定の前提条件としては、プログラム参加前に科目登録を行い、留学前の指導を受けるものとする。留学後は報告書を提出してもらう。							
到達目標 ・留学先の情報を積極的に収集し、滞在中の活動を自らアレンジできる。 ・異文化を理解し、外国での体験を具体的に伝えることが出来る。			成績評価方法 事前指導、海外研修、海外研修レポート、事後指導への参加状況を総合して評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習			○		○		50
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) ～15)留学前と留学後に適時指導を行う。 指導内容は留学前の心構え・準備から留学中に注意すべき事柄に及ぶ。 留学後は反省会を開き、留学体験のフィードバックを行うことによって、プログラムの改善に寄与してもらう。また、将来のプログラム参加者のために学内で随時報告会を催す。この科目の単位取得者に対しては、自らの体験の発表の場としての報告会への積極的参加を促す。 また、この科目を受け入れ留学生が希望した場合は、別途日本語の授業を通して日本語能力の向上を目指す。 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。				グループワーク			

科目名	国際交流プランニング						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	内海 俊祐	関連する資格					
授業概要 異文化理解の意義、交流の必要性を学び、実際に留学生と交流し、サポートをするに際して必要な生活上の問題、日本文化や日本語関連の知識を習得する。							
到達目標 ・外国人留学生のフレンドシップパートナーやピアサポーターの役割が果たせる。 ・交流に当たって必要となるさまざまな事柄を学習する。			成績評価方法 講義への参加度、レポート、プレゼンテーション及びグループワークで評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度	○	○	○	○			20
プレゼンテーション	○	○					30
グループワーク	○	○	○	○			20
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 異文化理解の意義 日本文化を知る__映像と資料 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。				グループワーク			
2) 異文化理解の意義 日本文化を知る__映像と資料 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。				グループワーク			
3) 異文化理解の意義 日本文化を知る__映像と資料 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。				グループワーク			
4) 日本文化を概略的に知るために 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。				グループワーク			

5) 日本人の言語行動 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。	グループワーク
6) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。	グループワーク
7) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。	グループワーク
8) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。	グループワーク
9) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。	グループワーク
10) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。	グループワーク
11) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。	グループワーク
12) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。	グループワーク
13) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。	グループワーク
14) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。	グループワーク
15) まとめ 与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。	グループワーク
授業外学習	
パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーションの準備をしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回講義においてプリント等を配布する。	国際現地研修
課題に対するフィードバック	
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。	
備考	
この授業の単位の要件はパワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーションとする。	

科目名	スタンダード英語						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1	前期			
担当者名	竹山 恵里	関連する資格					
授業概要 英語のアクティビティーを通して、基礎的な文法・会話力を養成する。							
到達目標 中学・高校時代に培った英語力を、様々な活動を行うこと によってスムーズに発話できるようにする。		成績評価方法 期末試験 60 点+授業態度・授業参加度 20 点+小テスト 20 点=100 点満点 毎 回プリントを配付・提出（紛失しても再 配付はなく、減点となる）					
評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（期末のみ）	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○						20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度				○	○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 仲間作り・自己紹介 【復習】自己紹介文を書く・暗記する（20分）				与えられた簡単な Q&A を通 し、クラスメートを知る			
2) フォニックスの基礎（日本語の音との違いを知る） Be 動詞と一般動詞の使い分け 【予習】一般動詞 30 以上挙げる（ルーズリーフに書く）（20分） 【復習】フォニックス発音、その音で始まる単語を書き出す（20分）				ペアで口の形・筋肉・息の出 方をチェックする			
3) 時制（過去・未来）を使った自己紹介 ワードオーダー（語順）の日英差 【予習】自己紹介文+1日の活動を時間軸に従い書く（30分） 【復習】動詞の過去形を覚える（20分）				簡単な自分史・目標を仲間 とシェアする			
4) 世界の国々 疑問詞文・数字 【予習】世界の国々とその首都を表にする（30分） 【復習】大きい数字の読み方を英語で書く（20分）				国旗を使い、その国の人間 になり、情報交換をする			
5) 旅行計画 未来形で計画を表現 【予習】国内・外の観光地について調べる（20分） 【復習】旅行計画をレポート的に書く（30分）				5W1H で相手の旅行計画を 聞きだす・経験をシェア			

6) 旅行に関する英語 (機内・入管) リスニング、発音、発話の強化 【予習】機内での会話を暗記する (30分) 【復習】入管での会話を暗記する (30分)	海外旅行での機内・入管での会話をロールプレイする
7) 朝起きてから寝るまでの英語 (1) 動詞変化の整理・疑問詞文 【予習】朝起きてから寝るまでの行動を現在形で書く (30分) 【復習】朝起きてから寝るまでの行動を過去形で書く (30分)	1日の自分の行動を整理し、友人との違いをシェアする
8) 朝起きてから寝るまでの英語 (2) 頻度の副詞・時の前置詞整理 【予習】頻度の副詞を書き出す (10分) 【復習】日頃の習慣を頻度の副詞を使って書く (30分)	副詞・前置詞で文に広がりを与え、お互いを深く理解する
9) 家族・友達紹介 (親族の呼称・人称の整理) 【予習】自分の家系図を描く (10分) 【復習】家族の趣味や性格などを一覧表にする (30分)	自分の家族のことをお互いに紹介しあう
10) 疑問詞文・助動詞文の整理 【予習】助動詞を書き出し、例文を作る (20分) 【復習】疑問詞+助動詞を組み合わせ作文する (20分)	Q&Aを再度整理し、正しい情報を伝える
11) わたしの家・町・国 前置詞・形容詞の整理 【予習】形容詞を家・町・国、それぞれマインドマッピングする (20分) 【復習】「理想の私の家」について作文する	自分の身の回りを見直し、比較、再認識する
12) 好きな本の紹介 【予習】一番好きな本を読んでくる (30分) 【復習】他に好きな本について作文する (30分)	好きな本についての Q&A
13) 絵本読み聞かせ 【予習】好きな本の一部分を徹底的に読む (20分) 【復習】「読み聞かせに使った本」を写す (30分)	読むだけでなく、聞き手の感想を受け、さらに読み込む
14) 現在完了形で経験を表現 将来の希望を未来形、または仮定法で表現 【予習】動詞の過去分詞形 (原形・過去形も) を表にする (15分) 【復習】自分の経験を完了形を使って作文する (30分)	経験を話す。未経験なことへの希望を話し作文する
15) 文法整理・総復習 【予習】予習：使用したプリントを整理する (30分)	
授業外学習	
毎回、授業プリントを使用して復習をする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリント配付・辞書必携	
課題に対するフィードバック	
理解が難しかった部分を小テストし、満点が取れるまでくり返し教授し、納得させる。	
備考	
期末試験の再試験は行わず、それに代わるレポート提出も行わない。 予習・復習 (家庭学習) の達成度は成績の 30% を占める	

科目名	編入対策英語						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1	前期・後期			
担当者名	内海 俊祐	関連する資格					
授業概要 大学編入対策としての英語を学びながら、日常生活や異文化理解、職場や地域社会を話題としたリーディング及びライティングをパラグラフ単位で理解する能力を身に付ける。さらに、視聴覚資料の活用及び語彙、語法理解を深めることにより、スピーキング及びリスニング能力の向上を図り、現在の世界に不可欠とされる英語によるコミュニケーション能力を向上させる。							
到達目標 大学編入を希望する学生が、編入試験（英語）に十分対処できるレベルの英語運用能力を身に付ける。			成績評価方法 定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 編入試験問題（英語）の特徴について				think-pair-share			
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。							
2) 編入試験問題（英語）への対策について				think-pair-share			
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。							
3) どうしたら英語の能力が向上するかを考える				think-pair-share			
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。							
4) 様々な英語の楽しみ方				think-pair-share			
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。							
5) 英語習慣化の提言				think-pair-share			
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。							
6) 演習問題 1				think-pair-share			
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。							

7) 演習問題 2		think-pair-share
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。		
8) 演習問題 3		think-pair-share
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。		
9) 演習問題 4		think-pair-share
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。		
10) 演習問題 5		think-pair-share
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。		
11) 演習問題 6		think-pair-share
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。		
12) 演習問題 7		think-pair-share
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。		
13) 演習問題 8		think-pair-share
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。		
14) 演習問題 9		think-pair-share
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。		
15) まとめと今後の学習について		think-pair-share
与えられた課題を 60 分程度で予習・30 分程度で復習を行うこと。		
授業外学習		
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。 紙の辞書または電子辞書にかかわらず、自分にあった辞書を使いこなすことを常に心がけてください。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
テキストは購入しなくてもよい。毎回プリント問題等を配布し授業を行う。	スタンダード英語	
課題に対するフィードバック		
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。		
備考		
この科目は、半期開講科目で単位取得になります。通年科目ではありません。 前期にこの科目を受講して単位を取得し、後期に引き続きこの科目を受講を希望する者は、学生支援課で「特別履修」の手続きをしてください。その場合、受講はできますが単位取得はできません。 【オフィスアワー 月曜日 16 時 20 分～17 時 50 分】内海俊祐 uchiumi@frontier-u.jp		

科目名	オーラル英語						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1	後期			
担当者名	針間 サラン	関連する資格					
授業概要 This course will help you to improve your spoken English in a variety of everyday situations. It will help you develop your speaking skills in different areas.							
到達目標 Students will learn casual conversational English and learn phrases necessary for travel abroad. 日常英会話と旅行英語			成績評価方法 Students attending this course will be evaluated according to their class participation, attendance and test results.				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				30
小テスト、授業内レポート	○						10
宿題、授業外レポート	○						20
授業態度・授業参加度				○	○		10
プレゼンテーション			○	○	○		30
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) Getting to know each other 仲間作り Classroom Language 教室英語				グループワーク			
【復習】プリントの確認（30分）							
2) Self-introduction 自己紹介 About my family 私の家族について				グループワーク			
【復習】プリントの確認（30分）							
3) What do you do in your free time? 趣味と日常生活				グループワーク, 宿題			
【復習】宿題（60分）							
4) Talking about the past 過去について話す				グループワーク			
【復習】プリントの確認（30分）							
5) Talking about tomorrow and next year 予定と将来の夢				グループワーク, 宿題			
【復習】宿題（60分）							
6) Natural Conversation 自然な会話とプレゼンテーションの説明				グループワーク			
【復習】プリントの確認（30分）							

7) Presentation グループ会話の発表	プレゼンテーション
8) Travel English 旅行英語 入国審査とチェックイン 【復習】宿題 (60分)	グループワーク、宿題
9) Travel English 旅行英語 Ordering in a restaurant 注文 【復習】プリントの確認 (30分)	グループワーク
10) Travel English 旅行英語 Shopping 買い物 【復習】宿題 (60分)	グループワーク、宿題
11) Travel Role-play 旅行ロールプレイ説明と準備 【復習】プリントの確認 (30分)	グループワーク
12) Role-play Test ロールプレイのテスト	小テスト
13) Group Presentation Explanation グループ発表の説明 【復習】発表作成 (60分)	グループワーク
14) Group Presentation Preparation グループ発表の準備 【復習】発表作成 (60分)	グループワーク
15) Speaking Presentation グループ発表 【復習】プリント (120分)	プレゼンテーション
授業外学習	
Review and practice the material covered in the previous week's lesson before each class, and complete any homework.	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
Each week students will be provided with copies of all materials to be covered.	スタンダード英語
課題に対するフィードバック	
宿題は翌週コメントをつけて返す。	
備考	
【オフィスアワー】授業の前後で対応します。	

科目名	公衆衛生学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2	前期			
担当者名	城野 世津子	関連する資格	栄養士免許 必修 フードコーディネーター資格 必修				
授業概要 公衆衛生学の全体像を理解し、今日人類が直面している公衆衛生学上の諸問題を把握する。健康について社会・環境の面から多角的に捉える。そのために疫学および衛生統計を基礎として、各種の疾患をライフスタイルや環境との関わりから理解する。さらに身近な環境汚染について理解し、解決策を検討する。公衆衛生が多職種の人により支えられていることを理解し、栄養士の立場での対応を考える。							
到達目標 1.公衆衛生学上の諸問題を把握する 2.健康について社会・環境との関わりを理解する 3.疫学、衛生統計の基礎を理解する 卒業認定・学位授与の方針との関連性 健康について社会・環境の面から多角的に捉え、栄養士として公衆衛生学の諸問題を改善するための知識及び対応方法を身につけることができる。			成績評価方法 定期試験、小テスト、授業内レポート、授業外レポート、授業への意欲・態度による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○					20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 公衆衛生学の概念							
【予習】テキスト p1～9 を読んでおく（10分）							
【復習】復習小レポートによるまとめ（20分）							
2) 環境保全① 生態系と人々の生活							
【予習】テキスト p11～15 を読んでおく（15分）							
【復習】復習小レポートによるまとめ（30分）							
3) 環境保全② 環境汚染と健康影響							
【予習】テキスト p15～19 を読んでおく（15分）							
【復習】復習小レポートによるまとめ（30分）							
4) 環境保全③ 環境衛生							
【予習】テキスト p19～26 を読んでおく（15分）							
【復習】復習小レポートによるまとめ（30分）							

5) 健康、疾病、行動に関わる統計資料① 保健統計	
【予習】テキスト p29～36 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)	小テスト (環境保全)
6) 健康、疾病、行動に関わる統計資料② 保健統計	
【予習】テキスト p36～43 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)	
7) 生活習慣の現状と対策 (課題) 食習慣調査	
【予習】テキスト p63～82 を読んでおく (30分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)	小テスト (保健統計) 課題レポート
8) 主要疾患の疫学と予防対策①	
【予習】テキスト p45～53 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)	
9) 主要疾患の疫学と予防対策②	
【予習】テキスト p85～96 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)	
10) 健康状態・疾病の測定と評価①	
【予習】テキスト p97～103 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)	小テスト (主要疾患の疫学と予防対策)
11) 健康状態・疾病の測定と評価②	
【予習】テキスト p103～113 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)	
12) 保健・医療・福祉の制度①	
【予習】テキスト p115～126 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)	小テスト (健康状態・疾病の測定と評価)
13) 保健・医療・福祉の制度②	
【予習】テキスト p126～144 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)	
14) 保健・医療・福祉の制度③	
【予習】テキスト p145～166 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)	小テスト (保健・医療・福祉の制度)
15) まとめ	
【予習・復習】小テスト及び復習小レポートを確認しておく (30分)	課題レポート
授業外学習	
毎回の講義範囲について予習・復習を継続すること。 最新の公衆衛生に関する情報を意識すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「公衆衛生学・健康管理概論」武山英磨・中谷弥栄子著 (第一出版)	公衆栄養学
課題に対するフィードバック	
小テスト実施後、翌週以降に出題内容について解説を行います。 レポート提出後、コメントをつけ返却します。内容が不十分な場合は、再提出とします。	
備考	
【オフィスアワー 未定】城野 世津子 sirono@ube-c.ac.jp	

科目名	社会福祉論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2	後期			
担当者名	近藤 鉄浩	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要							
現代社会における社会福祉の意義や基本的な考え方を学び、子ども、障害者、高齢者、低所得者といった対象者ごとの福祉の現状について理解を深める。							
到達目標			成績評価方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の意義と必要性について理解できる。 ・社会福祉制度の基本的なしくみについて理解できる。 ・現代社会の福祉的な課題に対する援助の視点について理解できる。 			定期試験、小テスト、グループワークの実施状況を総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・ 期末)	○						80
小テスト、授業内レポート	○						15
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容(時間)				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション 食物栄養学科学生と社会福祉との関係				小テスト			
【予習】栄養士と社会福祉の関係について調べる(90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する(90分)							
2) 社会福祉とは何か				小テスト グループワーク			
【予習】社会福祉とは何か調べる(90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する(90分)							
3) 現代における社会福祉の課題				小テスト			
【予習】「貧困率」「虐待」「孤立死」について調べる(90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する(90分)							
4) 社会福祉の理念				小テスト グループワーク			
【予習】「人間の尊厳」という言葉について調べる(90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する(90分)							
5) 社会福祉の基本的なしくみ				小テスト グループワーク			
【予習】「福祉六法」について調べる(90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する(90分)							
6) 社会保障制度について				小テスト			
【予習】「社会保障制度」にはどのようなものがあるか調べる(90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する(90分)							
7) 社会福祉の援助のしかた				小テスト グループワーク			
【予習】「ソーシャルワーク」について調べる(90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する(90分)							

8)車椅子の方の介助 【予習】車椅子の方への介助方法について調べる (90分) 【復習】実技を振り返り介助のしかたをまとめる (90分)	小テスト 実技
10) 低所得者の福祉 【予習】「生活保護制度」について調べる (90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する (90分)	小テスト
11) 子ども家庭福祉 【予習】「子どもの権利条約」について調べる (90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する (90分)	小テスト
12) 障害者の福祉 【予習】障害の種類と内容について調べる (90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する (90分)	小テスト グループワーク
13) 高齢者の福祉 【予習】介護サービスの種類について調べる (90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する (90分)	小テスト
14) 視覚障害の方の移動支援 【予習】目の不自由な人にとってのバリアについて調べる (90分) 【復習】実技を振り返り支援のしかたをまとめる (90分)	小テスト 実技
15) まとめ 社会福祉の課題 【予習】これまでの学習内容を振り返る (90分) 【復習】授業プリントを見直し整理する (90分)	小テスト
授業外学習	
毎回の授業内容を授業プリントにより復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回レジュメを配布する。	公衆衛生学、福祉社会
課題に対するフィードバック	
小テストは採点の上翌週に返却する。また必要に応じコメントを付す。	
備考	
【オフィスアワー】近藤鉄浩 kondo@ube-c.ac.jp	

科目名	解剖生理学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	岡野 こそえ	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要 私たちの体は、約 60 兆個の細胞から成り立っています。それぞれの細胞は分化し、集団を形成して組織となり、組織が組み合わさって器官（臓器）になっています。各器官系の構造と機能を学ぶとともに、生体の内部環境の恒常性を維持する仕組み、生体を防御するしくみ、生命の継代および老化のしくみ等を学び、身体で繰り広げられている生命活動を理解できるように、テキストに沿って講義をします。							
到達目標 栄養学を学ぶ学生にとって必要とされる人間の構造と機能の関連性が理解できることを目標とします。			成績評価方法 毎回の出席数と中間・期末試験の成績から総合的に判断します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	◎	◎	◎				80
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション、第 1 章：人体の構造原理とダイナミクス 第 2 章：遺伝子と細胞・組織				復習を兼ねた小テスト			
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30 分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20 分程度）。							
2) 第 2 章：遺伝子と細胞・組織、第 15 章：皮膚				復習を兼ねた小テスト			
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30 分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20 分程度）。							
3) 第 3 章：消化器系				復習を兼ねた小テスト			
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30 分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20 分程度）。							
4) 第 4 章：呼吸器系				復習を兼ねた小テスト			
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30 分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20 分程度）。							
5) 第 5 章：循環系				復習を兼ねた小テスト			
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30 分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20 分程度）。							
6) 第 6 章：血液と体液				復習を兼ねた小テスト			
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30 分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20 分程度）。							

7) 第7章：泌尿器系と腎機能	
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
8) 前半の章についての試験	
9) 第8章：生殖と発生	
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
10) 第9章：エネルギー代謝と体温調節	
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
11) 第10章：内分泌系	
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
12) 第11章：免疫系	
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
13) 第12章：神経系	
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
14) 第13章：感覚器	
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
15) 第14章：運動器系	
【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。 復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
授業外学習	
授業内容に興味を持たせるために、予習として教科書を一読させます。 スライド授業をした後で、復習を兼ねた小テストから授業内容および、関連科目の理解度と興味を増強させます。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：「解剖生理学 人体の構造と機能 第2版：栄養科学 NEXT シリーズ」（講談社サイエンティフィック）河田光博／三木健寿・編	生理学、運動生理学、栄養学、臨床栄養学
課題に対するフィードバック	
毎回、授業の終わりに出席確認と復習を兼ねた小テストを行い、その日の知識の整理・確認を行わせます。	
備考	
栄養科学シリーズ・解剖生理学に沿ってスライド形式で講義をします。 毎回、授業の終わりに出席確認と復習を兼ねた小テストを行います。 【オフィスアワー】授業の前後で対応します。	

科目名	運動生理学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2	前期			
担当者名	塩田 正俊	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要 身体活動・運動が健康に及ぼす影響および生活習慣病予防・改善、介護予防のための身体活動・運動の具体的な運動条件や実施上の注意点について概説する。また、その理解の基礎となる運動生理学的事項について概説する。							
到達目標 身体活動・運動が健康に及ぼす影響について説明できる。健康づくりのための身体活動・運動の具体的な条件やガイドライン、実施上の注意点について説明できる。身体活動・運動時の消費エネルギーの計算が電卓を使ってできる。これらの基礎となる運動生理学的事項について理解し、理解した内容をもとに、健康づくりのための身体活動・運動の具体的な条件やガイドライン、実施上の注意点について考えることができる。						成績評価方法 期末定期試験、授業内・外レポート、授業への意欲・態度による総合評価	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）					アクティブラーニング		
1) 身体活動・運動と健康					ペアワーク		
【予習・復習】健康・体力とはなにか。健康維持に必要な体力とはなにかを調べておく。(0.5時間)							
2) 健康づくりのための身体活動・運動（健康運動）の基本的考え方とその流れ					ペアワーク		
【予習・復習】生活の中の健康阻害因子には何があるか。運動不足では体に何が起こるか、を調べておく。(1時間)							
3) 健康運動を理解するための運動生理学（エネルギー代謝）					ペアワーク		
【予習・復習】健康運動を行うことで得られる効果とは何か。生活習慣病との関連から調べておく。(1時間)							
4) 健康運動を理解するための運動生理学（呼吸・循環）					ペアワーク		
【予習・復習】健康運動を行う上で必要なエネルギーとは何か。そのエネルギーはどのように供給されるかを調べておく。(0.5時間)							
5) 健康運動を理解するための運動生理学（神経・筋）					ペアワーク		
【予習・復習】健康運動を行う上で神経・骨格筋はどのような役割を果たすのか、神経の種類・骨格筋の働きを調べておく。(1時間)							

6) 健康運動を理解するための運動生理学 (自律神経・内分泌、体温調節)	
【予習・復習】健康運動を行う上での自律神経・内分泌系はどのような役割を果たすのか。また運動に伴う体温上昇の調節はどのように行われるのか、を調べておく。(1時間)	ペアワーク
7) 健康運動の具体的条件 (運動種目)	
【予習・復習】健康運動を行う上でのどのような運動種目がよいか。エネルギー・神経・筋および内分泌の働きからその違いを調べておく。(1時間)	ペアワーク
8) 健康運動の具体的条件 (運動強度 1)	
【予習・復習】健康運動を行う上で重要となる運動の基本的 3 条件のうち運動強度について、有酸素運動の運動強度の単位を調べておく。(1時間)	ペアワーク 心拍数の測定実習
9) 健康運動の具体的条件 (運動強度 2、消費エネルギー計算を含む)	
【予習・復習】運動の強さによって消費エネルギーはどのように変わるか。運動時の呼吸商・糖・脂質のエネルギーの利用について調べておく。(0.5時間)	ペアワーク エネルギー計算演習
10) 健康運動の具体的条件 (運動時間、運動頻度)	
【予習・復習】健康運動の成果を得るうえで必要となる運動の 3 条件のうち、運動時間・運動頻度はどのくらい行って。(1時間)	ペアワーク 減量プログラムの作成演習
11) 健康づくりのための身体活動・運動のガイドライン	
【予習・復習】健康づくりのために用いられているガイドラインで行われている身体活動についてまとめておく (健康づくりのための身体活動基準 2013 など)。(1時間)	ペアワーク
12) 健康運動実施上の注意点	
【予習・復習】健康運動実施上の安全性と有効性について教科書でまとめておく。(0.5時間)	ペアワーク
13) 運動療法	
【予習・復習】主に生活習慣病予防・改善のための運動の方法について、生活習慣病ごとにまとめておく。(1時間)	ペアワーク
14) 競技スポーツと栄養	
【予習・復習】競技スポーツの特性と栄養摂取の在り方について、3大栄養素の観点からまとめておく。(0.5時間)	ペアワーク
15) まとめ	
【予習・復習】これまでの授業で分からなかったことは何か。まとめておく。授業で再チェックする。(1時間)	
授業外学習	
解剖生理学の内容、生化学、栄養学総論で習った代謝、臨床栄養学で習った病態生理について、復習(予習)して、毎回の授業に臨んでください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「運動生理学」池上晴夫 (朝倉書店)	解剖生理学、生化学、栄養学総論、臨床栄養学、病理学
課題に対するフィードバック	
授業内容及び授業外で出した課題については翌週に解説する。	
備考	
私語は慎んでください。また、携帯電話の使用は禁止です。 【オフィスアワー】授業の前後で対応します。	

科目名	生理学実験						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実験	選択	1	2	後期			
担当者名	城野 世津子 石丸 隆行 幸 恵里	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 必修				
授業概要							
人間の生理機能について、栄養士の知識として必要な事項、栄養士として把握しておくべき測定技法を実験により身につけ、実験結果をまとめ分析する力を養い、栄養士業務に役立てることを目的とする。							
到達目標				成績評価方法			
1. 身体計測の意義、測定方法を理解する 2. 身体機能の測定方法、その意義について理解する 3. 官能検査および検定の手法を理解する 4. 温熱環境の測定方法および指標について理解する 卒業認定・学位授与の方針との関連性 栄養士として必要な「人間の生理機能」に関する基本的な知識及び測定技法を身につけることができる。				授業内レポート、授業への意欲・態度による総合評価			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					20
小テスト、授業内レポート	○	○					40
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○		○		10
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 身体計測① バイタルサイン：血圧、脈拍、体温 【予習】関連科目テキストを読んでおく(15分) 【復習】配布プリントを読んでおく(15分)				フィールドワーク			
2) 身体計測② 体格の測定：身長、体重、胸囲、腹囲、皮下脂肪厚、体脂肪率 【予習】関連科目テキストを読んでおく(15分) 【復習】配布プリントを読んでおく(15分)				フィールドワーク			
3) 身体計測③ 測定結果の判定・評価 【予習】関連科目（食品鑑別論）テキストを読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(20分)				フィールドワーク			
4) 嗜好型官能評価① オレンジジュースの嗜好評価 【予習】関連科目（食品鑑別論）テキストを読んでおく(15分) 【復習】配布プリントを読んでおく(15分)				フィールドワーク			

5) 嗜好型官能評価② オレンジジュースの嗜好評価	
【予習】 関連科目 (食品鑑別論) テキストを読んでおく (15 分)	フィールドワーク
【復習】 復習小レポートによるまとめ (20 分)	
6) 分析型官能評価① 甘味、塩味の味覚識別能力	
【予習】 関連科目 (食品鑑別論) テキストを読んでおく (15 分)	フィールドワーク
【復習】 配布プリントを読んでおく (15 分)	
7) 分析型官能評価② 酸味、苦味の味覚識別能力	
【予習】 関連科目 (食品鑑別論) テキストを読んでおく (15 分)	フィールドワーク
【復習】 復習小レポートによるまとめ (20 分)	
8) 身体機能の測定① 最大酸素摂取量、呼吸機能、握力	
【予習】 関連科目 (運動生理学、応用栄養学) テキストを読んでおく (15 分)	フィールドワーク
【復習】 復習小レポートによるまとめ (20 分)	
9) 身体機能の測定② 最大酸素摂取量、呼吸機能、安静時代謝量	
【予習・復習】 配布プリントを読んでおく (15 分)	フィールドワーク
10) 身体機能の測定③ 安静時代謝量、データの統計処理	
【予習】 配布プリントを読んでおく (15 分)	フィールドワーク
【復習】 復習小レポートによるまとめ (20 分)	
11) 食習慣調査	
【予習】 実施した食習慣調査結果を確認しておく (15 分)	フィールドワーク
【復習】 復習小レポートによるまとめ (20 分)	
12) 感覚温度の測定① 感覚温度、実効輻射温度、不快指数	
【予習】 関連科目 (公衆衛生学) テキストを読んでおく (15 分)	フィールドワーク
【復習】 復習小レポートによるまとめ (20 分)	
13) 1日のエネルギー消費量・身体活動量① 生活時間調査	
【予習】 関連科目 (運動生理学、応用栄養学) テキストを読んでおく (15 分)	フィールドワーク
【復習】 復習小レポートによるまとめ (20 分)	
14) 1日のエネルギー消費量・身体活動量② エネルギー消費量測定値の解析	
【予習】 配布プリントを読んでおく (15 分)	フィールドワーク
【復習】 復習小レポートによるまとめ (20 分)	
15) 実験まとめ	
【予習】 配布プリントを読んでおく (20 分)	課題レポート
【復習】 復習小レポートによるまとめ (20 分)	小テスト
授業外学習	
授業内容について関連科目も含めた予習・復習を継続すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
主としてプリント配布によるが、関連科目のテキストも使用	食品鑑別論、運動生理学、公衆衛生学、栄養学
課題に対するフィードバック	
レポート提出後、コメントをつけ返却します。内容が不十分な場合は、再提出とします。	
備考	
【オフィスアワー 未定】 城野 世津子 sirono@ube-c.ac.jp	

科目名	生化学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1	前期			
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 選択				
授業概要 私たちの体を構成する成分は、分子や電解質でできている。それらは常に変化し、置き換わっている。変化は化学反応によって起こり、化学反応が起こるにはエネルギーが必要である。健康を維持・増進するためには、体の構成成分の材料やエネルギーを栄養素として摂取しなければならない。栄養素も分子や電解質でできている。適切な栄養素の摂取の理論的な根拠を理解するためには、体の構成成分や栄養素を構成する分子や電解質の構造、機能、代謝に関する知識が不可欠である。この授業では、糖質、脂質、たんぱく質の構造と機能、酵素の性質、核酸の構造と機能について、生化学の基礎を学習する。							
到達目標			成績評価方法				
1. 糖質の構造と機能を説明できる。 2. 脂質の構造と機能を説明できる。 3. タンパク質の構造と機能を説明できる。 4. 酵素の性質を説明できる。 5. 核酸の構造と機能を説明できる。			授業態度 (20%)、小テスト (50%)、期末試験 (30%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容 (時間)					アクティブラーニング		
1. 生化学を学ぶための基礎知識					確認問題		
【予習】テキスト1~3ページ読んでくること (30分)							
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)							
2. 糖質の構造と機能 (1)					確認問題		
【予習】テキスト4~5ページ読んでくること (30分)							
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)							
3. 糖質の構造と機能 (2)					確認問題、小テスト①		
【予習】テキスト6~7ページ読んでくること (30分)							
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)							
4. 糖質の構造と機能 (3)					確認問題		
【予習】テキスト8~9ページ読んでくること (30分)							
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)							

5. 脂質の構造と機能 (1)	
【予習】テキスト 10～11 ページ読んでくること (30 分)	確認問題、小テスト②
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30 分)	
6. 脂質の構造と機能 (2)	
【予習】テキスト 11～13 ページ読んでくること (30 分)	確認問題
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30 分)	
7. 脂質の構造と機能 (3)	
【予習】テキスト 13～14 ページ読んでくること (30 分)	確認問題
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30 分)	
8. タンパク質の構造と機能 (1)	
【予習】テキスト 15～16 ページ読んでくること (30 分)	確認問題、小テスト③
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30 分)	
9. タンパク質の構造と機能 (2)	
【予習】テキスト 17 ページ読んでくること (30 分)	確認問題
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30 分)	
10. タンパク質の構造と機能 (3)	
【予習】テキスト 18～21 ページ読んでくること (30 分)	確認問題
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30 分)	
11. 酵素 (1)	
【予習】テキスト 22～23 ページ読んでくること (30 分)	確認問題、小テスト④
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30 分)	
12. 酵素 (2)	
【予習】テキスト 24～26 ページ読んでくること (30 分)	確認問題
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30 分)	
13. 核酸と DNA の構造	
【予習】テキスト 70～71 ページ読んでくること (30 分)	確認問題
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30 分)	
14. 遺伝子の複製	
【予習】テキスト 72～73 ページ読んでくること (30 分)	確認問題、小テスト⑤
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30 分)	
15. 遺伝子の発現	
【予習】テキスト 73～75 ページ読んでくること (30 分)	確認問題
【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30 分)	
授業外学習	
授業外学習は、予習としてテキストの該当部分を読んでおくこと。復習では、毎回の授業のポイントを確認問題で定着させる。確認問題と小テストの問題文の正誤の理由を自分の言葉で説明できるように復習すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
冊子「栄養士のための生化学テキスト」を初回授業時に配布する。	生化学実験、栄養学総論、臨床栄養学、栄養生化学、運動生理学など
課題に対するフィードバック	
毎回の授業で提出する確認問題は、次の授業の冒頭で返却し、解答とポイントを解説する。小テストは、採点后返却し、解答とポイントを解説する。	
備考	

科目名	栄養生化学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要 私たちの体を構成する成分は、分子や電解質でできている。それらは常に変化し、置き換わっている。変化は化学反応によって起こり、化学反応が起こるにはエネルギーが必要である。健康を維持・増進するためには、体の構成成分の材料やエネルギーを栄養素として摂取しなければならない。栄養素も分子や電解質でできている。適切な栄養素の摂取の理論的な根拠を理解するためには、体の構成成分や栄養素を構成する分子や電解質の構造、機能、代謝に関する知識が不可欠である。この授業では、生化学の知識を基礎として、糖質、脂質、たんぱく質の代謝、エネルギー代謝、臓器による代謝の分業と調節、主要疾患の病態と食事療法との関連について学習する。							
到達目標			成績評価方法				
1. 糖質の代謝を説明できる。 2. 脂質の代謝を説明できる。 3. アミノ酸・タンパク質の代謝を説明できる。 4. 代謝を調節する仕組みを説明できる 5. 主要疾患の病態と食事療法との関連について説明できる。			授業態度 (20%)、小テスト (50%)、 期末試験 (30%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容 (時間)					アクティブラーニング		
1. 栄養素の消化と吸収					確認問題		
【予習】テキスト 34～37 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)							
2. 糖質の代謝 (1) 解糖とクエン酸回路					確認問題		
【予習】テキスト 38～41 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)							
3. 糖質の代謝 (2) 電子伝達系					確認問題、小テスト①		
【予習】テキスト 41～42 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)							
4. 糖質の代謝 (3) その他の糖代謝					確認問題		
【予習】テキスト 43～46 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)							

5. 脂質の代謝 (1) 脂肪酸の合成、 β 酸化、その他	
【予習】テキスト 47～49 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)	確認問題
6. 脂質の代謝 (2) リポタンパク質代謝	
【予習】テキスト 49～52 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)	確認問題、小テスト②
7. アミノ酸・タンパク質の代謝 (1)	
【予習】テキスト 53～54 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)	確認問題
8. アミノ酸・タンパク質の代謝 (2)	
【予習】テキスト 55～57 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)	確認問題
9. エネルギー代謝	
【予習】テキスト 58～61 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)	確認問題、小テスト③
10. 臓器による分業	
【予習】テキスト 62～64 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)	確認問題
11. 細胞内情報伝達	
【予習】テキスト 65～69 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)	確認問題
12. 疾患の栄養生化学 (1) 肥満、メタボリックシンドローム	
【予習】テキスト 76～77 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)	確認問題、小テスト④
13. 疾患の栄養生化学 (2) 糖尿病	
【予習】テキスト 78～81 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)	確認問題
14. 疾患の栄養生化学 (3) 脂質異常症、高血圧、高尿酸血症	
【予習】テキスト 82～86 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)	確認問題、小テスト⑤
15. 疾患の栄養生化学 (4) 腎疾患、肝疾患	
【予習】テキスト 86～88 ページ読んでくること (30分) 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること (30分)	確認問題
授業外学習	
授業外学習は、予習としてテキストの該当部分を読んでおくこと。復習では、毎回の授業のポイントを確認問題で定着させる。確認問題と小テストの問題文の正誤の理由を自分の言葉で説明できるように復習すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
生化学の授業で配布した冊子「栄養士のための生化学テキスト」を引き続き使用する。	生化学、生化学実験、栄養学総論、臨床栄養学、運動生理学など
課題に対するフィードバック	
毎回の授業で提出する確認問題は、次の授業の冒頭で返却し、解答とポイントを解説する。小テストは、採点后返却し、解答とポイントを解説する。	
備考	

科目名	生化学実験						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実験	選択	1	2	前期			
担当者名	石丸 隆行 幸 恵里	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要 生化学実験の目的は、専門科目で学習した酵素やタンパク質に関する知識を更に深めることである。ペプシン、トリプシンなどの消化酵素を中心に、その性質や働きを調べる。また、食品から核酸を抽出する実験や遺伝子組換え実験を通して、DNAや遺伝子についての知識を深めていく。 これまでの授業アンケートで、生化学の専門用語が難しいとの意見が多く寄せられている。用語を覚えるにあたり、すでに講義で聞いた内容について、実際に目で見て実験することがその助けとなるはずである。栄養士実力認定試験の過去問にも取り組む。							
到達目標 1. 酵素の基本的な性質と働きを理解している。 2. DNAや遺伝子の基本的な性質と働きを理解している。 3. 関連の栄養士実力認定試験問題に解答できる。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 栄養士として必要な「人体の構造と機能」に関する知識と技能をみにつける。			成績評価方法 定期試験、レポート、授業態度・授業参加度で評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験	○	○					25
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度				○	○		15
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 実験の説明、pH分析				グループワーク			
【予習・復習】pHについて調べておく。レポート作成(90分)							
2) パイナップル入りゼラチンゼリーを作ることはできるのか？				グループワーク			
【予習・復習】酵素の働きについて調べておく。レポート作成(90分)							
3) 酵素的褐変				グループワーク			
【予習・復習】酵素的褐変について復習。レポート作成(90分)							

4) 検量線を使ってタンパク質溶液の濃度を求める。 【予習・復習】ピペットマンの使い方を予習しておく。(20分)	グループワーク
5) リゾチームの分析 汗、涙に含まれるリゾチーム量を定量する。 【予習・復習】リゾチームについて調べておく。レポート作成(90分)	グループワーク
6) タンパク質消化酵素の実験 ペプシン、トリプシンによるタンパク質の消化実験 【予習・復習】酵素の働きについて調べておく。レポート作成(90分)	グループワーク
7) タンパク質を精製してみよう 【予習・復習】等電点、等電点沈殿について予習する。(30分)	グループワーク
8) SDS-PAGEの結果から、タンパク質の分子量を求める。 【予習・復習】SDS-PAGEについて予習しておく。(30分)	グループワーク
9) タンパク質精製実験のまとめ 【予習・復習】レポート作成。(120分)	グループワーク
10) α -アミラーゼの働きを阻害する。 【予習・復習】アミラーゼについて予習。レポート作成(90分)	グループワーク
11) 遺伝子組み換え実験 1. 酵母に α -アミラーゼ遺伝子を導入する。 【予習・復習】渡したプリントで予習。(30分)	グループワーク
12) 遺伝子組み換え実験 2. 遺伝子導入酵母をデンプン培地に移す。 【予習・復習】渡したプリントで予習。(30分)	グループワーク
13) 遺伝子組み換え実験 3. α -アミラーゼ活性を検出する。食品から核酸を抽出する。 【予習・復習】レポート作成。(90分)	グループワーク
14) 糖当て試験 【予習・復習】糖の特徴について復習しておく。(60分)	グループワーク
15) まとめ 【予習・復習】今までの実験の復習。(60分)	グループワーク
授業外学習	
<p>1. テーマごとに実験レポートを書き、考える能力や文章作成能力を高めることが大事である。</p> <p>2. すでに学習している内容を視覚的に確認・復習する授業でもあるので、真剣に取り組んで欲しい。 特に、講義科目だけでは理解が難しい酵素やタンパク質の構造などについては、栄養士実力認定試験の過去問にも取り組みながら、その知識を深めてもらいたい。</p> <p>3. レポートは、手書きとする。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリントを配付する。	生化学、栄養学総論、栄養生化学、食品学総論
課題に対するフィードバック	
<p>【課題に対するフィードバック】</p> <p>レポート提出後、コメントをつけ返却します。不十分な点があれば修正し、再提出してもらいます。</p>	
備考	
【オフィスアワー】石丸 隆行	

科目名	病理学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2	前期			
担当者名	藤宮 龍也	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要 病理学は病気がどのようなメカニズムで発生し、症状を現し、進展するのかを解明する科学であり、病気の知識を習得するための基本を学修します。							
到達目標 1. 病理学的に重要な病変を説明できる。 2. 重要な疾患の病理と病態生理を説明できる。			成績評価方法 受講態度、期末試験、小テストによる総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容 (時間)				アクティブラーニング			
1) 総論 病理学の領域、細胞・組織とその障害 1 【予習】テキストを読んでおく (45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く (45分)				小テスト			
2) 細胞・組織とその障害 2、再生と修復 【予習】テキストを読んでおく (45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く (45分)				小テスト			
3) 循環障害 【予習】テキストを読んでおく (45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く (45分)				小テスト			
4) 炎症、免疫とアレルギー 1 【予習】テキストを読んでおく (45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く (45分)				小テスト			
5) 免疫とアレルギー 2、感染症 【予習】テキストを読んでおく (45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く (45分)				小テスト			

6) 代謝異常、老化と老年病	
【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)	小テスト
7) 新生児の病理、先天異常	
【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)	小テスト
8) 腫瘍、生命の危機	
【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)	小テスト
9) 各論 循環器系、呼吸器系	
【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)	小テスト
10)各論 歯・口腔系、消化器系	
【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)	小テスト
11)各論 内分泌系、造血器系	
【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)	小テスト
12)各論 腎・尿路系、生殖器・乳腺	
【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)	小テスト
13)各論 脳・神経系	
【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)	小テスト
14)各論 運動器系、感覚器系	
【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)	小テスト
15) 進化医学と病理学総まとめ	
【予習】今までの配布資料を確認する(45分) 【復習】配布資料とポイント・確認問題を復習する(45分)	小テスト
授業外学習	
授業計画に沿って、講義資料を配布します。 講義時間内に小テストがあります。講義資料、参考書を復習して下さい。	
参考書、教材	関連する科目
「カラーで学べる病理学」編集 渡辺照男（ヌーベルヒロカワ）、講義資料	解剖生理学、生化学、公衆衛生学、食品衛生学
課題に対するフィードバック	
授業内容及び授業外で出した課題については翌週にコメントします。 疑問があればその都度質問して下さい。	
備考	
プロジェクターを使ってテキストに添って講義を進めます。小テストにより、出席の確認を行います。	

科目名	食品学総論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1	前期			
担当者名	石丸 隆行	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 必修				
授業概要							
食品に含まれる5大栄養素、色・味・匂いの嗜好に関与する成分、生体調節に関与する成分や有毒成分の化学及びその成分の調理・加工・貯蔵中における品質の変化を学びます。							
到達目標				成績評価方法			
食品成分の化学構造特性と嗜好性、食品機能性、加工特性との関係に関する知識を習得し、安心・安全で工夫した献立、調理ができるための知識が身につくようになる				期末定期試験、小テスト、授業への意欲・態度（質問）			
卒業認定・学位授与の方針との関連性							
食品に関する基本的な知識及び食品の機能性に関する知識を身につけることができる。							
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 食品の機能と食品学の概要							
【予習・復習】教科書 p1～p8 を読んでくる（20分）							
2) ヒトと食、食と健康、私たちを取りまく食環境について							
【予習・復習】教科書 p9～p14 を読んでくる（20分）							
3) 成分表の見方、水分の化学							
【予習・復習】教科書 p15～p21 を読んでくる（20分）							
4) 食品中のタンパク質の化学							
【予習・復習】教科書 p21～p29 を読んでくる（20分）							

5) 7) 食品中の脂質の化学	小テスト
【予習・復習】今までの復習、教科書 p29～p36 を読んでくる (40 分)	
6) 食品中の脂質の化学：油脂の特性と油脂の酸化	
【予習・復習】教科書 p36～p42 を読んでくる (20 分)	
7) 中間テスト (水分、たんぱく質、脂質)	中間テスト
【予習・復習】今までの復習 (60 分)	
8) 食品中の糖質の化学：糖質の分類	
【予習・復習】教科書 p42～p50 を読んでくる (20 分)	
9) 食品中の糖質の化学：多糖類の構造と食品物性	
【予習・復習】教科書 p50～p55 を読んでくる (20 分)	
10) 食品中のビタミンの化学：ビタミンの分類と特徴、ビタミン A,D	小テスト
【予習・復習】今までの復習、教科書 p55～p59 を読んでくる (40 分)	
11) 食品中のビタミンの化学：ビタミン C まで	
【予習・復習】教科書 p59～p64 を読んでくる (20 分)	
12) 食品中のミネラルの化学：主要金属	小テスト
【予習・復習】今までの復習、教科書 p64～p70 を読んでくる (40 分)	
13) 食品中のミネラルの化学：微量元素、毒性成分	
【予習・復習】教科書 p70～p75 を読んでくる (20 分)	
14) 食品中に含まれる毒性成分②、成分間反応で生じる毒性成分	小テスト
【予習・復習】教科書 p76～p80 を読んでくる (20 分)	
15) 食品成分中の生理調節機能物質、まとめ	小テスト
【予習・復習】今までの復習、教科書 p80～p83 を読んでくる (40 分)	
授業外学習	
授業開始時、前回講義内容の小テストがあります。講義資料、テキストを復習してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「食べ物と健康 食品学総論」谷口亜樹子編著 (光生館)	食品学各論、食品鑑別論
課題に対するフィードバック	
小テストについては解説をしながら自己採点を行います。その後、回収し、翌週返却します。	
備考	
【オフィスアワー】授業の前後で対応します	

科目名	食品学各論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	石丸 隆行	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター資格 必修				
授業概要 各個別食品の成分や特性を習得し、食品成分の化学的・酵素的変化を理解する。また、食品材料とそれらの加工・保存の意義と権利について学びます。							
到達目標 動物性食品、植物性食品の栄養成分や特性・機能を理解し、素材の特性を活かした健全で豊かな献立が提供できる知識を習得する。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 食品に関する基本的な知識及び食品の機能性に関する知識を身につけることができる。			成績評価方法 期末定期試験、小テスト、授業への意欲・態度				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 植物性食品：こめ、麦類、その他の穀類							
【予習・復習】教科書 p87-p98 まで読んでくる。(20分)							
2) 植物性食品：いも類、豆類							
【予習・復習】教科書 p98-p109 まで読んでくる。(20分)							
3) 植物性食品：野菜類、果実類				小テスト			
【予習・復習】復習。教科書 p109-p121 まで読んでくる。(20分)							
4) 植物性食品：藻類、きのこ類				小テスト			
【予習・復習】復習。教科書 p121-p125 まで読んでくる。(40分)							

5) 動物性食品：食肉類及びその加工品	
【予習・復習】教科書 p125-p132 まで読んでくる。(20分)	
6) 水産物食品：魚介類及びその加工品	
【予習・復習】教科書 p132-p141 まで読んでくる。(20分)	
7) 動物性食品：乳類及びその加工品	小テスト
【予習・復習】復習。教科書 p141-p152 まで読んでくる。(40分)	
8) 動物性食品：卵類及びその加工品動物性食品	
【予習・復習】教科書 p152-p160 まで読んでくる。(20分)	
9) 油脂、調味料、香辛料、嗜好飲料	
【予習・復習】教科書 p160-p179 まで読んでくる。(20分)	
10) 発酵食品：発酵調味料、アルコール	小テスト
【予習・復習】復習。教科書 p180-p189 まで読んでくる。(40分)	
11) 食品成分の化学的变化：酵素的褐変、非酵素的褐変、カラメル化	
【予習・復習】教科書 p191-p196 まで読んでくる。(20分)	
12) 食品の物性：食品コロイド、乳濁・乳化、粘性と弾性、テクスチャー、食品と誤えん	
【予習・復習】教科書 p196-p200 まで読んでくる。(20分)	
13) 食品の機能成分：栄養素、色素成分、香気・匂い成分	
【予習・復習】教科書 p201-p205 まで読んでくる。(20分)	
14) 食品の機能成分：呈味成分・味の相互作用	小テスト
【予習・復習】復習。教科書 p205-p210 まで読んでくる。(40分)	
15) 食品の機能性と規格：保健機能食品、特定保健用食品	
【予習・復習】教科書 p210-p218 まで読んでくる。(20分)	
授業外学習	
旬の野菜・魚介類調査	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「食べ物と健康 食品学各論・食品加工学」谷口亜樹子編著（光生館）	食品学総論、食品鑑別論、食品加工学、調理学
課題に対するフィードバック	
小テストについては解説をしながら自己採点を行います。その後、回収し、翌週返却します。	
備考	
【オフィスアワー】授業の前後で対応します	

科目名	食品学実験						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実験	選択	1	1年	後期			
担当者名	石丸 隆行 幸 恵里	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト 必修				
授業概要 一貫して指定した食品の栄養成分の分析を行い、最終的にエネルギー値の算出まで行うことによって食品成分表に記載されている値への理解を深める。							
到達目標 1. 「五訂増補日本食品標準成分表」に記載されている食品成分の分析方法を理解する。 2. 基本的な化学分析の技術を習得する。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 栄養士として必要な「食品と衛生」に関する基本的な知識及び食品に関する実験技術を身につけることができる。			成績評価方法 毎回のレポート、定期試験 授業への積極性				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度				○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 実験についての諸注意、レポートの書き方、水分の分析①恒量 【予習復習】教科書 60p～62p、プリントを読んでおく。(20分)				フィールドワーク			
2) 水分の分析②恒量、サンプル採取 【予習復習】教科書、プリントを読み実験内容の予習、復習。(10分)				フィールドワーク			
3) 水分の分析③水分量を求める。味噌汁、醤油の食塩の分析 【予習復習】レポート作成 (135分)				フィールドワーク			

4) 脂質の分析① 脂質の定量ビンの恒量 【予習復習】教科書 67p～69p を読んでおく。(20 分)	フィールドワーク
5) 脂質の分析②定量ビンの恒量、ソックスレー抽出器への装着 【予習復習】教科書を読み、ソックスレー抽出を理解する。(20 分)	フィールドワーク
6) 脂質の分析③脂肪量を求める。ジュースのクエン酸濃度、糖度測定 【予習復習】レポート作成 (135 分)	フィールドワーク
7) たんぱく質の分析①試料調整、ケルダール分解 【予習復習】教科書 60p～67p、プリントを読んでおく。(10 分)	フィールドワーク
8) たんぱく質の分析②試料分解液の希釈、水蒸気蒸留 【予習復習】教科書、プリントを読み、水蒸気蒸留法を理解する。(20 分)	フィールドワーク
9) たんぱく質の分析③水蒸気蒸留、タンパク質量を求める。 【予習復習】レポート作成 (135 分)	フィールドワーク
10) 灰分の分析① るつぼの恒量、試料の採取、炭化 【予習復習】教科書 75p～78p、プリントを読んでおく。(20 分)	フィールドワーク
11) 灰分の分析②恒量を求め、灰分の量、エネルギー値を求める。 【予習復習】レポート作成 (135 分)	フィールドワーク
12) 無機質の分析①試薬の調製 【予習復習】教科書 134p～136p、プリントを読んでおく。(10 分)	フィールドワーク
13) 無機質の分析②試料溶液の調製 【予習復習】教科書 134p～136p、プリントを読んでおく。(10 分)	フィールドワーク
14) 無機質の分析③モリブデン比色法によるリンの定量 【予習復習】レポート作成 (135 分)	フィールドワーク
15) まとめ 【予習復習】今までの実験内容の総復習。(60 分)	小テスト
授業外学習	
1つの分析が終わった翌週にレポートを提出すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
大鶴 勝 編 『食品学実験』(朝倉書店) 『五訂増補日本食品標準成分表』	食品学総論 食品学各論 調理学 給食管理学
備考	
【課題に対するフィードバック】 レポート提出後、コメントをつけ返却します。不十分な点があれば修正し、再提出してもらいます。 欠席の多い者、レポートを1通でも提出していないものは不可とするので注意すること。	

科目名	食品衛生学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2	前期			
担当者名	石丸 隆行	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター資格 必修				
授業概要 微生物は発酵食品作りには必須であるが、扱い方を間違えてしまうと食中毒を引き起すなど、人に対し牙をむくこととなる。「食品衛生学」では、微生物以外にも、ウイルスや寄生虫などによる汚染や食品添加物など、飲食を介して体内に取り込む可能性のある危険因子について学び、食品の安全性の確保のための手段について学んでいく。 「食品衛生学」は、微生物学や化学などの自然科学とともに、行政や法律など社会科学分野とも深く関わっている。食品衛生行政や食品衛生法などについても簡単に説明する。							
到達目標 1. 食品衛生行政や食品衛生法などの基礎的な知識が身についている。 2. 微生物や食品添加物など飲食に起因する健康上の危険因子について知り、食の安全性について考えることができる。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 食品の機能性や安全性など食品に関する幅広い知識を身につける。						成績評価方法 授業態度、小テスト、中間試験、定期試験による総合評価	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					中間 20 期末 40
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）					アクティブラーニング		
1) 食品衛生の概念と食品衛生行政							
【予習・復習】予習 p1～p23 を読んでくること (60分)							
2) 食品と微生物、食品の変質、変質防止							
【予習・復習】前回の復習、予習 p25～p42 を読んでくること (40分)							
3) 食中毒の概要と発生状況、細菌性食中毒 1					小テスト		
【予習・復習】前回の復習、予習 p43～p57 を読んでくること (30分)							

4) 細菌性食中毒 2	
【予習・復習】前回の復習、予習 p57～p73 を読んでくること(30分)	
5) 細菌性食中毒まとめ	
【予習・復習】講義 3-5 回目をしっかりまとめてくる(40分)	
6) 自然食中毒	小テスト
【予習・復習】前回の復習、予習 p73～p88 を読んでくること(30分)	
7) 化学性食中毒、寄生虫 1	小テスト
【予習・復習】前回の復習、予習 p88～p100 を読んでくること(30分)	
8) 寄生虫 2、寄生虫まとめ	
【予習・復習】前回の復習、予習 p100～p116 を読んでくること(30分)	
9) 有害物質による食品汚染	小テスト
【予習・復習】前回の復習、予習 p117～p134 を読んでくること(30分)	
10) 食品添加物 1、ADI	
【予習・復習】前回の復習、予習 p137～p155 を読んでくること(30分)	
11) 食品添加物 2、発がん性物質	
【予習・復習】前回の復習、予習 p157～p161 を読んでくること(30分)	
12) 食品衛生対策	小テスト
【予習・復習】前回の復習、予習 p187～p196 を読んでくること(30分)	
13) HACCP、ISO、大量調理マニュアル	
【予習・復習】前回の復習、予習 p196～p201 を読んでくること(30分)	
14) 食品の安全性(遺伝子組み換え食品を含む)	
【予習・復習】前回の復習、予習 p204～p206 を読んでくること(30分)	
15)、まとめ	小テスト
【予習・復習】今まで渡したプリントを読んでくる。(60分)	
授業外学習	
<p>1. 家での学習のために、毎回の授業の終わりにその日説明した内容に関する課題プリントを配付するので、次回授業までにその問題に取り組む。次の授業で前に(ホワイトボードに)解答を書いてもらって答え合わせをするので、忘れないように全員が取り組んでくるようにする。</p> <p>2. 課題の問題の多くが中間試験及び定期試験に出題される。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「食べ物と健康・食品と衛生 新食品衛生学要説 2019年版」廣末トシ子、安達修一 編著(医歯薬出版)	食品学総論、食品衛生学実験
課題に対するフィードバック	
各单元ごとに小テストを行う。小テストは講義内に回答を行い、翌週の講義時に返却する。	
備考	
<p>1. 授業開始時に、課題の答え合わせをするので、遅刻・欠席をしないようにする。</p> <p>2. 課題プリントなどの配付物をなくさないようにする。</p>	

科目名	食品衛生学実験						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実験	選択	1	2	後期			
担当者名	石丸 隆行 幸 恵里	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト 必修				
授業概要 微生物は発酵食品作りには必須であるが、扱い方を間違えてしまうと食中毒や病気を引き起すなど、人に対し牙をむくこととなる。「食品衛生学実験」では、どうすれば微生物を増やさずに食中毒を防ぐことができるかについて考えていく。すなわち、微生物の検出・殺菌方法についての基本操作を学んでいく。また、レポート課題で、「食品衛生学」の栄養士実力認定試験の過去問にも取り組む。							
到達目標 1. 微生物が調理現場などにも存在していることを認識している。 2. 微生物の基本的な検出・殺菌方法を理解している。 3. 関連の栄養士実力認定試験問題に解答できる。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 栄養士として必要な「食品と衛生」に関する基本的な知識及び食品に関する実験技術を身につけることができる。						成績評価方法 中間試験、定期試験、レポート、授業態度・授業参加度で評価する。	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					15・15
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				55
授業態度・授業参加度					○		15
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）					アクティブラーニング		
1) 空気中の微生物観察 1 【予習・復習】翌週レポートが書けるよう調べてくる(30分)					フィールドワーク		
2) 空気中の微生物観察 2 レポート作成 【予習・復習】次週の実験プリントを見ておく(30分)					フィールドワーク		
3) 水道水中の細菌検出 1 【予習・復習】翌週レポートが書けるよう調べてくる(30分)					フィールドワーク		

4) 水道水中の細菌検出 2 レポート作成	フィールドワーク
【予習・復習】次週の実験プリントを見ておく(30分)	
5) 手指や調理器具に付着している微生物の検出 1	フィールドワーク
【予習・復習】翌週レポートが書けるよう調べてくる(30分)	
6) 手指や調理器具に付着している微生物の検出 2 レポート作成	フィールドワーク
【予習・復習】次週の実験プリントを見ておく(30分)	
7) 微生物の拭き取り検査 1	フィールドワーク
【予習・復習】翌週レポートが書けるよう調べてくる(30分)	
8) 微生物の拭き取り検査 2 レポート作成	フィールドワーク
【予習・復習】次週の実験プリントを見ておく(30分)	
9) ミネラルウォーター中の微生物検出 1	フィールドワーク
【予習・復習】レポート、課題を解き、テスト勉強(120分)	
10) ミネラルウォーター中の微生物検出 2 / <u>中間試験</u> レポート作成	フィールドワーク
【予習・復習】テストの復習、翌週のプリントをみておく。(60分)	
11) 身の回りの細菌	フィールドワーク
【予習・復習】翌週レポートが書けるよう調べてくる(30分)	
12) 細菌検査のまとめ、グラム染色、顕微鏡観察	フィールドワーク
【予習・復習】レポート、課題をしっかりといてくる。(120分)	
13) 水の分析 1、pH、色度、濁度	フィールドワーク
【予習・復習】飲料水の特徴について調べておく。レポート作成(120分)	
14) 水の分析 2、硬度の分析、まとめ	フィールドワーク
【予習・復習】硬度の特徴について調べておく。レポート作成(120分)	
15) まとめ	フィールドワーク
【予習・復習】テスト対策として、今までのレポートをまとめる(60分)	
授業外学習	
<p>1. 課題の内容をしっかりと図書等で調べてくること。</p> <p>2. 配ったプリントで分からない語句等があれば食品衛生学の教科書等で調べてくる。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリントを配付する	食品衛生学、食品学実験
課題に対するフィードバック	
レポート提出後、コメントをつけ返却します。不十分な点があれば修正し、再提出してもらいます。	
備考	
遅刻や欠席はしないように！	
【オフィスアワー】石丸 隆行	

科目名	栄養学総論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1	前期			
担当者名	城野 世津子	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター資格 必修				
授業概要 食物として摂取する栄養素（炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、無機質）の種類や機能、消化・吸収とそれら栄養素の体内動態等、栄養学の基礎知識を習得する。生きていくための栄養とその役割について、ヒトのからだ全体を通して理解する。							
到達目標 1. 栄養素の種類とその機能、体内での代謝について理解する。 2. 生命維持のために必要なエネルギー、栄養素の役割をヒトの体を通して理解する。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 食物として摂取した栄養素の消化吸収、生命維持のために必要なエネルギー、栄養素の役割に関する基礎知識を身につけることができる。			成績評価方法 定期試験、小テスト、授業内レポート、授業への意欲・態度による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 栄養の概念 栄養素とその機能、栄養と健康・疾患							
【予習】テキスト p14～25 を読んでおく(10分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)							
2) 消化と吸収① 消化、吸収の仕組み				小テスト（栄養素）			
【予習】テキスト p39～56 を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)							
3) 消化と吸収② 糖質、脂質、たんぱく質の消化と吸収							
【予習】テキスト p56～66 を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)							
4) 糖質の栄養① 糖質の機能、食物繊維				小テスト（消化吸収）			
【予習】テキスト p68～74 を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)							

5) 糖質の栄養② 体内代謝	
【予習】テキスト p74～84 を読んでおく(15分)	
【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)	
6) 脂質の栄養① 脂質の機能	
【予習】テキスト p87～94 を読んでおく(15分)	小テスト (糖質)
【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)	
7) 脂質の栄養② 体内代謝	
【予習】テキスト p94～102 を読んでおく(15分)	
【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)	
8) たんぱく質の栄養① たんぱく質の機能、栄養価	
【予習】テキスト p105～111 を読んでおく(15分)	小テスト (脂質)
【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)	
9) たんぱく質の栄養② たんぱく質・アミノ酸の代謝	
【予習】テキスト p111～121 を読んでおく(15分)	
【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)	
10) ビタミンの栄養① ビタミンの構造と機能	
【予習】テキスト p123～132 を読んでおく(15分)	小テスト (たんぱく質)
【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)	
11) ビタミンの栄養② ビタミンの栄養学的機能	
【予習】テキスト p132～138 を読んでおく(15分)	
【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)	
12) 無機質の栄養① 無機質の構造と機能	
【予習】テキスト p140～144 を読んでおく(15分)	小テスト (ビタミン)
【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)	
13) 無機質の栄養② 無機質の栄養学的機能	
【予習】テキスト p144～150 を読んでおく(15分)	
【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)	
14) 水・電解質の代謝、エネルギー代謝	
【予習】テキスト p152～163 を読んでおく(15分)	小テスト (ミネラル)
【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)	
15) 5大栄養素 まとめ	
【予習・復習】小テスト及び復習小レポートを確認しておく(30分)	小テスト
授業外学習	
授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してくることを。 講義内容に関する復習小レポート課題をまとめてくることを。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「基礎栄養学 第3版」田地陽一編 (羊土社)	生化学、食品学、解剖生理学、栄養学各論
課題に対するフィードバック	
小テスト実施後、翌週以降に出題内容について解説を行います。 レポート提出後、コメントをつけ返却します。	
備考	
【オフィスアワー 未定】城野 世津子 sirono@ube-c.ac.jp	

科目名	栄養学各論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	城野 世津子	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 選択 フードコーディネーター資格 必修				
授業概要 ヒトが生まれてから成長し、成人となり老年にいたる各ライフステージにおける栄養と生理的变化に関する知識を習得する。人間の一生の各段階、妊娠・授乳期、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期における栄養特性について学ぶ。							
到達目標 1. 日本人の食事摂取基準を理解する 2. 各ライフステージにおける栄養特性と生理学的特性を理解する 卒業認定・学位授与の方針との関連性 ヒトの各ライフステージにおける栄養と生理的变化に関する知識を身につけることができる。			成績評価方法 定期試験、小テスト、授業内レポート、授業への意欲・態度による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 日本人の食事摂取基準 2015 ライフステージ別食事摂取基準							
【予習】テキスト p23～37 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (20分)							
2) 成長・発達・加齢と栄養 栄養ケアマネジメント				小テスト（食事摂取基準）			
【予習】テキスト p39～51、p1～14 を読んでおく (20分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)							
3) 乳児期の栄養 乳児期の特性、乳児期の栄養と代謝							
【予習】テキスト p79～87 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)							
4) 乳児期の栄養 乳児期の栄養に関わる疾病							
【予習】テキスト p88～99 を読んでおく (15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30分)							

5) 幼児期の栄養 幼児期の特性、幼児期の栄養上の特徴	
【予習】テキスト p101～110 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30 分)	小テスト (乳児期)
6) 幼児期の栄養 幼児期にみられる栄養上の問題点	
【予習】テキスト p112～122 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30 分)	
7) 学童期・思春期の栄養 学童期・思春期の特性、栄養上の特徴	
【予習】テキスト p101～110 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30 分)	小テスト (幼児期)
8) 学童期・思春期の栄養 学校給食、学童期・思春期にみられる栄養障害	
【予習】テキスト p112～122 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30 分)	
9) 成人期の栄養 成人期の特性、成人期の栄養上の特徴	
【予習】テキスト p125～130 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30 分)	小テスト (学童期・思春期)
10) 成人期の栄養 生活習慣病	
【予習】テキスト p130～136 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30 分)	
11) 高齢期の栄養 高齢期の特性、高齢期の栄養上の特徴	
【予習】テキスト p139～144 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30 分)	小テスト (成人期)
12) 高齢期の栄養 高齢期の栄養上の問題点	
【予習】テキスト p145～153 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30 分)	
13) 妊娠期・授乳期の栄養 母性の特性、妊娠期・授乳期の栄養上の特徴	
【予習】テキスト p53～63 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30 分)	小テスト (高齢期)
14) 妊娠期・授乳期の栄養 妊娠期の疾病と栄養管理	
【予習】テキスト p64～77 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (30 分)	
15) 各ライフステージの栄養 まとめ	
【予習・復習】小テスト及び復習小レポートを確認しておく (30 分)	小テスト (妊娠期・授乳期)
授業外学習	
毎回の講義範囲について予習・復習を継続すること。 次回講義内容に関する予習レポート課題をまとめてくること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「サクセス管理栄養士講座 応用栄養学—ライフステージ別—」多賀昌樹、他著 (第一出版)	栄養学総論、解剖生理学、臨床栄養学
課題に対するフィードバック	
小テスト実施後、翌週以降に出題内容について解説を行います。 レポート提出後、コメントをつけ返却します。	
備考	
【オフィスアワー 未定】城野 世津子 sirono@ube-c.ac.jp	

科目名	栄養学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	1	後期			
担当者名	城野 世津子 山下 晋平		関連する資格	栄養士免許 必修			
授業概要 ヒトの一生における各ライフステージに適合した栄養について理解し、健康の保持・増進と疾病予防のための食生活のあり方を食事として具現していく方法について学習する。 栄養学総論・各論の教科で学んだ知識を基本に、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期のそれぞれの対象にふさわしい食事・栄養のあり方を実習・演習を通して学ぶ。							
到達目標 ・日本人の食事摂取基準を理解し、活用ができる ・各ライフステージに適合した栄養について理解する ・対象者に応じた食事の提供ができる 卒業認定・学位授与の方針との関連性 各ライフステージ対象者の健康の保持・増進と疾病予防を目的とした食事提供のために必要とされる知識・技術を身につけることができる。			成績評価方法 定期試験、小テスト、授業内レポート、授業への意欲・態度による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					40
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション		○	○	○			5
グループワーク		○	○		○		5
演習							
実習	○	○	○	○	○		10
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 各ライフステージの栄養についての概要 食習慣調査の実施、日本人の食事摂取基準 2015							
【予習】テキスト p1～9 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (20 分)							
2) 乳児期の栄養 人工栄養法について (調整粉乳の成分比較)							
【予習】テキスト p50～60 を読んでおく (15 分) 【復習】復習小レポートによるまとめ (20 分)							
3) 乳児期の栄養 調乳 (実習)				グループワーク			
【予習】配布プリントを読んでおく (15 分) 【復習】レポートによるまとめ (60 分)							

4) 成人期の栄養 食習慣調査の結果分析、栄養ケアプログラムの理解	
【予習】テキスト p2～11、p135～150 を読んでおく(20分)	
【復習】復習小レポートによるまとめ(15分)	
5) 成人期(青年期)の栄養 栄養ケアプログラム作成	
【予習】配布プリントを読んでおく(15分)	
【復習】小レポートによるまとめ(20分)	
6) 離乳期の栄養 乳児の摂食機能について	
【予習】テキスト p61～71 を読んでおく(15分)	
【復習】復習小レポートによるまとめ(20分)	
7) 離乳期の栄養 離乳食(実習)、ベビーフード	
【予習】配布プリントを読んでおく(15分)	グループワーク
【復習】レポートによるまとめ(60分)	
8) 幼児期の栄養 幼児食、保育所給食について	
【予習】テキスト p76～94 を読んでおく(15分)	
【復習】復習小レポートによるまとめ(20分)	
9) 幼児期の栄養 実習	
【予習】配布プリントを読んでおく(15分)	グループワーク
【復習】プレゼンテーションの準備(30分)	
10) 幼児期の栄養 実習まとめ、プレゼンテーション	
【予習】配布プリントを読んでおく(15分)	グループワーク
【復習】レポートによるまとめ(60分)	
11) 高齢期の栄養 高齢期の特性、老化による機能低下と食事	
【予習】テキスト p168～186 を読んでおく(15分)	
【復習】復習小レポートによるまとめ(20分)	
12) 高齢期の栄養 軟菜食(実習)	
【予習】配布プリントを読んでおく(15分)	グループワーク
【復習】プレゼンテーションの準備(30分)	
13) 高齢期の栄養 実習まとめ、プレゼンテーション	
【予習】配布プリントを読んでおく(15分)	グループワーク
【復習】レポートによるまとめ(60分)	
14) 青年期の栄養 課題発表	
【予習】プレゼンテーションの準備(30分)	
【復習】レポートによるまとめ(60分)	
15) 実習まとめ、小テスト	
【予習・復習】レポートを確認しておく(30分)	小テスト
授業外学習	
授業内容について関連科目も含めた予習・復習を継続すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「新編応用栄養学実習」宮澤節子、他編集(学建書院)	栄養学各論、栄養学総論、調理学実習
課題に対するフィードバック	
レポート提出後、コメントをつけ返却します。	
備考	
【オフィスアワー 未定】城野 世津子 sirono@ube-c.ac.jp	

科目名	臨床栄養学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	綿田 敏孝	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要							
<p>栄養士が患者の栄養指導を行うときに最低限必要な医学知識について、食事療法が重要となる代表的な疾患を中心に、その概念、病態生理、検査・診断法および治療法の概略を講義する。</p>							
到達目標				成績評価方法			
<p>1. 主な病気について病態生理・診断方法・治療法の概略を理解する。</p> <p>2. 食事療法を行なう意義、病態を改善するメカニズムを理解する。</p>				<p>受講態度、授業中に行う小テストおよび定期試験の成績により評価する。</p>			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○		○		50
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク		○		○	○		5
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 概論～イントロダクション～総論				グループワーク			
【予習・復習】予習 必要なし 復習 講義HO 再読 (15分)							
2) 総論				グループワーク			
予習 必要なし 復習 講義HO 再読 (15分)							
3) 消化器疾患（1）							
予習：解剖生理学の消化器疾患(15分)復習 講義HO再読 (15分)							
4) 消化器疾患（2）							
予習：解剖生理学の消化器疾患(15分)復習 講義HO再読 (15分)							
5) 代謝性疾患（1）メタボリック・シンドローム							
予習：解剖生理学のメタボリックシンドローム(15分)復習 講義HO再読 (15分)							

6) 代謝性疾患 (2) 糖尿病 1	
予習：解剖生理学の膵臓(15分)復習 講義HO再読 (15分)	
7) 代謝性疾患 (2) 糖尿病 2	
予習：解剖生理学の膵臓(15分)復習 講義HO再読 (15分)	
8) 代謝性疾患 (3) 脂質異常症と動脈硬化症 (4) 痛風 (5) 低栄養	
予習：生化学の脂質・蛋白(15分)復習 講義HO再読 (15分)	
9) 代謝性疾患 (6) 先天性代謝障害 (7) 骨疾患	
予習：生化学 Ca 代謝(15分)復習 講義HO再読 (15分)	
10) 代謝性疾患 (8) 内分泌疾患	
予習：解剖生理内分泌(15分)復習 講義HO再読 (15分)	
11) 循環器疾患	
予習：解剖生理循環器(15分)復習 講義HO再読 (15分)	
12) 腎臓疾患	
予習：解剖生理腎臓(15分)復習 講義HO再読 (15分)	
13) 血液疾患、感染免疫アレルギー	
予習：解剖生理血液(15分)復習 講義HO再読 (15分)	
14) 感染免疫アレルギー、脳神経障害	
予習：解剖生理中枢神経(15分)復習 講義HO再読 (15分)	
15) 外科栄養法、がん、呼吸器疾患	
予習：解剖生理呼吸器(15分)復習 講義HO再読 (15分)	
授業外学習	
各講義時間内で、各種映像資料を呈示している。最終考査までに各自何らかの映像資料を元に、その感想・レポートを記入してもらう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「臨床栄養学 第2版：栄養科学シリーズNEXT」 武田・中坊・竹谷編集（講談社サイエンティフィック）	解剖生理学、実践臨床栄養学、臨床栄養学実習
課題に対するフィードバック	
翌週に講義内にて解説	
備考	
プロジェクターを使ってテキストに添って講義を進める。疑問があればその都度質問を。	

科目名	実践臨床栄養学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2	前期			
担当者名	有富 早苗		関連する資格	栄養士免許 必修			
授業概要 病院での管理栄養士・栄養士の活動を学び、栄養アセスメントや、それぞれの疾病に合わせた栄養療法・食事療法の基本的な考え方や、管理栄養士・栄養士が関わっているチーム医療活動を知り、病院や福祉施設での臨床栄養管理ができることを目的とする。							
到達目標 栄養士として患者の栄養管理を実施する上で、栄養評価法を身につけ、それぞれの疾病の栄養療法を身につけることを目標とする。			成績評価方法 授業態度・確認テスト・定期試験による評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート			○				5
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 病院食の概要 （1）管理栄養士・栄養士の役割と心構え（2）病院食業務と外部委託 【復習】小レポート作成（60分）				レポート提出			
2) 病院における栄養部門の組織と業務・制度 【復習】授業で行った内容（30分）				小テスト			
3) 病院食（栄養部門）の災害対策 【復習】小レポート作成（60分）				レポート提出			
4) 栄養アセスメントと栄養診断 【復習】授業で行った内容（30分）				小テスト			

5) 病院食の種類と約束食事基準	小テスト
【復習】授業で行った内容 (30分)	
6) エネルギーコントロール食 (1)	小テスト
【復習】授業で行った内容 (30分)	
7) エネルギーコントロール食 (2)	小テスト
【復習】授業で行った内容 (30分)	
8) たんぱく質コントロール食	小テスト
【復習】授業で行った内容 (30分)	
9) 脂質コントロール食	小テスト
【復習】授業で行った内容 (30分)	
10) 胃腸疾患食・術前術後食	小テスト
【復習】授業で行った内容 (30分)	
11) 食物アレルギー食・その他の特別食	小テスト・グループワーク
【復習】授業で行った内容 (30分)	
12) 静脈栄養・経腸栄養	小テスト
【復習】授業で行った内容 (30分)	
13) 高齢者の栄養管理 (サルコペニア・褥瘡) と嚥下食	小テスト・グループワーク
【復習】授業で行った内容 (30分)	
14) 小児栄養	小テスト
【復習】授業で行った内容 (30分)	
15) チーム医療での管理栄養士・栄養士の役割	小テスト・グループワーク
【復習】全体の振り返り (90分)	
授業外学習	
授業開始時に毎回前回の講義内容の確認テストを行いますので、復習しておいてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「実践臨床栄養学実習」長浜幸子・西村一弘・宮本佳世子著 (第一出版)	臨床栄養学、臨床栄養学実習
課題に対するフィードバック	
翌週にグループ討議と発表	
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を行った翌週に確認テストを行いますので教科書・前回配布した資料は忘れない様に。 ・ 授業中に携帯電話の操作は禁止します。 【オフィスアワー】 授業の前後で対応します	

科目名	臨床栄養学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	2	前期			
担当者名	櫻井 菜穂子 大久保 祐花	関連する資格	栄養士免許必修				
授業概要 臨床栄養学に基づき、実践臨床栄養学との連携の中で、傷病者の病態や栄養状態の特徴を把握し、疾患・病態別の食事療法の基本方針と栄養管理の技法を学ぶ							
到達目標 1. 対象者に適正な食事療法が理解できる。 2. 軟菜食が理解でき、作ることができる。 3. 糖尿病の食事療法が理解でき、食品交換表を使って献立作成ができる。 4. 腎臓病の食事療法が理解でき、減塩食ができる。						成績評価方法 実習への意欲・態度 課題・レポート 小テストおよび定期試験	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度	○		○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○		○	○	○		10
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）						アクティブラーニング	
1) 臨床栄養学実習の基礎 意義と目的 栄養補給法、 栄養評価 【予習】シラバスを読む 【復習】内容を復習							
2) 一般治療食 (1) 流動食、濃厚流動食、軟食（分粥） 【予習】教科書を読む（20分）【復習】教科書・資料で復習（30分）							
3) 一般治療食 (2) 流動食、濃厚流動食、軟食（分粥）実習 【予習】教科書を読む（20分）【復習】教科書・資料で復習（30分）						グループワーク	
4) 特別治療食 エネルギーコントロール食 【予習】教科書を読む（20分）【復習】教科書・資料で復習（30分）							
5) 特別治療食 糖尿病食事療法のための食品交換表を活用法 【予習】教科書を読む（20分）【復習】教科書・資料で復習（30分）						個人ワーク	

6) 特別治療食 エネルギーコントロール食 実習	グループワーク
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書・資料で復習 (30分)	
7) 特別治療食 糖尿病食事療法のための食品交換表を活用した献立作成	個人ワーク
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書・資料で復習 (30分)	
8) 特別治療食 たんぱく質コントロール食	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書・資料で復習 (30分)	
9) 特別治療食 腎臓病食品交換表の理解、治療用特殊食品の利用 減塩の工夫	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書・資料で復習 (30分)	
10) 特別治療食 一般食からの展開、たんぱく質コントロール食の実習	グループワーク
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書・資料で復習 (30分)	
11) 特別治療食 脂質コントロール食	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書・資料で復習 (30分)	
12) 特別治療食 一般食からの展開、脂質コントロール食の実習	グループワーク
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書・資料で復習 (30分)	
13) 特別治療食 一般食からの治療食への応用、展開、献立作成	個人ワーク
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書・資料で復習 (30分)	
14) 特別治療食 摂食・嚥下障害の食事	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書・資料で復習 (30分)	
15) 特別治療食 骨粗しょう症、アレルギー まとめ	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書・資料で復習 (30分)	
授業外学習	
テキスト、配布資料を参考に予習・復習を積極的にする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・「臨床栄養学実習書 12 版」 玉川和子他 (医師薬出版) ・「糖尿病食事療法のための食品交換表 第 7 版」 日本糖尿病学会編著 (文光堂) 	臨床栄養学、実践臨床栄養学
課題に対するフィードバック	
課題はコメントを付けて返却する	
備考	
授業は講義、演習、実習とテーマ毎に展開している。私語を慎んで、能動的に学習する。 電卓を持参すること。 【オフィスアワー】 後日配布	

科目名	栄養指導論 I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	末吉 奈保美	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 選択				
授業概要 人々の健康づくりを食生活からサポートできる栄養士となるために、必要な考え方、知識等について学ぶ。栄養士の役割や仕事について知る。健康的な食生活のあり方と実践方法を学ぶ。グループ学習を通して、栄養指導に必要な知識を身につける。							
到達目標			成績評価方法				
1. 栄養士の役割や仕事が理解できる。 2. 健康的な食生活について、理解し実践できる。 3. 栄養指導に関する基礎知識が理解できる。			受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○					25・25
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○		○				10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		30
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容 (時間)				アクティブラーニング			
1) 栄養士の役割・仕事について 課題：1週間の食事記録				レポート			
【予習】栄養士の仕事について調べる (30分) 【復習】ノート整理 (30分)							
2) 健康的な食生活(グループ学習) 1 【予習】健康的な食生活を調べる (60分)				グループワーク			
【復習】グループ内外の意見のノート整理 (30分)							
3) 健康的な食生活(グループ学習) 2 【予習】健康的な食生活をするための方法を調べる (60分) 【復習】自己・他者の現状把握、整理 (30分)				グループワーク			
4) 健康的な食生活(グループ学習) 3 【予習】健康的な食生活をするための具体的方法についてテキストを調べる (60分) 【復習】自己・他者の意見の整理 (30分)							
5) 健康的な食生活(グループ学習) 4 【予習】健康的な食生活をするための課題をテキストで調べる (60分) 【復習】自己・他者の意見の整理 (30分)				グループワーク			
6) 健康的な食生活(グループ学習) 5 【予習】健康的な食事 (献立作成) を考える (60分) 【復習】自己・他者の意見のノート整理 (30分)							

7) 健康的な食生活(グループ学習) 6【予習】作成した献立の評価 (60分) 【復習】自己・他者の意見のノート整理 (30分)	グループワーク
8) 栄養指導の歴史と現状 沿革歴史(明治大正戦前戦後高度成長期) 現状展望 【予習】テキストを読む (60分)【復習】ノート整理 (30分)	
9) 栄養指導に関連するおもな法令 1 栄養士法 健康増進法 【予習】テキストを読む (60分)【復習】ノート整理 (30分)	
10) 栄養指導に関連するおもな法令 2 学校給食法 労働安全衛生法 【予習】テキストを読む (60分)【復習】ノート整理 (30分)	
11) 栄養指導に必要な基礎知識 1 マネジメントサイクル 【予習】テキストを読む (60分)【復習】ノート整理 (30分)	
12) 栄養指導に必要な基礎知識 2 指導方法 教材 媒体 コミュニケーション技術 【予習】テキストを読む (60分)【復習】ノート整理 (30分)	
13) 栄養指導関連の諸施策 1 食事摂取基準 食生活指針 食事バランスガイド 【予習】テキストを読む (60分)【復習】ノート整理 (30分)	
14) 栄養指導関連の諸施策 2 日本食品標準成分表 食育推進計画 栄養教諭 食料需給 【予習】テキストを読む (60分)【復習】ノート整理 (30分)	
15) 栄養指導関連の諸施策 3 健康日本2 1 【予習】テキストを読む (60分)【復習】ノート整理 (30分)	
授業外学習	
自分や自分の身近な人々について主観的栄養アセスメントを行う。 地域での栄養教育を意識する。 テレビ、新聞等の健康・栄養情報の紹介について観察する。 テキスト等で予習・復習し、内容を理解しておく。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト「栄養士のための栄養指導論」(学建書院) その他必要に応じて資料を配布する	栄養指導実習 公衆栄養学
課題に対するフィードバック	
食事記録、作成献立等については、後日にデータ・グラフ化し解説する。	
備考	
授業中は私語をせず、携帯電話の電源はオフにすること。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 【オフィスアワー】決定後別途掲示 末吉 奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp	

科目名	栄養指導論Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	末吉 奈保美		関連する資格	栄養士免許 必修			
授業概要 人々の健康づくりを食生活からサポートできる栄養士となるために、必要な考え方、知識、技術を学ぶ。栄養士免許をもつ意義を知る。健康的な食生活のあり方と実践方法を学ぶ。グループ学習を通して、栄養指導に必要な知識や技術を学ぶ。							
到達目標 1. 栄養士免許をもつ意義が理解できる 2. 健康的な食生活について理解し実践できる 3. 栄養指導に関する基礎知識が理解できる			成績評価方法 受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート			○				10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○				30
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 栄養士免許をもつこと レポート提出【予習】栄養士になる学びを考える（30分）【復習】レポート作成（60分）				レポート			
2) 栄養指導の技術と方法1 行動科学 カウンセリング【予習】テキストを読む（30分）【復習】プリント整理（60分）				演習			
3) 栄養指導の技術と方法2 組織づくり 地域づくり 環境づくり【予習】テキストを読む（30分）【復習】ノート整理（60分）							
4) 栄養指導の技術と方法3 計画作成 目標 方法 教材 プログラム【予習】テキストを読む（30分）【復習】プリント整理（60分）				演習			
5) 栄養指導の技術と方法4 評価 アセスメント項目【予習】テキストを読む（30分）【復習】プリント整理（60分）				演習			
6) 栄養状態の評価と栄養調査1 【予習】ワーク：自分の食事の秤量調査（60分）				演習			
【復習】記載方法の修正、整理（30分）							

7) 栄養状態の評価と栄養調査 2 ワーク：自分の食事の秤量調査 【予習】記載方法の修正箇所の確認 (30分) 【復習】計算方法の確認 (30分)	演習
8) 栄養状態の評価と栄養調査 3 ワーク：自分の食事の秤量調査 【予習】計算方法の修正箇所の確認 (30分) 【復習】計算方法の確認 (30分)	演習
9) 栄養状態の評価と栄養調査 4 ワーク：自分の食事の秤量調査 【予習】評価方法の修正箇所の確認 (30分) 【復習】評価方法の確認 (30分)	演習
10) 栄養状態の評価と栄養調査 5 ワーク：自分の食事の秤量調査 【予習】秤量調査手法の特徴のまとめ (30分) 【復習】提出物の修正事項の確認 (30分)	演習
11) 栄養指導と情報の収集・処理 1 実測 観察 面接 質問紙 既存情報 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】プリント整理 (60分)	演習
12) 栄養指導と情報の収集・処理 2 身体計測 生理生化学検査 臨床診査 食事調査 食行動等 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】プリント整理 (60分)	演習
13) 健康障害と栄養指導 エネルギー 塩分 たんぱく質 消化吸収 その他 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】ノート整理 (60分)	
14) 特定給食施設における栄養指導 病院 学校 児童福祉施設 社会福祉施設 事業所 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】プリント整理 (60分)	グループワーク
15) ライフステージ別の栄養指導 妊娠期 授乳期 乳児期 学童期 思春期 成人期 高齢期 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】プリント整理 (60分)	グループワーク
授業外学習	
科学的根拠に基づいた栄養指導の情報収集を行う。 テキスト等で予習・復習し、内容を理解しておく。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト「栄養士のための栄養指導論」(学建書院) その他必要に応じて資料を配布する。	臨床栄養学 給食管理学 栄養学各論 栄養指導実習 公衆栄養学
課題に対するフィードバック	
秤量調査は、一人一人授業時に確認、修正後、全体解説も実施する。	
備考	
授業中は私語をせず、携帯電話の電源はオフにすること。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 【オフィスアワー】決定後別途掲示 末吉 奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp	

科目名	栄養指導実習 I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	2	前期			
担当者名	末吉 奈保美 山下 晋平	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要							
人々の健康づくりを食生活からサポートできる栄養士となるために、栄養指導論で学んだ知識や技術を応用し、具体的な進め方を学び、実際に対象に働きかける体験をする。							
到達目標			成績評価方法				
1. 栄養指導の流れが理解できる。 2. 食生活アドバイスに必要な知識や技術が理解できる。 3. PDCA サイクルに沿った栄養指導ができる。			受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション	○			○			10
グループワーク			○		○		10
演習							
実習	○	○	○	○	○		25
授業計画と概要、予習・復習内容 (時間)				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション 食育とは 食育の背景 【予習】栄養・食生活の課題を調べる (20分) 【復習】ノート整理 (10分)				グループワーク			
2) 朝食摂取について考える (グループワーク・実習) 【予習】現状把握 (20分) 【復習】グループ内外の意見のノート整理 (10分)				グループワーク			
3) 野菜摂取について考える (グループワーク・実習) 【予習】現状把握 (20分) 【復習】グループ内外の意見のノート整理 (10分)				グループワーク			
4) 減塩について考える (グループワーク・実習) 【予習】現状把握 (20分) 【復習】グループ内外の意見のノート整理 (10分)				グループワーク			
5) 子どもの食について考える (グループワーク・実習) 【予習】現状把握・課題抽出・計画案作成 (20分) 【復習】リハーサルの準備 (10分)				グループワーク			
6) 付属幼稚園での体験実習①【予習】リハーサルのシミュレーション (30分) 【復習】準備物の修正 (30分)				体験実習			

7) 付属幼稚園での体験実習②【予習】計画案によるシミュレーション (20分)	グループワーク
【復習】プリント整理 (10分)	
8) 高齢者の食について考える【予習】現状把握・課題抽出資料収集 (20分)	
【復習】ノート、プリント整理 (10分)	
9) 栄養指導計画【予習】計画の資料収集 (20分)	グループワーク
【復習】ノート、プリント整理 (10分)	
10) ふれあいクッキング計画 対象：校区内の高齢者	グループワーク
【予習】指導資料のデータ収集 (30分) 【復習】データの確認 (30分)	
11) ふれあいクッキング準備1【予習】計画案の作成 (30分)	グループワーク
【復習】計画案の修正確認 (30分)	
12) ふれあいクッキング準備2【予習】リハーサルのシミュレーション (30分)	グループワーク
【復習】作成資料の修正確認 (30分)	
13) ふれあいクッキング準備3【予習】準備物のリストアップ、準備 (60分)	グループワーク
【復習】最終確認 (30分)	
14) ふれあいクッキング【予習】当日準備 (60分)	
【復習】評価 (アンケート) 記載、確認 (30分)	
15) 実習のまとめ【予習】ふれあいクッキングの整理 (20分)	
【復習】科目全体の整理 (10分)	
授業外学習	
ライフステージ別栄養学、栄養アセスメント等関連教科の復習。 グループワークの際には、各自の案を作成して臨む。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト「栄養士のための栄養指導論」(学建書院) 必要に応じて資料を配布するが、実習の中で関連する参考書をいくつか紹介する。	栄養指導論Ⅰ・Ⅱ 栄養学各論 栄養学実習 給食管理学校外実習
課題に対するフィードバック	
確認後、成果物として配布する。	
備考	
授業中は私語をせず、携帯電話の電源はオフにすること。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 随時、学外の健康関連イベント等を紹介するので、自主学習として積極的に参加すること。 【オフィスアワー】決定後別途掲示 末吉奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp 山下 晋平 yamasita@ube-c.ac.jp	

科目名	栄養指導実習Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	2	後期			
担当者名	末吉 奈保美 大久保 祐花		関連する資格	栄養士免許 必修			
授業概要 人々の健康づくりを食生活からサポートできる栄養士となるために、グループ学習や個人ワークを通して、対象者の立場を理解し、栄養指導の目的と意義を展開させ、アドバイスや情報提供できる知識や技術を学ぶ。							
到達目標 1.対象者の立場や、背景が理解できる。 2.対象者の状況にあったアドバイスや情報提供ができる。 3.パワーポイントを使い、対象者にわかりやすく説明ができる。			成績評価方法 受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		5
プレゼンテーション	○			○	○		15
グループワーク			○		○		10
演習	○		○				10
実習	○	○					10
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション 実習のすすめ方							
【予習】計画評価を調べる（30分）【復習】評価手法を整理する（30分）							
2) 調査と集計、評価1 栄養情報の収集・活用と調査データの解析				グループワーク			
【予習】企画・経過評価を調べる（30分）【復習】情報、ノート整理（30分）							
3) 調査と集計、評価2 【予習】発表練習（20分）				グループワーク			
【復習】他班の発表整理（10分）							
4) デモンストレーション準備1 【予習】デモンストレーションの意義を調べる（15分）【復習】プリント、ノート整理				グループワーク			
5) デモンストレーション準備2 【予習】資料収集（献立等）（30分）							
【復習】作成資料確認（10分）				グループワーク			
6) デモンストレーション							
【予習】デモンストレーション準備（30分）【復習】作成資料修正（30分）							

7) 集団対象プレゼンテーションについて 【予習】テキストで現状、課題の把握 (20分) 【復習】ノートプリント整理 (10分)	グループワーク
8) 集団対象プレゼンテーションについて 【予習】プレゼン方法を考える (20分) 【復習】収集資料の確認 (15分)	グループワーク
9) 集団対象プレゼンテーションについて 【予習】資料収集 (30分) 【復習】作成資料の確認 (15分)	グループワーク
10) プレゼンテーションのまとめ 意見交換 【予習】プレゼンの練習 (15分) 【復習】作成資料の修正 (15分)	
11) ロールプレイング (個別アドバイスの実際) について 【予習】カウンセリングをテキストで調べる (30分) 【復習】整理	ロールプレイング
12) ロールプレイング (個別アドバイスの実際) について 【予習】コミュニケーションの原則を調べる (30分) 【復習】整理	ロールプレイング
13) ロールプレイング (個別アドバイスの実際) について 【予習】支援事項を調べる (50分) 【復習】ノート、プリント整理 (10分)	ロールプレイング
14) 食生活アドバイスの方法 【予習】事例作成 (120分) 【復習】プリント整理 (15分)	演習
15)まとめ 成果物作成 【予習】実習の振り返り 【復習】まとめ	
授業外学習	
ライフステージ別栄養学、栄養アセスメント等関連教科の復習 対象者の生活背景、ニーズ、栄養状態等の情報収集	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト「栄養士のための栄養指導論」(学建書院) 必要に応じて資料を配布する。	栄養指導論 臨床栄養学 臨床栄養学実習 栄養情報処理 公衆栄養学
課題に対するフィードバック	
成果物は、ファイルを作成する。	
備考	
授業中は私語をせず、携帯電話の電源はオフにすること。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 随時、学外の健康関連イベント等を紹介するので、自主学習として積極的に参加すること。 【オフィスアワー】決定後別途掲示 末吉 奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp 大久保 祐花 ookubo@ube-c.ac.jp	

科目名	公衆栄養学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2	後期			
担当者名	末吉 奈保美	関連する資格	栄養士免許必修				
授業概要 人々の健康づくりを食生活からサポートできる栄養士となるために、必要な考え方、知識等について学ぶ。栄養士の役割と一次予防について知る。日本の健康・栄養問題の現状を知る。国の健康・栄養施策や、公衆栄養活動について知る。グループ学習を通して、公衆栄養マネジメントの考え方を知る。							
到達目標 1. 栄養士の役割として一次予防が理解でき、実践できる。 2. 国の健康・栄養施策や、公衆栄養活動が理解できる。 3. 日本の健康・栄養問題の現状が理解できる。 4. 公衆栄養マネジメントが理解できる。			成績評価方法 受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					25・25
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 公衆栄養学を学ぶ 公衆栄養活動 歴史 概念							
【予習】テキストを読む（10分）【復習】演習問題（80分）							
2) わが国の健康・栄養問題の現状と課題 1 社会環境と健康・栄養問題 健康状態の変化				演習			
【予習】テキストを読む（10分）【復習】地域の現状・課題・対策を調べる（80分）							
3) わが国の健康・栄養問題の現状と課題 2 食事の変化 食生活の変化 食環境の変化				演習			
【予習】地域の現状・課題・対策をまとめる（70分）【復習】ノート整理（20分）							
4) わが国の健康・栄養問題の現状と課題 3 食の安全安心と消費者の信頼確保							
【予習】食の安心・安全対策を調べる（60分）【復習】ノート整理（30分）							

5) わが国の健康・栄養・食料政策 1 公衆栄養関連法規 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】演習問題 (60分)	
6) わが国の健康・栄養・食料政策 2 国民健康・栄養調査 健康増進計画 食育推進基本計画 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】演習問題 (60分)	演習
7) わが国の健康・栄養・食料政策 3 食生活指針 運動指針 食事摂取基準 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】演習問題 (60分)	演習
8) 公衆栄養活動の実際 1 公衆栄養プログラムの展開 地域特性 食環境 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】演習問題 (60分)	
9) 公衆栄養活動の実際 2 地域集団の特性別プログラムの展開 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】演習問題 (60分)	
10) 公衆栄養マネジメント グループワーク 1 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】他者の考えノート整理、データ作成 (60分)	グループワーク
11) 公衆栄養マネジメント グループワーク 2 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】他者の考えノート整理、データ作成 (60分)	グループワーク
12) 公衆栄養マネジメント グループワーク 3 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】他者の考えノート整理、データ作成 (60分)	グループワーク
13) 公衆栄養マネジメント グループワーク 4 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】他者の考えノート整理、データ作成 (60分)	グループワーク
14) 公衆栄養マネジメント グループワーク 5 【予習】テキストを読む (30分) 【復習】他者の考えノート整理、データ作成 (60分)	グループワーク
15) 公衆栄養マネジメント まとめ 【予習】公衆栄養マネジメントのまとめ 30分 【復習】科目全体のまとめ (60分)	
授業外学習	
テキスト等で予習・復習し、内容を理解しておく。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト「エスカベーシック 公衆栄養学概論」(同文書院) その他必要に応じて資料を配布する。	栄養指導論 公衆衛生学
課題に対するフィードバック	
グループ内及び全体発表等により共有する。	
授業外学習	
授業中は私語をせず、携帯電話の電源はオフにすること。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 【オフィスアワー】決定後別途掲示 末吉 奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp	

科目名	調理学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1	前期			
担当者名	櫻井 菜穂子	関連する資格	栄養士免許必修 フードスペシャリスト資格必修 フードコーディネーター資格必修				
授業概要 調理の基本として、調理の意義、調理操作の種類と目的を理解し、食品の特徴に応じた調理の特性、おいしく調理する理論を学び、調理技術の上達に役立てる。また調理が栄養や嗜好に及ぼす影響について理解し、おいしく栄養的な調理法について理解を深める。							
到達目標 1. 食べ物をおいしく調理するための理論が理解できる。 2. 食品の特徴に応じた調理方法が理解できる。 3. 理論を応用して調理技術が上達する。			成績評価方法 小テスト、定期試験、 授業への意欲、態度				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 調理学の基本について							
【予習】教科書を読む（30分）【復習】教科書、ノートで復習（30分）							
2) 食事設計の考え方と食べ物のおいしさ							
【予習】教科書を読む（30分）【復習】教科書、ノートで復習（30分）							
3) 食品成分表の理解と活用法				演習 栄養価計算			
【予習】教科書を読む（30分）【復習】教科書、ノートで復習（30分）							
4) 調理操作の種類と目的 ①非加熱操作							
【予習】教科書を読む（30分）【復習】教科書、ノートで復習（30分）							
5) 調理操作の種類と目的 ②加熱操作							
【予習】教科書を読む（30分）【復習】教科書、ノートで復習（30分）							

6) 調理操作の種類と目的 ③加熱操作	調理操作についての小テスト
【予習】教科書を読む (30分) 【復習】教科書、ノートで復習 (30分)	
7) 食品の特徴に応じた調理操作と栄養特性 ①植物性食品	
【予習】教科書を読む (30分) 【復習】教科書、ノートで復習 (30分)	
8) 食品の特徴に応じた調理操作と栄養特性 ②植物性食品	
【予習】教科書を読む (30分) 【復習】教科書、ノートで復習 (30分)	
9) 食品の特徴に応じた調理操作と栄養特性 ③動物性食品	
【予習】教科書を読む (30分) 【復習】教科書、ノートで復習 (30分)	
10) 食品の特徴に応じた調理操作と栄養特性 ④動物性食品	
【予習】教科書を読む (30分) 【復習】教科書、ノートで復習 (30分)	
11) 食品の特徴に応じた調理操作と栄養特性 ⑤成分抽出素材	食品の調理特性について的小テスト
【予習】教科書を読む (30分) 【復習】教科書、ノートで復習 (30分)	
12) 調理による栄養成分変化	
【予習】教科書を読む (30分) 【復習】教科書、ノートで復習 (30分)	
13) 調理による栄養学的・機能的利点	
【予習】教科書を読む (30分) 【復習】教科書、ノートで復習 (30分)	
14) 献立作成法、調味計算	演習 調味計算
【予習】教科書を読む (30分) 【復習】教科書、ノートで復習 (30分)	
15) 講義全体のまとめ	
【予習】教科書を読む (30分) 【復習】教科書、ノートで復習 (30分)	
授業外学習	
日常的に、食品や調理に興味を持つこと。また実際に購入したり、使ってみたりすること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「新食品・栄養科学シリーズ 調理学 第3版」木戸詔子他編著 (化学同人)	基礎調理学実習、調理学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、食品学各論
課題に対するフィードバック	
小テストについては採点后返却する。	
備考	
【オフィスアワー】 後日配布	

科目名	調理学実習 I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	1	1	後期			
担当者名	櫻井 菜穂子 眞田 昭彦 大久保 祐花	関連する資格	栄養士免許必修 フードスペシャリスト資格必修 フードコーディネーター資格必修				
授業概要 栄養士を目指す学生は調理技術を身につけていることが必要とされる。日本料理に加えて、日常的となった西洋料理の基本技術の習得、季節の献立、行事食、さらに献立構成や食卓を整える方法について学ぶ							
到達目標 1.西洋料理の基本の調理操作や材料の扱いが習得できる。 2.グループ実習を通して、互いの技術を磨き、調理法の理解を深めることができる。 3.協同して、調理を能率よく進めることができる。 4.和食のマナーが体験を通して身につく。			成績評価方法 実習への意欲・態度 調理実習ノート 実技試験および定期試験				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習							
実習	○	○	○	○	○		10
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 西洋料理の特徴、テーブルマナー							
【予習】教科書を読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）							
2) 日本料理の献立形式による班単位での実習				グループワーク			
【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）							
3) シェフから学ぶ西洋料理				グループワーク			
【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）							
4) 西洋料理の基本実習 スープの種類ととり方、ソースの種類				グループワーク			
【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）							
5) 西洋料理の献立形式による班単位での実習				グループワーク			
【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）							

6) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
7) 季節に応じた日本料理の実習 秋の献立 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
8) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
9) 実技試験 (三枚卸と魚料理の作成、オムレツ) 【予習】 実技試験の練習 (60分) 【復習】 実技試験内の練習 (30分)	個人ワーク
10) 行事食 クリスマス料理 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
11) 行事食 おせち料理 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
12) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
13) 季節に応じた日本料理 (冬の献立) 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
14) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
15) 日本料理の試食会、和食のマナーの習得 【予習】 資料を読む (10分) 【復習】 レポートを書く (30分)	フィールドワーク
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習前にはレシピを熟読してくる。 ・実習終了後は実習の振り返りをして、要点等を調理実習ノートにまとめる。(ノート提出あり) ・学んだ料理を復習する、料理のレパートリーを増やす。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「たのしい調理～基礎と実習～」山内知子他著 (医歯薬出版) 「調理のためのベーシックデータ第5版」松本仲子 (女子栄養大学出版部)	調理学 基礎調理実習 調理学実習Ⅱ・Ⅲ
課題に対するフィードバック	
レポート、課題はコメントを付けて返却する。	
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・身支度を清潔に整えて出席すること。(白衣、髪は束ねて帽子をかぶる、つめ切り) ・実習中は私語を慎み、調理作業は協同して計画的に進めていく。 	
【オフィスアワー】	後日配布

科目名	調理学実習Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	1	2	前期			
担当者名	櫻井 菜穂子 山下 晋平	関連する資格	栄養士免許必修 フードコーディネーター資格必修				
授業概要 栄養士を目指す学生は調理技術が身に付いていることが必要とされる。和食、洋食に加えて、料理の幅を広げるため、日常的な中国料理について習得する。さらに料理技術を磨き、日常食の献立作成、効率よく調理作業ができることを目的とする。							
到達目標 ・中国料理についての献立構成、特殊材料や器具の使用、食事作法について習得できる ・洋食のマナーが体験を通して身につく ・日常食の献立作成・調理ができる。			成績評価方法 実習への意欲・態度 調理実習ノート 実技試験および定期試験				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習							
実習	○	○	○	○	○		10
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 中国料理の概要説明							
【予習】教科書を読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）							
2) 季節に応じた日本料理（春の献立）				グループワーク			
【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）							
3) 中国料理の献立形式による班単位での実習				グループワーク			
【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）							
4) 中国料理の献立形式による班単位での実習				グループワーク			
【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）							
5) 季節に応じた日本料理（初夏の献立）				グループワーク			
【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）							

6) 中国料理の献立形式による班単位での実習 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
7) 中国料理の献立形式による班単位での実習 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
8) 西洋料理試食会、洋食マナーの習得 【予習】 洋食マナーの復習 (10分) 【復習】 レポート作成 (20分)	フィールドワーク
9) 中国料理の献立形式による班単位での実習 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
10) 中国料理の献立形式による班単位での実習 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
11) 献立実技テスト 【予習】 献立作成 (2時間) 【復習】 献立を検証する (30分)	個人ワーク
12) DVD視聴 日本食文化 【予習】 資料を読む 【復習】 レポート作成	個人ワーク
13) 中国料理の献立形式による班単位での実習 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
14) 行事食の実習 精進料理 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
15) 季節に応じた日本料理 (夏の献立) 【予習】 レシピを読む (10分) 【復習】 調理実習ノートの整理 (60分)	グループワーク
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習前にはレシピを熟読してくる。 ・実習終了後は実習の振り返りをして、要点等を調理実習ノートにまとめる。(ノート提出あり) ・料理のレパートリーを増やし、献立作成に活用する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「たのしい調理～基礎と実習～」山内知子他著 (医歯薬出版) 「調理のためのベーシックデータ第5版」松本伸子 (女子栄養大学出版部)	調理学 基礎調理実習 調理学実習Ⅰ・Ⅲ
課題に対するフィードバック	
レポート、課題はコメントを付けて返却する	
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・身支度を清潔に整えて出席すること。(白衣、髪は束ねて帽子をかぶる、つめ切り) ・実習中は私語を慎み、調理作業は協同して計画的に進めていく。 	
【オフィスアワー】	後日配布

科目名	調理学実習Ⅲ						
授業形態	履修形態	単位数			年次	開講期	
実習	選択	1			2	後期	
担当者名	櫻井 菜穂子 眞田 昭彦 山下 晋平	関連する資格			栄養士免許必修		
授業概要 栄養士免許取得に向けて、実習・グループワークなどを通して料理の応用力を高め、対象者に適した献立作成・調理ができること、効率よく調理作業ができることを目的とする。							
到達目標 ・食材を生かした目的別の調理能力を養うことができる。 ・対象者に適した料理が提供できるようになる。 ・衛生的に効率よく、調理、片付け、清掃ができるようになる。					成績評価方法 実習への意欲・態度 調理実習ノート 実技試験および定期試験		
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習							
実習	○	○	○	○	○		10
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）					アクティブラーニング		
1) 調理実習Ⅲのがイダンスと献立研究・献立作成 【予習】シラバスを読む（10分）【復習】資料の整理と振り返り（30分）					個人ワーク		
2) 日本料理の献立形式による班単位での実習（秋の献立） 【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）					グループワーク		
3) 実習 エネルギーを控えた（500kcal）献立 【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）					グループワーク		
4) 実習 減塩の工夫 【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）					グループワーク		
5) 実習 アレルギー対応食 【予習】レシピを読む（10分）【復習】調理実習ノートの整理（60分）					グループワーク		
6) 献立作成（ライフステージ別献立作成） 【予習】献立作成の準備（30分）【復習】献立の完成（60分）							

7) 献立実技試験（作成した献立）	個人ワーク
【予習】 献立の完成（60分）【復習】 実技試験のレポート作成（60分）	
8) DVD視聴（高齢者の食事）	授業内レポート
【予習】 高齢者の資料を読む【復習】 レポート作成（30分）	
9) 専門調理実習 講義・実習	グループワーク
【予習】 レシピを読む（10分）【復習】 調理実習ノートの整理（60分）	
10) 山口県の郷土料理	グループワーク
【予習】 レシピを読む（10分）【復習】 調理実習ノートの整理（60分）	
11) 行事食 クリスマス料理	グループワーク
【予習】 レシピを読む（10分）【復習】 調理実習ノートの整理（60分）	
12) 行事食 おせち料理	グループワーク
【予習】 レシピを読む（10分）【復習】 調理実習ノートの整理（60分）	
13) 手作りピッツア、パスタ	グループワーク
【予習】 レシピを読む（10分）【復習】 調理実習ノートの整理（60分）	
14) 調理学実習のまとめ	個人ワーク
【予習】 調理の振り返り（30分）【復習】 2年間の実習の復習（60分）	
15) 調理器具の手入れ・清掃	
【予習】 清掃の意義を考える（10分）【復習】 清掃方法の活用（20分）	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習前にはレシピを熟読してくる。 ・実習終了後は実習の振り返りをして、要点等を調理実習ノートにまとめる。（ノート提出あり） ・ライフステージに適した献立作成、調理を実践してみる。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「たのしい調理～基礎と実習～」山内知子他著（医歯薬出版）	調理学 基礎調理実習
「調理のためのベーシックデータ第5版」松本伸子（女子栄養大学出版部）	調理学実習Ⅰ・Ⅱ
課題に対するフィードバック	
課題、レポートは最終回に返却する。	
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・身支度を清潔に整えて出席すること。（白衣、髪は束ねて帽子をかぶる、つめ切り） ・実習中は私語を慎み、調理作業は協同して計画的に進めていく。 	
【オフィスアワー】	後日配布

科目名	給食管理学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	平岡 幸子		関連する資格	栄養士免許 必修			
授業概要 健康と食事との関連を知り、健康づくりをめざすための「栄養バランスのとれた食事」の重要性と、それを提供する給食の意義について理解する。さらに、特定給食施設の種類と特徴および給食の運営に必要な栄養管理をはじめとする種々の管理業務について理解する。							
到達目標 1.給食の意義および給食の運營業務の基礎知識を理解する。 2.特定給食施設の種類について理解する。 3.特定給食における栄養士業務を理解する。			成績評価方法 期末定期試験、小テストや提出物、授業に対する意欲・態度などを総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 食事と健康のかかわり、栄養バランスを考えた食事について 【予習・復習】栄養と健康の関連（1時間）							
2) 給食の定義と目的、関係法規 【予習・復習】教科書第1章（1時間）				小テスト			
3) 給食の栄養・食事管理の目的 【予習・復習】教科書第2章（1時間）							
4) 給食の献立計画、給与栄養目標量から献立作成まで 【予習・復習】献立の立て方（1時間）				小テスト			
5) 給食の栄養・食事管理の評価 【予習・復習】各種調査（1時間）							

6) 給食と栄養教育・栄養指導	小テスト
【予習・復習】情報提供の方法例（1時間）	
7) 給食の安全・衛生管理、大量調理施設衛生管理マニュアル	
【予習・復習】教科書第3章（1時間）	
8) 給食の食材管理	小テスト
【予習・復習】教科書第4章（1時間）	
9) 給食の調理作業管理	
【予習・復習】給食の調理作業の特徴（1時間）	
10) 給食の施設・設備管理	小テスト
【予習・復習】教科書第5章（1時間）	
11) 給食の組織・人事管理	
【予習・復習】教科書第7章（1時間）	
12) 給食の会計・原価管理、情報処理管理	
【予習・復習】教科書第8・9章（1時間）	
13) 給食の業務委託と配食サービス	
【予習・復習】教科書第10章（1時間）	
14) 保健・医療・福祉・介護における給食施設（学校、病院）	
【予習・復習】教科書第6章（1時間）	
15) 保健・医療・福祉・介護における給食施設（福祉施設、事業所）	
【予習・復習】施設別の給食の特徴（1時間）	
授業外学習	
<p>献立作成ができるように食品、料理、調理に関する知識を深めてください。 食事摂取基準と食品成分表に関する理解を深め、栄養価計算のスキルを高めてください。 地域における給食施設に関心をもってください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「給食の運営－栄養管理・経営管理－」 逸見幾代・平林真弓編（建帛社） 「新食品成分表 2019」（東京法令出版）	給食管理学実習 給食実務実習 給食管理学校外実習
課題に対するフィードバック	
小テストは定期的実施、採点して結果を返す	
備考	
【オフィスアワー】 平岡 幸子 hiraoka@ube-c.ac.jp	

科目名	給食管理学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	1	後期			
担当者名	平岡 幸子 山下 晋平・大久保 祐花		関連する資格	栄養士免許 必修			
授業概要 健康と食事との関連を理解し、健康づくりをめざす「栄養バランスのとれた食事」の提供を給食実習（大量調理）の方法で実施する。グループでの実習を通して、計画(Plan)→実施(Do)→評価(Check)→改善(Act)のマネジメントサイクルに沿った給食の運営方法を体験するとともに、喫食者に対する栄養教育やサービスのあり方についても理解する。							
到達目標 1.給食管理の目的に沿って実際に給食実習(大量調理)を体験し、給食の運営に関する知識と技術を習得する。 2.グループワークにおいて、自分の役割を認識し、協力して作業ができる。 3.グループワークにおいて、自分の意見を述べるができる。						成績評価方法 期末定期試験 実習・グループワーク 授業に対する意欲・態度などを総合的に評価する。	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		5
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		15
演習							
実習	○	○	○	○	○		30
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）					アクティブラーニング		
1) オリエンテーション（実習班の決定、実習概要、献立計画、栄養価計算の実際、栄養管理に必要な算術等）					個人ワーク		
【予習・復習】教科書第8章（1時間）							
2) オリエンテーション（実習各種帳票の記録方法および必要な算術等）					個人ワーク		
【予習・復習】実習の手引き（1時間）							
3) オリエンテーション（実習施設設備の概要、大量調理の技術等）					個人ワーク		
【予習・復習】大量調理の特徴（1時間）							
4) プレ実習（スチームコンベクションの操作、簡単な大量調理の実際）					実習		
【予習・復習】スチコンの特徴と機能（1時間）							
5) 役割分担，献立立案（計画）					グループワーク		
【予習・復習】教科書第1章、実習の手引き（2時間）							

6) 試作、予算見積り、食数把握 (計画)	グループワーク
【予習・復習】実習の手引き、調理操作 (2 時間)	
7) 調理作業計画、発注計画、媒体作成 (計画)	グループワーク
【予習・復習】実習の手引き、作成書類 (2 時間)	
8) 給食実習、嗜好調査 (実行)	実習
【予習・復習】作業工程表、調理操作 (2 時間)	
9) 帳票整理、1 回目実習のまとめ・反省 (評価・改善)	グループワーク
【予習・復習】教科書第 3 章、作成資料 (1 時間)	
10) 役割分担、献立立案 (計画)	グループワーク
【予習・復習】実習の手引き、献立立案 (2 時間)	
11) 試作、予算見積り、食数把握 (計画)	グループワーク
【予習・復習】実習の手引き、調理操作 (2 時間)	
12) 調理作業計画、発注計画、媒体作成 (計画)	グループワーク
【予習・復習】実習の手引き、作成書類 (2 時間)	
13) 給食実習、嗜好調査 (実行)	実習
【予習・復習】作業工程表、調理操作 (2 時間)	
14) 帳票整理、2 回目実習のまとめ・反省 (評価・改善)	グループワーク
【予習・復習】教科書第 3 章、作成資料 (1 時間)	
15) 実習の全体のまとめ、改善点の検討 (評価・改善) 実習ごとの報告	プレゼン
【予習・復習】実習のまとめ資料、給食献立集 (2 時間)	グループディスカッション
授業外学習	
<p>試作および給食実習では前日の準備・後日の片付けを要す。</p> <p>基礎調理の知識と技術の習得に努める。特に、包丁技術を高めておくこと。</p> <p>献立作成、栄養価計算が円滑にできるように練習をする。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「給食のための基礎からの献立作成ー大量調理の基本から評価まで」上地加容子・片山直美編 (建帛社)	給食管理学、給食実務実習、給食管理学校外実習、調理学、調理学実習
課題に対するフィードバック	
業務の流れに沿って作成・提出する書類 (献立含む) は、担当教員が確認・チェックし速やかに返す	
備考	
<p>班に分かれ、5～9 で 1 サイクルとし各班がサミダレ式で業務を行う。詳細は初回授業にて説明する。</p> <p>8 および 13 の給食実習 (大量調理実習) は 8 時 50 分より開始する。</p> <p>専用の実習着が必要、細菌検査結果が必要。</p> <p>【オフィスアワー】平岡 幸子 hiraoka@ube-c.ac.jp 山下 晋平 yamasita@ube-c.ac.jp 大久保祐花 ookubo@ube-c.ac.jp</p>	

科目名	給食実務実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	2	前期			
担当者名	平岡 幸子 大久保 祐花	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要 給食管理学校外実習に向けて展開していく授業内容である。特定給食施設(保育所、特別養護老人ホーム、病院等)の対象者(利用者)の身体的・栄養的特徴を把握するとともに、給食の運営について具体的に理解する。さらに、校外実習の目的や実習生としての心構え等について理解する。							
到達目標 1.校外実習に向けて、実習施設先となる特定給食施設の特徴、対象者および給食の実態を把握する。 2.対象者に適切な献立立案と給食計画ができる。 3.グループワークにおいて、自分の役割について認識し、協力して作業ができる。 4.グループワークにおいて、自分の意見を述べることができる。 5.実習生として具備すべき知識と技能、マナー等を習得する。						成績評価方法 期末定期試験、提出物 授業に対する意欲・態度 実習・グループワーク などを総合的に評価する。	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		5
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		15
演習							
実習	○	○	○	○	○		30
授業計画と概要、予習・復習内容(時間)					アクティブラーニング		
1) 校外実習ガイダンス①校外実習の概要と実習施設の選択、基礎調査 【予習・復習】給食施設について(1時間)					個人ワーク		
2) 給食施設の種類と特徴 対象者の把握と給食の特徴、給食施設における献立計画 【予習・復習】献立計画について(1時間)					個人ワーク		
3) 保育所給食の特徴・献立作成 【予習・復習】献立作成の課題(2時間)					個人ワーク グループワーク		
4) 保育所給食の実習 実習のまとめ 【予習・復習】保育所給食の特徴(1時間)					グループワーク 実習		

5) 高齢者福祉施設給食の特徴	グループワーク
【予習・復習】高齢者の食事について (1 時間)	
6) 病院給食の特徴	グループワーク
【予習・復習】病院給食について (1 時間)	
7) 給食実習の献立作成・展開食を考える	グループワーク
【予習・復習】献立作成について (1 時間)	
8) 給食実習	グループワーク
【予習・復習】作業工程、調理操作 (2 時間)	実習
9) 給食実習のまとめ・報告	プレゼン
【予習・復習】作成資料 (1 時間)	グループディスカッション
10) 校外実習ガイダンス②校外実習要領に基づく説明	個人ワーク
【予習・復習】校外実習要領 (1 時間)	
11) 校外実習ガイダンス③校外実習要領に基づく説明, 提出書類作成	個人ワーク
【予習・復習】校外実習要領 (1 時間)	
12) 学外講師による特別講座(病院栄養士)	レポート
【予習・復習】病院給食の特徴 (2 時間)	
13) 校外実習に向けた準備 施設の把握、給食の特徴、実習課題の設定	個人ワーク
【予習・復習】実習施設の情報収集 (1 時間)	
14) 校外実習先への事前訪問	個人ワーク
【予習・復習】校外実習要領 (1 時間)	グループワーク
15) 実習課題の準備	個人ワーク
【予習・復習】校外実習要領 (1 時間)	グループワーク
授業外学習	
献立作成の基本を身につけておく 校外実習に必要な書類等の作成・提出に向けた準備 給食管理学・給食管理学実習で用いた教科書を復習する	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	給食管理学、給食管理学実習、給食管理学校外実習
課題に対するフィードバック	
献立課題はコメントを添えて返す	
備考	
グループワークにおいては自分の役割を果たし、積極的な態度で臨む 校外実習に向けては社会性とコミュニケーション能力が求められる 給食実習においては細菌検査結果が必要 【オフィスアワー】平岡 幸子 hiraoka@ube-c.ac.jp 大久保祐花 ookubo@ube-c.ac.jp	

科目名	給食管理学校外実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	2	通年			
担当者名	学科長 平岡 幸子・大久保 祐花	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要							
<p>実習施設の社会的機能および給食の特徴を理解するとともに、給食業務を行うために必要な食事計画や調理を含めた給食サービス提供に関する技術を身につける。さらに、対象者の身体や栄養状態などに適応した給食の実際も学び、栄養士としての実践力を培うことをめざす。</p>							
到達目標						成績評価方法	
<p>1. 特定給食施設における給食業務について学ぶ。 2. 給食業務の概要を実践することにより栄養士として具備すべき知識および技能を習得する。 3. 実習生として、自分の立場と役割を認識し、協力して作業ができる。</p>						<p>実習評価表、実習日誌、提出物などを総合的に評価する。</p>	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	70
授業計画と概要					アクティブラーニング		
<p>1. 給食施設における調理工程・調理技術の習得</p> <p>調理工程の理解</p> <p>献立表(指示書)による調理工程の理解</p> <p>給食施設における調理技術の習得</p> <p>衛生面に配慮した調理作業、能率的な作業(作業の標準化・マニュアル化)、機械・機器の種類と使用方法を学ぶ</p>							

<p>2. 給食の流れ(給食計画)および1日の給食業務の流れの習得 給食の流れを把握する 対象者の把握・給与栄養目標量の設定、食品構成、献立計画、献立作成(栄養計算含む)、給食の実施、給食の評価、栄養評価 食材料準備 購入計画、発注業務、在庫管理、納品・検収 1日の給食業務の流れを把握する 下処理、調理、盛付け・配膳、供食、洗浄、保存食・検食 給食と栄養指導の連携(給食を通じた栄養指導の状況)</p> <p>3. 給食業務における事務管理、コンピュータ利用等の習得 給食の流れに沿った書類・栄養出納等について学ぶ 栄養計算ソフトや給食管理ソフトについて学ぶ 配布資料(給食だより、献立表、栄養指導用資料等)について学ぶ 給食に係わる調査と集計について学ぶ</p> <p>4. コミュニケーション能力・社会人基礎力の習得 社会人として求められる基礎力の習得 コミュニケーション能力、協調性、適応力、判断力、リーダーシップ、サービス精神、接遇、礼儀・言葉遣い、マナー、身だしなみ等</p>	
授業外学習	
<p>実習事前準備として、実習施設や給食の特徴について理解を深め、課題や献立作成に積極的に取り組む。 実習期間中に学んだ内容を整理してまとめ、報告会に向けて取り組む。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	給食管理学、給食管理学実習、給食実務実習
課題に対するフィードバック	
<p>提出した課題についてはコメントを添えて返す 実習課題については実習指導栄養士と協議し、実習期間中に完了させる 実習報告会(発表)に向けた報告集原稿、PPT内容については担当教員がアドバイスを</p>	
備考	
<p>実習施設の条件は特定給食施設で、管理栄養士または栄養士が専従すること。 実習施設は、病院、高齢者施設、保育所等より1施設を選択する。 実習期間は2週間(10日間)とする。原則として夏季休業中に実施する。 校外実習ガイダンスに必ず出席すること。校外実習ガイダンスは「給食実務実習」で行う。 栄養士免許取得に対し意欲をもって取り組む。 単位修得が順当であること。 細菌検査結果が必要。実習施設によっては健康診断等の提出を求められることがある。 【オフィスアワー】平岡 幸子 hiraoka@ube-c.ac.jp 大久保祐花 ookubo@ube-c.ac.jp</p>	

科目名	食品鑑別論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2年次	前期			
担当者名	幸 恵里	関連する資格	フードスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター資格 必修				
授業概要 1) 食品の化学的、物理的な評価の方法 2) 嗜好に直接結びつく官能検査の手法とその統計的解析法 3) 個々の食品の鑑別法 4) 食品選択のための情報源である表示、法的規制、マークのもつ意味について学ぶ。							
到達目標、 多くの食品の中から安全で目的に応じた食品を選択するために、その食品の品質を見抜く知識・技能が習得できるようになる。また、食品の表示からの情報を読み取る力がつく。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 食品に関する基本的な知識及び食品の機能性に関する知識を身につけることができる。			成績評価方法 期末定期試験、小テスト、レポート、授業への意欲・態度				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 食品の品質とは：食品の特性、品質 【予習復習】教科書 1p～6p、授業後はプリントで復習。(30分)							
2) 官能評価：目的と意義 【予習復習】教科書 6p～30p、授業後はプリントで復習。(30分)							
3) 官能評価：演習 【予習復習】官能試験を行うので教科書 6p～30p まで復習。(30分)				演習			
4) 化学的評価法：食品成分と品質 【予習復習】今までの復習及び教科書 31p～教科書 50p まで読んでくること。 授業後はプリントで復習。(30分)				小テスト			

5) 化学的評価法（魚の鮮度、油脂の酸敗）物理的品質評価	
【予習復習】教科書 50p～63p、授業後はプリントで復習。(30分)	
6) 物理的評価法：レオロジーとテクスチャー非破壊検査法	小テスト
【予習復習】教科書 64p～85p、授業後はプリントで復習。(30分)	
7) 個別食品の鑑別：米と麦類、	
【予習復習】教科書 64p～85p、授業後は小テスト、プリントで復習。(30分)	
8) 個別食品の鑑別：穀物、イモ類と豆類	小テスト
【予習復習】教科書 102p～115p、授業後はプリントで復習。(30分)	
9) 個別食品の鑑別：種実、野菜、きのこ、果実類	
【予習復習】教科書 116p～133p、授業後は、小テスト、プリントで復習。(30分)	
10) 個別食品の鑑別：海藻類、魚介類、肉類	小テスト
【予習復習】教科書 134p～158p、授業後はプリントで復習。(30分)	
11) 個別食品の鑑別：肉類、卵類、乳とその加工品	
【予習復習】教科書 158p～177p、授業後は、小テスト、プリントで復習。(30分)	
12) 個別食品の鑑別：油脂、菓子類、酒類	小テスト
【予習復習】教科書 177p～198p、授業後はプリントで復習。(30分)	
13) 個別食品の鑑別：茶類、飲料、醸造食品、調味料	
【予習復習】教科書 198p～221p、授業後は、小テスト、プリントで復習。(30分)	
14) 個別食品の鑑別：香辛料、インスタント食品、冷凍食品、弁当	
【予習復習】教科書 222p～237p、授業後はプリントで復習。(30分)	
15) 機能性食品の鑑別	
【予習復習】教科書 237p～243p、授業後はプリントで復習。(30分)	
授業外学習	
授業の章ごとにレポートを提出してもらいます。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「食品の官能評価・鑑別演習」日本フードスペシャリスト協会編（建帛社）	食品学
課題に対するフィードバック	
小テストについては解説をしながら自己採点を行います。その後、回収し、翌週返却します。官能試験後にレポートを課します。回収後、コメントをつけ、翌週に返却します。	
備考	
【オフィスアワー】授業の前後で対応します	

科目名	食品流通論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2	後期			
担当者名	種市 豊	関連する資格	フードスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター資格 必修				
授業概要 食料、特に農産物に関する経済的現象である消費、流通、市場について一般流通論と農産物流通論の基礎知識を講義する。また、現在農産物流通が抱えている問題の今後のあり方を含めて講義する。							
到達目標 農産物の流通を経済的観点から理解する。食と農の関連についてグローバル、そしてローカルに判断する目を養う。			成績評価方法 授業内レポート、授業態度、学期末試験による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				40%
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			40%
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		20%
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容(時間)				アクティブラーニング			
1) 食品の消費と流通 1) 食生活の変化 【予習 30分・復習 30分】教科書 P2～17 に目を通す				授業内レポート			
2) 食品の消費と流通 2) 消費者行動の変化、食の多様化 【予習 30分・復習 30分】教科書 P18～30 に目を通す				授業内レポート			
3) 食品の消費と流通 3) 食品流通の役割と社会的使命 【予習 30分・復習 30分】教科書 P34～44 に目を通す				授業内レポート			
4) 食品の消費と流通 4) 食品の小売流通 【予習 30分・復習 30分】教科書 P44～59 に目を通す				授業内レポート			
5) 外食・中食産業のマーチャンダイジング 【予習 30分・復習 30分】教科書 P60～70 に目を通す				授業内レポート			
6) 主要食品の流通① 商品の分類、温度帯別食品流通 【予習 30分・復習 30分】教科書 P62～80 に目を通す				授業内レポート			
7) 主要食品の流通② 米・小麦粉・野菜果物 【予習 30分・復習 30分】教科書 P80～87 に目を通す				授業内レポート			

8) 魚介類・食肉・鶏卵・牛乳乳製品の流通 【予習 30 分・復習 30 分】教科書 P87～100 に目を通す	授業内レポート
9) 大豆加工品・漬物・惣菜・油脂・調味料の流通 【予習 30 分・復習 30 分】教科書 P98～112 に目を通す	授業内レポート
10) 菓子、茶・コーヒー、清涼飲料水・酒類の流通 【予習 30 分・復習 30 分】教科書 P113～125 に目を通す	授業内レポート
11) フードマーケティングとフードビジネス 【予習 30 分・復習 30 分】教科書 P126～139 に目を通す	授業内レポート
12) 食品消費と環境問題 【予習 30 分・復習 30 分】教科書 P140～144 に目を通す	授業内レポート
13) 食品流通の安全確保 【予習 30 分・復習 30 分】教科書 P144～147 に目を通す	授業内レポート
14) 食品消費を取り巻く課題 【予習 30 分・復習 30 分】教科書 P147～153 に目を通す	授業内レポート
15) まとめ 教科書全体に目を通す	授業内レポート
授業外学習	
授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「三訂 食品の消費と流通」日本フードスペシャリスト協会編（建帛社）	食品学各論、食品加工学、 フードスペシャリスト論
課題に対するフィードバック	
建設的な質問、コメントは、講義内で議論する。	
備考	
教科書の指示は、第一回目講義で行います。 【オフィスアワー】事前にメールをお願いします。taneichi@yamaguchi-u.ac.jp	

科目名	フードスペシャリスト論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2	後期			
担当者名	幸 恵里	関連する資格	フードスペシャリスト資格 必修				
授業概要 フードスペシャリストの意義や概要、専門職として備えておくべき知識や技術について1回目から9回目までの授業で総括的に講義する。また、理解度を確認するため、授業の最初に小テストを行う。本授業はフードスペシャリスト資格認定試験の対策授業でもあるため、試験に合格できる力を養うため、10回目以降の授業で模擬試験を行い、実力と意識の向上を図る。							
到達目標 流通や販売分野での活躍が期待される“フードスペシャリスト”資格の専門性を理解する。 フードスペシャリストとして必要な知識を身につける。 フードスペシャリスト資格認定試験に合格できる力を身につける。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 食品の機能性や安全性など食品に関する幅広い知識を身につける。				成績評価方法 毎回の小テスト 定期試験			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			60
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○				20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容(時間)				アクティブラーニング			
1) フードスペシャリストとは フードスペシャリストの活動分野と責務 【予習・復習】予習 教科書 p1-p27 まで読んでくる。(30分)							
2) 人類と食物 人類の歩みと食物① 【予習・復習】教科書 p30-50 まで読んでくる。(30分)				小テスト			
3) 世界の食、日本の食、現代日本の食生活①世界各地の食事情、日本の食物史 【予習・復習】教科書 p50-69 まで読んでくる。小テスト復習(30分)							
4) 日本の食、現代日本の食生活② 日本の食物史、食生活の変化・食糧自給率・食環境 【予習・復習】教科書 p69-89 まで読んでくる。(30分)							
5) 健康問題と食生活、食品産業の役割 日本人の食生活、健康問題及び食品製造業について 【予習・復習】教科書 p89-111 まで読んでくる。(30分)				小テスト			

6) 食品産業の役割、品質規格、表示 食品卸売業・食品小売業・外食産業、食品の品質規格表示に関わる法律	
【予習・復習】教科書 p111-130 まで読んでくる。(30分)	
7) 食品の品質規格と表示 JAS 規格等、各種規格について	小テスト
【予習・復習】教科書 p130-156 まで読んでくる。(30分)	
8) 食品の品質規格と表示 健康や栄養に関する表示制度	
【予習・復習】教科書 p156-179 まで読んでくる。(30分)	
9) 食情報と消費者保護、フードスペシャリスト論まとめ 食情報について、食品の安全、安心にかかわる消費者保護制度・まとめ	小テスト
【予習・復習】教科書 p179-189 まで読んでくる。(30分)	
10) 模擬試験と解説 フードスペシャリスト試験過去問	模擬試験
【予習・復習】フードスペシャリストの問題を解いてくる(60分)	
11) 模擬試験と解説 フードスペシャリスト試験過去問	模擬試験
【予習・復習】フードスペシャリストの問題を解いてくる(60分)	
12) 模擬試験と解説 フードスペシャリスト試験過去問	模擬試験
【予習・復習】フードスペシャリストの問題を解いてくる(60分)	
13) 模擬試験と解説 フードスペシャリスト試験過去問	模擬試験
【予習・復習】フードスペシャリストの問題を解いてくる(60分)	
14) 模擬試験と解説 フードスペシャリスト試験過去問	模擬試験
【予習・復習】フードスペシャリストの問題を解いてくる(60分)	
15) 模擬試験と解説 フードスペシャリスト試験過去問	模擬試験
【予習・復習】フードスペシャリストの問題を解いてくる(60分)	
授業外学習	
フードスペシャリスト資格認定試験の過去問を解いておくこと 毎回、授業の復習をしてくること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
日本フードスペシャリスト協会 編 『四訂フードスペシャリスト論』(建帛社)	食品学総論、食品学各論、食品衛生学、食品加工学、食品鑑別論、栄養学総論、栄養学各論、調理学、食品流通論、フードコーディネーター論
課題に対するフィードバック	
小テストを行った翌週に採点して返却します。	
備考	

科目名	食文化論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	櫻井 菜穂子	関連する資格	フードコーディネーター資格必修				
授業概要 世界の食文化についてその環境と特徴を学び、さらに日本の食文化形成のプロセスや食材・調理・食事作法など伝承的な食文化を学ぶことにより、食と土地（地域）と人とのつながりを知る。							
到達目標 1. 食の歴史を知ることで、日本食、郷土の食事を見直す契機となる。 2. 歴史的な体験の集積である食の文化を学ぶことで、今日の食のあり方を考えることができる。 3. 日本の食文化を伝承する方法について考える。			成績評価方法 授業への意欲・態度、課題レポートなどを総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度			○		○		30
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○		○		20
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 食文化論の概要 文化としての食 食文化の定義							
【予習】シラバスを読む（10分）【復習】教科書、資料を復習（30分）							
2) 世界の食文化の形成と環境							
【予習】教科書を読む（20分）【復習】教科書、資料の復習（30分）							
3) 食と文明 DVD視聴① 人間は何を食べてきたのか				グループディスカッション レポート			
【予習】教科書を読む（20分）【復習】DVD視聴のレポート作成（20分）							
4) 食と文明 DVD視聴② 食と文明と未来				グループディスカッション レポート			
【予習】教科書を読む（20分）【復習】DVD視聴のレポート作成（20分）							
5) 日本の食文化の形成と自然環境							
【予習】教科書を読む（20分）【復習】教科書、資料の復習（30分）							

6) 日本人は何を食べてきたのか ～日本の食文化の特徴	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書、資料の復習 (30分)	
7) 日本人は何を食べてきたのか ～主食の文化～	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書、資料の復習 (30分)	
8) 日本人は何を食べてきたのか ～副食の文化～	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書、資料の復習 (30分)	
9) 異文化交流による食文化 VHSの視聴 「舶来の日本料理」	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】DVD視聴のレポート作成 (20分)	
10) 祭りとお食 祭りの起源	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書、資料の復習 (30分)	
11) 行事食と儀礼食	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】教科書、資料の復習 (30分)	
12) 新聞を読む 日本人の食に関する話題	個人ワーク
【予習】資料を読む (20分) 【復習】レポート作成 (20分)	グループディスカッション
13) 山口の食文化と郷土料理	
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】レポート作成 (20分)	
14) 食事作法、お茶の歴史 抹茶を点ててみよう	個人ワーク
【予習】教科書を読む。(10分) 【復習】体験をレポート作成 (20分)	
15) これからの日本の食のあり方 DVD視聴「食と農を安心して結ぶ」	グループディスカッション
【予習】教科書を読む (20分) 【復習】DVD視聴のレポート作成 (20分)	授業外レポート
授業外学習	
地域の食材や食文化などに興味をもち、調べたり、聴いたり、食べたりして自ら情報収集して知識だけでなく、実体験を増やす	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「日本の食文化ーその伝承と食の教育」江原絢子・石川 尚子編著 (アイ・ケイコーポレーション)	
課題に対するフィードバック	
レポートはコメントを付けて返却する	
備考	
授業中は私語を慎むこと。 グループディスカッション時は積極的に参加する。 【オフィスアワー】 後日配布	

科目名	基礎調理学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	1	1	前期			
担当者名	櫻井 菜穂子 城野 世津子 大久保 祐花	関連する資格	フードスペシャリスト資格必修 フードコーディネーター資格必修				
授業概要 日本料理の基礎的な調理操作、調味法、調理の基本である包丁法を理解し、基本技術や調理法の習得を目的とする。またグループ実習を通して、計画的に協同して作業を進めていく方法を習得する。							
到達目標 1.日本料理の基本的な調理法が理解でき、実践できる。 2.日本料理の基本調味が理解でき、調味できる。 3.日常的に使用する食品の扱い方が理解でき、実践できる。 4.基礎的な包丁技術ができるようになる。			成績評価方法 実習への意欲・態度、調理実習ノート、実技試験および定期試験による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習							
実習	○	○	○	○	○		10
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション 調理設備と道具類の説明、実習の諸注意 【予習】シラバスを読む（10分）【復習】実習設備や内容を確認する（10分）							
2) 日本料理の概要説明 日本料理の特徴と日常食 【予習】教科書を読む（30分）【復習】教科書、資料を復習（30分）							
3) 調理の基本実習 調理の基本操作、包丁の持ち方、野菜の切り方 【予習】教科書を読む（10分）【復習】内容の復習と実技の練習（30分）				個人ワーク			
4) 調理の基本実習 洗浄と浸漬、ゆでる 【予習】教科書を読む（20分）【復習】調理操作の復習、実習（30分）				グループワーク			

5) 調理の基本実習 吸水と放水、茹でる 【予習】教科書、資料を読む(20分)【復習】調理操作の復習(30分)	グループワーク
6) 調理の基本実習 炊飯、だしのとり方 【予習】教科書、資料を読む(20分)【復習】調理操作の復習(30分)	グループワーク
7) 調理の基本実習 調味方法と調味パーセント 【予習】教科書、資料を読む(20分)【復習】調理操作の復習(30分)	グループワーク
8) 日常食の実習 朝食例 【予習】レシピ、資料を読む(10分)【復習】調理実習ノートの整理(30分)	グループワーク
9) 日常食の実習 夕食例 【予習】レシピ、資料を読む(10分)【復習】調理実習ノートの整理(30分)	グループワーク
10) 実技試験 きゅうりの小口切り、大根のせん切り 【予習】実技試験の練習(60分)【復習】合格目指して練習(30分)	個人ワーク
11) 日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む(10分)【復習】調理実習ノートの整理(30分)	グループワーク
12) 日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む(10分)【復習】調理実習ノートの整理(30分)	グループワーク
13) 日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む(10分)【復習】調理実習ノートの整理(30分)	グループワーク
14) 行事食の実習 【予習】レシピ、資料を読む(20分)【復習】調理実習ノートの整理(30分)	グループワーク
15) まとめ、日常食の献立作成と調味計算 【予習】前期内容の資料を読む(30分)【復習】調味計算の復習(30分)	個人ワーク
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習前には必ずレシピを読んで、わからない用語は印をつけてくる。 ・実習終了後は実習の振り返りをして、要点等を調理実習ノートにまとめる。(提出あり1回/月) ・包丁に早く慣れるために、家庭でも使用する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「たのしい調理～基礎と実習～」山内知子他著(医歯薬出版) 「調理のためのベーシックデータ第5版」松本仲子(女子栄養大学出版部)	調理学、 調理学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
課題に対するフィードバック	
調理実習ノートは次回にコメントを付けて返します。 課題は学期終了後に返却する。	
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・身支度を清潔に整えて出席すること。(白衣、髪は束ねて帽子をかぶる、つめ切り) ・実習中は私語を慎み、調理作業は協同して行う。 <p>【オフィスアワー】 後日配布</p>	

科目名	フードコーディネータ論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2	前期			
担当者名	平岡 幸子	関連する資格	フーズスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター3級資格 必修				
授業概要 食事を「栄養摂取としての食」「文化としての食」として捉え、食事を提供する場面での快適性やホスピタリティーについて講義するとともに、現代の食環境についての課題にも触れ、これからの日本の食生活の進むべき方向性を理解する。							
到達目標 1.食生活における消費者の安全志向、健康志向、簡便性志向、質の向上志向を理解する。 2.食べる側の視点に立ち、消費者にとって有益な食生活情報が提供できるフーズスペシャリストとしての能力を身につける。			成績評価方法 期末定期試験、小テストやレポート、授業への意欲・態度などを総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) フードコーディネートの基本理念				小テスト			
【予習・復習】教科書第1章（1時間）							
2) 現代の食事文化とその課題							
【予習・復習】教科書第2章（1時間）							
3) メニュープランニング				個人ワーク			
【予習・復習】教科書第5章（1時間）							
4) テーブルウェアと食卓の演出（アイテムの種類と特徴）				小テスト			
【予習・復習】教科書第3章（1時間）							
5) テーブルウェアと食卓の演出（色の組み合わせ）							
【予習・復習】色の基礎知識と合わせ方（1時間）							

6) テーブルウェアと食卓の演出 (ビデオ等)	
【予習・復習】 テーブルウェアの種類と特徴、演出方法 (1 時間)	
7) 食卓の演出に関するアイテムの考案	個人ワーク
【予習・復習】 課題 (2 時間)	
8) 食卓のサービスとマナー(ビデオ等)	
【予習・復習】 教科書第 4 章 (1 時間)	
9) 食空間のコーディネート	
【予習・復習】 教科書第 6 章 (1 時間)	
10) フードマネージメント	
【予習・復習】 教科書第 7 章 (1 時間)	
11) フードコーディネートの情報と企画	
【予習・復習】 教科書第 8 章 (1 時間)	
12) 食環境とフードシステム	
【予習・復習】 授業内容の復習 (1 時間)	
13) フードコーディネートと食育	
【予習・復習】 食育に関わる情報収集 (2 時間)	
14) 食育の展開と課題	個人ワーク
【予習・復習】 課題 (2 時間)	
15) グループディスカッション	グループワーク
【予習・復習】 テーマに関する情報収集 (2 時間)	
授業外学習	
食品や料理 (食事)、飲食店、消費者の食の志向など食生活情報の収集に努める	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「三訂 フードコーディネート論」日本フードスペシャリスト協会編 (建帛社)	フードスペシャリスト論 フードコーディネート演習
課題に対するフィードバック	
小テストは採点し翌週に返す	
備考	
【オフィスアワー】 平岡 幸子 hiraoka@ube-c.ac.jp	

科目名	フードコーディネーター演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	後期			
担当者名	平岡 幸子	関連する資格	フードコーディネーター3級資格 必修				
授業概要 フードコーディネーター3級資格の科目である文化(食文化)、科学(健康と栄養と安全)、デザイン・アート(食環境デザインと芸術的創造性)、経済・経営(経済的概念と食関連事業経営実務)に関わる実技を体験し身につける。							
到達目標 1.食の分野におけるコーディネート能力を習得する。 2.テーブルウェアの種類を理解しセッティングができる。 3.オリジナル料理を考案しプレゼンすることができる。				成績評価方法 期末定期試験、授業への意欲・態度、デザート考案およびプレゼンなどを総合的に評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション				○			30
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容(時間)				アクティブラーニング			
1) テーブルウェアと食卓の演出							
【予習・復習】教科書第9章(1時間)							
2) テーブルウェアと食卓の演出(組み合わせ方)				グループワーク			
【予習・復習】テーブルウェアの種類と特徴(1時間)							
3) フラワーアレンジメント(テーブル花)							
【予習・復習】センターピースについて(1時間)							
4) 行事と食事の関連について調べる				個人ワーク			
【予習・復習】教科書第1章、年間行事について(1時間)							
5) 行事と食事の関連についてまとめる				プレゼン			
【予習・復習】課題(2時間)							
6) お茶を楽しむ(紅茶の種類)							
【予習・復習】茶の種類と特徴(1時間)							

7) お茶を楽しむ(ティーパーティー)	グループワーク
【予習・復習】ティーパーティーのテーブルセッティング (1 時間)	
8) アイデア料理の考案 (簡単クリスマスデザート)	個人ワーク、提出
【予習・復習】課題 (2 時間)	
9) アイデア料理のプレゼンテーション	プレゼン
【予習・復習】課題 (1 時間)	
10) 食の企画の考案	個人ワーク
【予習・復習】教科書第 13 章、課題 (1 時間)	
11) 食の企画の考案をまとめる	
【予習・復習】食企画の事例 (1 時間)	
12) 食のトレンドを探る	個人ワーク
【予習・復習】課題 (1 時間)	
13) 食のトレンドについてまとめる	
【予習・復習】教科書第 12 章 (1 時間)	
14) フードコーディネーターの仕事について	
【予習・復習】フードコーディネーター資格取得 (1 時間)	
15) フードコーディネーターの仕事の例	
【予習・復習】フードコーディネーターの専門性 (1 時間)	
授業外学習	
授業計画に沿った個人ワークができるように積極的に取り組む。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「フードコーディネーター教本 2019 : 3 級資格認定 対応テキスト」日本フードコーディネーター協会編 (柴田書店)	フードコーディネート論
課題に対するフィードバック	
アイデア料理の考案ではプレゼンの前に一旦提出し、翌週にコメントを添えて返す	
備考	
【オフィスアワー】平岡 幸子 hiraoka@ube-c.ac.jp	

科目名	製菓演習 I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1	前期			
担当者名	坂田 淳一 山下 晋平	関連する資格					
授業概要 一般洋菓子の製作演習（生地作り・焼成・仕込み・仕上げ）と製菓理論							
到達目標 洋菓子作りにおける基礎知識の習得と実技指導により、一般的な洋菓子技術を身に付け、自他共に職による将来の家庭円満と幸福を導くことを目指す。			成績評価方法 レポートの提出と演習内で作成したケーキ等を採点 演習中の授業態度を重視する				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○			○			30
小テスト、授業内レポート			○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○				20
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション 授業日程の確認及び製菓について 【予習】洋菓子の作り方や歴史を調べる(20分)【復習】ノート整理(10分)				演習			
2) 共立て法による丸型スポンジとシートスポンジの焼成 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)				演習			
3) 共立て法による丸型スポンジとシートスポンジの焼成 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)				演習			
4) 別立て法によるスポンジ生地焼成と共立て法の違い 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)				演習			
5) 別立て法によるスポンジ生地焼成と共立て法の違い 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)				演習			
6) シュガーバター法による生地の仕込み方と焼成（マドレーヌ・パウンドケーキ等） 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)				演習			

7) シュガーバター法による生地 of 仕込み方と焼成 (マドレーヌ・パウンドケーキ等)	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
8) 絞り種クッキーとパートシュクレの仕込み方と焼成 (めん棒で延ばす生地)	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
9) 絞り種クッキーとパートシュクレの仕込み方と焼成 (めん棒で延ばす生地)	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
10) プリン・ゼリー・ムース等、流し物の作り方	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
11) プリン・ゼリー・ムース等、流し物の作り方	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
12) ヨーロッパの歴史と文化から生まれた焼菓子	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
13) ヨーロッパの歴史と文化から生まれた焼菓子	演習
【予習】デコレーションを考える(20分)【復習】仕上げの方法を復習(10分)	
14) 生地焼成・仕込み・仕上げの順序でアントルメを作る	演習
【予習】デコレーションを考える(20分)【復習】仕上げの方法を復習(10分)	
15) 生地焼成・仕込み・仕上げの順序でアントルメを作る	演習
【予習】生地の作り方を調べておく(20分)【復習】生地焼成の方法を復習(10分)	
授業外学習	
<p>毎回、授業の復習をしてくること。 (当日配付したレシピの材料確認をし、その材料の特徴・特性を調べてから次の授業に臨む)</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要なものは随時資料配布するが、当日板書や手書きにて指示することが多いので、筆記用具を忘れないこと。	製菓演習Ⅱ
課題に対するフィードバック	
<p>演習内で仕上げた和菓子・ケーキなどについては、演習内で採点する。 レポートについては、コメントをつけて返す。</p>	
備考	
<p>清潔に気をつけることと他人に迷惑をかけること。基本に忠実であり、物づくりのための素材・道具を大切にすること。 【オフィスアワー】演習前後の時間で対応する。</p>	

科目名	製菓演習Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	後期			
担当者名	坂田 淳一 猪熊 ゆかり 山下 晋平	関連する資格					
授業概要							
洋菓子作りに必要な技術のさらなる向上を目指し、和菓子については基本を習得する。 また対象者に適した材料選択や配合割合を理解し、日常の食生活に活かす方法を学ぶ。							
到達目標				成績評価方法			
洋菓子作りにおいては高度な技術を必要とする菓子の作製を試み、和菓子作りを通して和菓子の美味しさを理解し、対象者に適した菓子の作製を試みる。				レポート提出や演習内で作成したケーキ等を採点 演習中の授業態度を重視する			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○			○			30
小テスト、授業内レポート			○				10
宿題、授業外レポート			○				10
授業態度・授業参加度					○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○	○			10
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション 授業日程の確認及び製菓演習Ⅰの復習 【予習】製菓演習Ⅰの復習をしておく(20分)【復習】ノート整理(10分)							
2) 和菓子編 蒸し菓子 猪熊ゆかり 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)				演習			
3) 和菓子編 蒸し菓子 猪熊ゆかり 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)				演習			
4) 和菓子編 もち菓子 猪熊ゆかり 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)				演習			
5) 和菓子編 もち菓子 猪熊ゆかり 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)				演習			

6) 和菓子編 外郎(ういろう) 猪熊ゆかり	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
7) 和菓子編 外郎(ういろう) 猪熊ゆかり	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
8) 洋菓子応用編 ベイクドチーズケーキ 坂田淳一	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
9) 洋菓子応用編 ベイクドチーズケーキ 坂田淳一	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
10) 洋菓子応用編 洋ナシのタルト 坂田淳一	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
11) 洋菓子応用編 洋ナシのタルト 坂田淳一	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
12) 洋菓子応用編 ザッハトルテ 坂田淳一	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
13) 洋菓子応用編 ザッハトルテ 坂田淳一	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
14) 洋菓子応用編 ショコラムース 生チョコ 坂田淳一	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
15) 洋菓子応用編 ショコラムース 生チョコ 坂田淳一	演習
【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)	
授業外学習	
毎回、授業の復習をしてくること。 (当日配付したレシピの材料確認をし、その材料の特徴・特性を調べてから次の授業に臨む)	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要なものは随時資料配布するが、当日板書や手書きにて指示することが多いので、筆記用具を忘れないこと。	製菓演習 I
課題に対するフィードバック	
演習内で仕上げた和菓子・ケーキなどについては、演習内で採点する。 レポートについては、コメントをつけて返す。	
備考	
清潔に気をつけることと他人に迷惑をかけること。基本に忠実であり、物づくりのための素材・道具を大切にすること。 【オフィスアワー】演習前後の時間で対応する。	

科目名	生活化学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1	前期			
担当者名	石丸 隆行 幸 恵里		関連する資格				
授業概要 生活化学では、栄養士に必要な食品学実験や生化学実験などにおいて基礎となる、指数や濃度計算について説明する。また、これら実験で使用する実験器具の使い方についても説明し、専門教育科目の実験に備える。 実験操作や実験方法について学ぶのは当然であるが、それと同じくらい自ら考え、わかったことを文章にすることは大事である。レポートの書き方についても説明する。							
到達目標 1. 最低限の試薬の調製ができるようになる。 2. 実験器具を使えるようになる。 3. 基礎的な実験及び計算ができるようになる。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 得た知識や技能を基に、主体的な研究活動に取り組み、その結果をまとめることができる。				成績評価方法 レポート、授業態度などを総合的に評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○						10
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度				○	○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 授業概要の説明、入学前教育（計算問題）解説							
【予習・復習】入学前教育の問題を解けるようになっておく（60分）							
2) 化学の基礎 1 単位				個人ワーク			
【予習・復習】中学校で習った指数計算を解けるようにする（60分）							
3) 化学の基礎 2 原子の構造				個人ワーク			
【予習・復習】高校の化学、科学基礎の教科書を復習しておく（60分）							
4) 化学の基礎 3 原子の電子配置				個人ワーク			
【予習・復習】高校の化学、科学基礎の教科書を復習しておく（60分）							

5) 化学の基礎 4 共有結合	個人ワーク
【予習・復習】高校の化学、科学基礎の教科書を復習しておく (60分)	
6) 化学の基礎 5 質量数と原子量	個人ワーク
【予習・復習】高校の化学、科学基礎の教科書を復習しておく (60分)	
7) 化学の基礎 6 分子量と式量	個人ワーク
【予習・復習】高校の化学、科学基礎の教科書を復習しておく (60分)	
8) 化学の基礎 7 グラム当量	個人ワーク
【予習・復習】7回目の講義で渡したプリントを予習しておく (60分)	
9) 化学の基礎 8 規定度	個人ワーク
【予習・復習】前回の講義及び8回目のプリントを予復習しておく (60分)	
10) 化学の基礎 9 中和反応	個人ワーク
【予習・復習】前回の講義及び9回目のプリントを予復習しておく (60分)	
11) レポートの書き方と実験準備 (器具の使い方、試薬の調製)	フィールドワーク
【予習・復習】9回目で渡したプリントをしっかりと読んでくる (30分)	
12) 実験 1 中和滴定 既知試料 酸とアルカリによる中和滴定	フィールドワーク
【予習・復習】実験操作のプリントを復習しておく (30分)	
13) 実験 2 中和滴定 未知試料 酸とアルカリによる中和滴定	フィールドワーク
【予習・復習】実験操作のプリントを復習しておく (30分)	
14) 小テスト 1 今までの授業のまとめ、小テスト	小テスト
【予習・復習】実験操作のプリントを復習しておく (30分)	
15) 小テスト 2 今までの授業のまとめ、小テスト	小テスト
【予習・復習】今までの授業、実験を復習しておく (60分)	
授業外学習	
<p>1. テーマごとに実験レポートを書き、考える能力や文章作成能力を高めることが大事である。</p> <p>2. 課題を出す場合もあるが、わからないときは教科書やネットを使って調べるなどして取り組むよう努めること。ただし、教科書やネットの情報を丸写ししないようにする。調べて得た情報を一度、自分の中で消化・吸収してから、自分の言葉を使って文章を書くことが大事である。また、自分の言葉で書いた文章を読みなおして、自分が言いたいことがその文章を読んで伝わるかどうかを確認してみることも大事。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリントを配付する。	食品学実験、生化学実験、食品衛生学実験
課題に対するフィードバック	
実験ごとに翌週までにレポートを提出する。訂正があれば修正して再提出する。	
備考	
<p>授業の始めに大事なことを説明することが多いので、遅刻や欠席はしないように。</p> <p>レポートはきちんと出すこと。一回でも出さないと不可となるので注意すること。</p> <p>【オフィスアワー】石丸 隆行</p>	

科目名	栄養情報処理						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1	前期			
担当者名	門間 政亮	関連する資格					
授業概要 コンピュータ上で「タイピング」、「メールの操作」、「情報検索」、「文章作成」、「表計算」などのように、栄養士として必要な情報処理技術だけでなく社会に出るから必要とされる情報通信技術について総合的に学習し、「コンピュータを操作して目的としていることを達成する」能力を身につけます。							
到達目標 ・本学の共通端末を起動し、Windowsの基本操作ができる。 ・メール操作(作成、送受信)ができる。 ・インターネットを使用して目的の情報収集ができる。 ・情報社会の中でのルールやマナーについて理解している。 ・Wordを使用して文章作成ができる。 ・Excelを使用してデータの整理やグラフ作成ができる。 ・PowerPointを使用してプレゼンテーション用のスライドを作成し、発表することができる。				成績評価方法 期末定期試験、レポート、プレゼンテーションの成果・発表、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○	○	10
プレゼンテーション	○	○	○	○			10
グループワーク							
演習	○	○	○				20
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容(時間)				アクティブラーニング			
1) ガイダンス、メールの設定・操作 -メールの作成、送受信-				個人ワーク			
【予習】シラバスを読む(5分)【復習】メール操作の確認(20分)				小レポート			
2) Windowsの基本操作 -Windowsの仕組み、ファイル操作、タッチタイピング-				個人ワーク			
【予習】教科書を読む(10分)【復習】タッチタイピング(20分)				小レポート			
3) インターネットの利用 -情報検索、情報社会のルールとマナー-				個人ワーク			
【予習】ファイル操作の確認(10分)【復習】情報検索(20分)				小レポート			
4) 文章作成 1 -Wordの基礎、文章の作成、保存-				個人ワーク			
【予習】教科書を読む(10分)【復習】Word操作の確認(20分)				小レポート			

5) 文章作成 2	-書式設定、図表の挿入-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】Word 操作の確認 (20分)		小レポート
6) 文章作成 3	-総合的な資料の作成-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】Word 操作の確認 (20分)		小レポート
7) 表計算 1	-Excel の基礎、表の作成、保存-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】Excel 操作の確認 (20分)		小レポート
8) 表計算 2	-データ整理、計算-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】Excel 操作の確認 (20分)		小レポート
9) 表計算 3	-グラフの作成、編集-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】Excel 操作の確認 (20分)		小レポート
10) プレゼンテーション 1	-PowerPoint の基礎、スライドの作成、保存-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】PowerPoint 操作の確認 (20分)		小レポート
11) プレゼンテーション 2	-レイアウト、アニメーション-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】製作内容の検討 (20分)		小レポート
12) プレゼンテーション 3	-デジタル絵本(紙芝居)の作成-	個人ワーク
【予習】教科書を読む (10分) 【復習】製作物の確認 (10分)		小レポート
13) プログラミング体験	-Scratch 入門-	個人ワーク
【予習】情報検索 (10分) 【復習】操作の確認 (20分)		個人ワーク
14) 総合演習 1	-情報検索、グラフの作成、スライドの作成、配布資料の作成-	個人ワーク
【予習】教科書のおさらい (10分) 【復習】発表練習 (20分)		個人ワーク
15) 総合演習 2	-発表-	プレゼンテーション
【予習】発表練習 (10分) 【復習】発表した内容の確認 (20分)		プレゼンテーション
授業外学習		
コンピュータは使えば使うほど上達します。授業で覚えた事を授業外でも繰り返し練習してください。特にタイピング練習は重要です。空いた時間で構わないので、積極的に行ってください。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
イチからしっかり学ぶ！Office 基礎と情報モラル Office2016 対応 (noa 出版)		
課題に対するフィードバック		
次回の講義冒頭で解説を行います。		
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・本演習の内容は、今後のコンピュータを使用する授業の基礎となるものです。必ず毎回出席するようにしてください。 ・授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。 		
【オフィスアワー】 門間 政亮 monma@st.ube-c.jp		

科目名	パソコン演習 I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1	後期			
担当者名	門間 政亮		関連する資格				
授業概要 本演習の前半では Microsoft Office の応用編として、Excel 関数と Excel を用いた基本的な統計処理について学びます。後半では情報社会の基盤となっているコンピュータやネットワークの基本的な仕組みをテーマとして、グループによる情報の収集、分析、プレゼンテーションを行います。							
到達目標 1.Excel 関数を用いて表計算ができる。 2.Excel を用いて基本的な統計処理ができる。 3.コンピュータ演習室内のネットワーク環境を活かして、グループで情報を収集、分析し、プレゼンテーションすることができる。				成績評価方法 提出されたレポート、プレゼンテーションの成果・発表、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度					○	○	10
プレゼンテーション	○	○	○	○			20
グループワーク		○	○		○		20
演習	○	○	○				30
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容 (時間)				アクティブラーニング			
1) ガイダンス、Excel 関数 1 -Excel 関数入門-				個人ワーク			
【予習】 シラバスを読む (5分) 【復習】 関数のおさらい (10分)							
2) Excel 関数 2 -計算に関する関数-				個人ワーク			
【予習】 教科書のおさらい (10分) 【復習】 関数のおさらい (10分)							
3) Excel 関数 3 -条件によって処理を変える関数-				個人ワーク			
【予習】 教科書のおさらい (10分) 【復習】 関数のおさらい (10分)							
4) Excel 関数 4 -文字列操作に関する関数-				個人ワーク			
【予習】 教科書のおさらい (10分) 【復習】 関数のおさらい (10分)							
5) 統計処理 1 -基本統計量-				個人ワーク			
【予習】 教科書のおさらい (10分) 【復習】 関数のおさらい (10分)							

6) 統計処理 2 -度数分布とヒストグラム-	個人ワーク
【予習】教科書のおさらい (10分) 【復習】関数のおさらい (10分)	
7) 統計処理 3 -平均の比較-	個人ワーク
【予習】教科書のおさらい (10分) 【復習】関数のおさらい (10分)	
8) 統計処理 4 -散布図と相関-	個人ワーク
【予習】教科書のおさらい (10分) 【復習】関数のおさらい (10分)	
9) 情報科学の基礎技術 1 -テーマ検討とキーワードの抽出-	グループワーク
【予習】情報検索 (10分) 【復習】情報検索 (20分)	
10) 情報科学の基礎技術 2 -キーワードの簡易調査-	グループワーク
【予習】情報検索 (10分) 【復習】情報検索 (20分)	
11) 情報科学の基礎技術 3 -キーワードの詳細調査、テーマの理解-	グループワーク
【予習】情報検索 (10分) 【復習】発表練習 (20分)	
12) 情報科学の基礎技術 4 -中間報告-	グループワーク
【予習】発表練習 (10分) 【復習】情報検索 (20分)	小レポート
13) 情報科学の基礎技術 5 -成果発表準備 1 スライドの作成-	グループワーク
【予習】情報検索 (10分) 【復習】情報検索 (20分)	
14) 情報科学の基礎技術 6 -成果発表準備 2 スライドの作成-	グループワーク
【予習】情報検索 (10分) 【復習】発表練習 (20分)	
15) 情報科学の基礎技術 7 -成果発表 プレゼンテーション-	プレゼンテーション
【予習】発表練習 (10分) 【復習】情報検索 (20分)	レポート
授業外学習	
Excel 関数は便利ですが、名前を覚えないと活用できないため、繰り返し練習を行ってください。また、15)の成果発表に向け、話す内容や段取りを決め、発表練習を行ってください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
栄養情報処理のテキストを使用します。	栄養情報処理
課題に対するフィードバック	
次回の講義冒頭で解説を行います。	
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回出席して、少しずつ積み重ねていくことが重要です。欠席はしないでください。 ・授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。 【オフィスアワー】 門間 政亮 monma@st.ube-c.jp	

科目名	パソコン演習Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	前期			
担当者名	門間 政亮	関連する資格					
授業概要 本演習の前半ではビジュアルプログラミング言語 Scratch を用いて、論理的に筋道を立てて考える思考力を養います。後半では情報社会の課題として顕在化している問題をテーマとして、グループによる情報の収集、分析、プレゼンテーションを行います。							
到達目標 1.Scratch を活用し、論理的な思考力を養う。 2.コンピュータ演習室内のネットワーク環境を活かして、グループで情報を収集、分析し、プレゼンテーションすることができる。				成績評価方法 提出されたレポート、プレゼンテーションの成果・発表、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度					○	○	10
プレゼンテーション	○	○	○	○			20
グループワーク		○	○		○		20
演習	○	○	○				30
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) ガイダンス、Scratch 1 - Scratch 入門-				個人ワーク			
【予習】 シラバスを読む（5分）【復習】 作品例を閲覧する（20分）							
2) Scratch 2 -基本操作-				個人ワーク			
【予習】 前回のおさらい（10分）【復習】 操作の確認（20分）							
3) Scratch 3 -変数と配列-				個人ワーク			
【予習】 前回のおさらい（10分）【復習】 操作の確認（20分）							
4) Scratch 4 -関数-				個人ワーク			
【予習】 前回のおさらい（10分）【復習】 操作の確認（20分）							
5) Scratch 5 -アルゴリズム 1-				個人ワーク			
【予習】 前回のおさらい（10分）【復習】 操作の確認（20分）							

6) Scratch 6 -アルゴリズム 2-	個人ワーク
【予習】 前回のおさらい (10 分) 【復習】 操作の確認 (20 分)	
7) Scratch 7 -総合演習 1-	個人ワーク
【予習】 製作内容の検討 (10 分) 【復習】 製作方法の検討 (20 分)	
8) Scratch 8 -総合演習 2-	個人ワーク
【予習】 製作方法の確認 (10 分) 【復習】 製作物の確認 (20 分)	
9) 情報社会が抱える問題 1 -テーマ検討とキーワードの抽出-	グループワーク
【予習】 情報検索 (10 分) 【復習】 情報検索 (20 分)	
10) 情報社会が抱える問題 2 -キーワードの簡易調査-	グループワーク
【予習】 情報検索 (10 分) 【復習】 情報検索 (20 分)	
11) 情報社会が抱える問題 3 -キーワードの詳細調査、テーマの理解-	グループワーク
【予習】 情報検索 (10 分) 【復習】 発表練習 (20 分)	
12) 情報社会が抱える問題 4 -中間報告-	グループワーク
【予習】 発表練習 (10 分) 【復習】 情報検索 (20 分)	小レポート
13) 情報社会が抱える問題 5 -成果発表準備 1 スライドの作成-	グループワーク
【予習】 情報検索 (10 分) 【復習】 情報検索 (20 分)	
14) 情報社会が抱える問題 6 -成果発表準備 2 スライドの作成-	グループワーク
【予習】 情報検索 (10 分) 【復習】 発表練習 (20 分)	
15) 情報社会が抱える問題 7 -成果発表 プレゼンテーション-	プレゼンテーション
【予習】 発表練習 (10 分) 【復習】 情報検索 (20 分)	レポート
授業外学習	
Scratch はネット環境さえあれば無料で使用することができ、かつ簡単に習得することができます。授業で学んだ事を繰り返し練習してください。最終的に、設定した課題を達成するにはどのように組み立てればよいのか、自分で考え実行できるようになることが目標です。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリントを適宜配布します。	栄養情報処理、パソコン演習 I
課題に対するフィードバック	
授業内で解説を行います。	
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業は個人ワーク、およびグループワーク形式で行い、成果を発表してもらいます。 ・ 毎回出席して、少しずつ積み重ねていくことが重要です。欠席はしないでください。 ・ 受講人数によりグループワーク形式を変更する可能性があります。 ・ 授業時間数の 3 分の 1 を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。 	
【オフィスアワー】 門間 政亮 monma@st.ube-c.jp	

科目名	インターンシップ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	1	後期			
担当者名	学科長 食物栄養学科教員	関連する資格					
授業概要 実社会において企業等で業務体験をする。							
到達目標 1. 企業の業務を体験することで、仕事に対する真摯な態度を身に付け、就職活動への心構えをつくりあげる。 2. 実社会における人間関係に触れ、社会人となるための自立心を持つ。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 主体的な研究活動やフィールド調査に取り組み、その結果をまとめることができる。			成績評価方法 実習時間、実習受入先の評価、実習態度、レポート等による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				50
宿題、授業外レポート	○	○	○				40
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション インターンシップの説明							
【予習・復習】 山口県インターンシップ推進協議会の HP を見ておく (30分)							
2) 事前教育 企業研究							
【予習・復習】 インターンシップに行きたい企業の HP 等をみて企業研究をする。(30分)							
3) 事前教育 書類作成①							
【予習・復習】 志望動機等を考えておく。(60分)							
4) 事前教育 書類作成②							
【予習・復習】 渡した書類を書いてくる。(30分)							

5) 事前教育 マナー講座	
【予習・復習】企業訪問のマナーを勉強しておく。(60分)	
6) 研修	フィールドワーク
【予習・復習】実習先で学ぶ内容を理解する。(60分)	
7) 研修	フィールドワーク
【予習・復習】実習先で学ぶ内容を理解する。(60分)	
8) 研修	フィールドワーク
【予習・復習】実習先で学ぶ内容を理解する。(60分)	
9) 研修	フィールドワーク
【予習・復習】実習先で学ぶ内容を理解する。(60分)	
10) 研修	フィールドワーク
【予習・復習】実習先で学ぶ内容の復習。(60分)	
11) 研修内容についてのまとめ	
【予習・復習】実習先で学んだ内容の復習。(60分)	
12) 研修内容についてのまとめ	
【予習・復習】報告書の作成。	
13) 研修内容についてのまとめ	
【予習・復習】実習先で学ぶ内容の復習。(30分)	
14) 研修内容についてのまとめ	
【予習・復習】実習先で学ぶ内容の復習。(30分)	
15) まとめ、報告	
【予習・復習】報告書の作成。(30分)	
授業外学習	
実施時期：1年次後期の休業期間において行う。	
実施日数：5日間以上とする。	
実習先：官民を問わず、学科で学ぶ食物栄養学の知識を向上させることが出来る企業をその対象とする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
実施に当たっては適宜指示する。	大学入門、キャリアデザイン
課題に対するフィードバック	
インターンシップ終了後にレポートを提出してもらいます。提出後、こちらで添削しますので、添削後に再提出してください。	
備考	
実際に研修するにあたっては、意欲的に取り組み、必要と思われる事前教育を必ず受けることが要求される。事前教育の内容については、別に定める。	
研修に関わる経費を徴収する。	

科目名	食物栄養ゼミ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	2	2	通年			
担当者名	食物栄養学科教員	関連する資格					
授業概要							
食物栄養に関して、最も興味あるテーマを自ら選び、教員のアドバイスを受けながら、個人または少人数のグループで「研究」遂行し、またその成果を公表する。							
到達目標				成績評価方法			
一つの研究課題について、計画、実行、解析、論文作成および発表の過程を修得する。				個人・グループ学習、研究課題への取り組み状況、論文および発表による総合評価			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○				30
グループワーク	○	○	○				60
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 研究課題の選定・決定				個人・グループワーク			
【予習】興味や関心のある事柄について書き出してくる（30分） 【復習】興味や関心のある事柄について具体的に考えてまとめる（30分）							
2) 研究課題の選定・決定				個人・グループワーク			
【予習】課題の選定のために問題意識をもって予習する（30分） 【復習】課題の選定のために問題意識をもってまとめる（30分）							
3) 研究計画の立案				個人・グループワーク			
【予習】先行研究、参考文献を調べる（90分） 【復習】記録を整理し、研究計画を立てる（45分）							
4) 研究計画の立案				個人・グループワーク			
【予習】先行研究、参考文献を調べる（90分） 【復習】記録を整理し、研究計画を立てる（45分）							
5) 実施				個人・グループワーク			
【予習】本日の課題を予習する（30分） 【復習】実施内容の記録、整理をする（60分）							

6) 実施	
【予習】 本日の課題を予習する (30分)	個人・グループワーク
【復習】 実施内容の記録、整理をする (60分)	
7) 実施	
【予習】 本日の課題を予習する (30分)	個人・グループワーク
【復習】 実施内容の記録、整理をする (60分)	
8) 結果のまとめ	
【予習】 結果を集計するための準備、予習をする (30分)	個人・グループワーク
【復習】 結果の整理をする (60分)	
9) 結果のまとめ	
【予習】 結果を集計するための準備、予習する (30分)	個人・グループワーク
【復習】 結果の整理をする (60分)	
10) 解析・考察	
【予習】 グラフ作成の予習 (30分)	個人・グループワーク
【復習】 解析結果の整理 (30分)	
11) 解析・考察	
【予習】 資料や解析資料の確認 (30分)	個人・グループワーク
【復習】 解析結果の整理 (60分)	
12) 論文作成	
【予習】 論文の書き方の予習 (30分)	個人・グループワーク
【復習】 論文の見直し (60分)	
13) 論文・要旨集の作成	
【予習】 要旨集の書き方を予習 (15分)	個人・グループワーク
【復習】 要旨集の見直し (60分)	
14) 発表会準備 (口演・ポスター)	
【予習】 発表の練習 (60分)	個人・グループワーク
【復習】 発表会準備の振り返り (30分)	
15) 公表 (発表会)	
【予習】 発表の練習 (30分)	個人・グループワーク
【復習】 発表会の振り返り (30分)	
授業外学習	
担当教員の指示による	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
担当教員の指示による	
課題に対するフィードバック	
食物栄養ゼミの論文は提出後返却しない。レポートや事前の下書きはコメントをつけて返却する。	
備考	

科目名	総合演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	後期			
担当者名	食物栄養学科教員	関連する資格					
授業概要 食物栄養学科の教育課程に関連する内容について、栄養士実力認定試験対策 集中講義、学外研修等の形で総合的に学ぶ。							
到達目標			成績評価方法				
専門分野を横断して、栄養士に必要とされる知識、技能、態度および考え方の総合的能力を習得する。			受講態度、レポート等による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				50
宿題、授業外レポート	○	○	○				40
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要、予習・復習内容（時間）				アクティブラーニング			
1) 栄養士実力認定試験についてのガイダンス							
【予習】シラバスを読んでくる（10分）【復習】ガイダンスの振り返り							
2) 模擬試験の実施							
【予習】試験の予習（60分） 【復習】不正解箇所を復習（60分）							
3) 栄養士実力認定試験の科目別の講義							
【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）							
4) 栄養士実力認定試験の科目別の講義							
【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）							
5) 栄養士実力認定試験の科目別の講義							
【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）							
6) 栄養士実力認定試験の科目別の講義							
【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）							

7) 栄養士実力認定試験の科目別の講義	
【予習】科目の予習 (30分) 【復習】科目の復習 (60分)	
8) 栄養士実力認定試験の科目別の講義	
【予習】科目の予習 (30分) 【復習】科目の復習 (60分)	
9) 栄養士実力認定試験の科目別の講義	
【予習】科目の予習 (30分) 【復習】科目の復習 (60分)	
10) 模擬試験の実施	
【予習】試験対策 (120分) 【復習】不得意科目の復習 (60分)	
11) 研修旅行	学外研修 夏休み期間中
【予習】研修先の確認 (15分) 【復習】研修内容のまとめ (15分)	アクティブラーニング
11) 研修旅行	アクティブラーニング
【予習】研修先の確認 (15分) 【復習】研修内容のまとめ (15分)	
11) 研修旅行	アクティブラーニング
【予習】研修先の確認 (15分) 【復習】研修内容のまとめ (15分)	
11) 研修旅行	アクティブラーニング
【予習】研修先の確認 (15分) 【復習】研修内容のまとめ (15分)	
15) まとめ	
【予習】研修内容確認 (10分)	
【復習】研修内容のレポート作成 (60分)	
授業外学習	
<p>栄養士養成施設での教育内容の総復習となるので、授業外学習を積極的に行う。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じて資料を配布する。	
課題に対するフィードバック	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬試験解答については採点后返却する。 ・ 研修旅行レポートはコメントをつけて返却する。 	
備考	